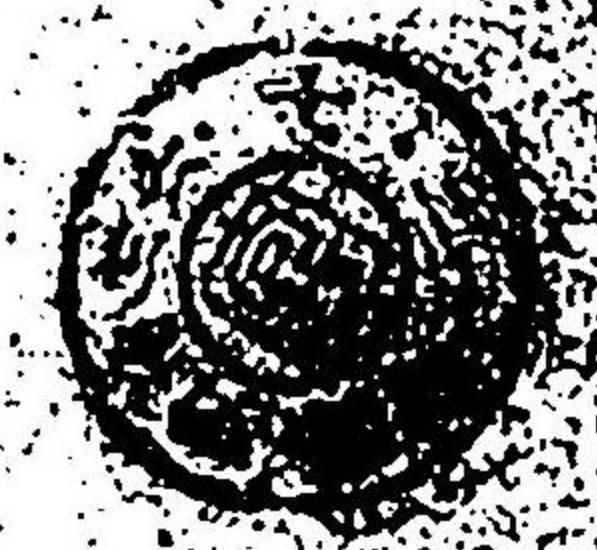


目次

第一 天津	一
一、水路	九
二、海陸之連絡	〇
三、輸出入貿易	二
四、輸出入品	三
五、貨幣及金融	三
六、度量衡	三
第二 北京	四
第三 唐山	五
第四 秦王島	七
第五 牛莊	九
一、輸出入貿易及輸出入品	三
二、金融及通貨	四
三、度量衡	四
四、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百	六
六、旅順及大連灣	六



外務省通商局 寄贈本

第七、「タルニ」港 …… 六九

第八、芝罘 …… 七二

一、輸出入貿易 …… 七四

二、貨幣及度量衡 …… 八一

第九、膠州灣及青島 …… 八一

長江沿岸視察復命書目次

總論 …… 一

第一、漢口 …… 二二

第二、九江港 …… 三七

第三、南京 …… 四一

第四、蘇州府及杭州府 …… 四五

清國輸入本邦貨物ノ販路并清國釐金事情目次

第一、北清、長江沿岸及南清へ本邦製綿布及綿糸輸入ノ比例 …… 一

第二、清國ニ於ケル輸入貨物分配ノ方向 …… 三

第三、各省釐金ノ收入額 …… 六

第四、各省ニ於ケル釐金稅率 …… 九

北清地方巡回復命書

茲ニ北清ト稱スルハ山東、直隸及滿州地方ニ於ケル貿易港ハ世人ノ夙トニ知ルカ如ク天津、牛莊及芝罘ノ三港ナリ。其近來ニ至リ秦皇島ヲ開港セシモ貿易額微々トシテ右三港ト肩比スルニ至ラズ其他露國ハ其租借地タル大連灣ヲ自由貿易港ト爲サントシ獨ハ膠州灣ヲ開キテ山東省附近ニ於ケル貨物ノ集散地ニ充テントシ何レモ港灣ノ改良及海陸連絡工事を急キツ、アリ而シテ天津、芝罘及秦皇島ヲ經テ輸入スル貨物ハ近キハ山東、直隸ノ兩省ヨリ遠キハ山西、河南、陝西、西部滿州及蒙古地方ニ分配シ牛莊ヨリ輸入スル貨物ハ東三州ノ嗜好ヲ充タズノミナラス一小部分ハ蒙古ノ東部及西伯利亞ノ南部等ニ分配スト云フ故ニ此等ノ港灣ヨリ輸入スル貨物ノ分配地ヲ直隸、山東兩省、東三州全部、河南省三分ノ一山西及陝西兩省ト假定シ蒙古及西伯利亞地方ヲ除クモ分配ノ區域ハ五十六萬余方哩ニ跨カリ人口九千五百萬余ニシテ之レヲ我國ニ比スレハ面積ニ於テ三倍余人口ニ於テ二倍余ヲ有ス該區域ハ工業未タ發達セス純然タル農産國ニシテ原料品ヲ輸出シ工藝品ヲ輸入シ生計ノ程度モ亦低キヲ以テ精巧緻密ノ工藝品ヨリモ寧ロ普通物品ニ甘マンズルノ傾向アルヲ以テ我國ノ商品ヲ賣込ムニハ最適當ノ地方ト謂フ可キナリ況ンヤ將來鐵道延長シ内地トノ交通頻繁ナルニ至レハ貨物ノ輸出ヲ誘引シ殖産ニ意ヲ注グモノ益多キヲ加ヘ勞働ノ需要ヲ増加シ生活ノ程度モ亦隨テ増進ス可キニ由リ交通機關ノ發達ニ伴ヒ内地ニ商品ノ市場ヲ擴張スルト同時ニ民衆ノ進歩ニ伴フ購買力ヲ増進ス可キナリ是ヲ以テ我貿易業者ハ大ニ北清貿易ニ留意セサル可ラス然ルニ現今北清市場ニ於ケル我工藝品ヲ觀レハ清國ノ風俗習慣氣候及人民ノ嗜好ニ適セザルモノ多ク爲メ販路圓滑ナラズシテ或ハ獨逸品ノ爲メ市場ヲ奪ハレ或ハ英米品ノ爲メ壓倒セラレツ、アルハ實ニ慨嘆ノ至リト謂フ可シ是レ概シテ我國ノ商人カ清國ノ事情ニ通セザルト信用ノ觀念薄キト團結心ニ乏シキト商業機關ノ不備トニ基因スル所ナリ信用ノ薄弱商業機關ノ不備ハ外國貿易ノ幼稚ナル時代ニ於テハ免ル可ラサルノ弊害トシテ暫クノ怨ヌヘシトスルモ一輩帶水ヲ隔テ古來往復ノ煩繁ヲ極メタル隣國ニ對シ其事情ニ精通セサルノミナラス團結心ニ乏

シキ等ノ點ニ就テハ大ニ貿易業者ノ愧ツヘキ所ナリ過去ハ敢テ論スル必要ナキモ將來ニ於テハ大ニ面目ヲ一新シテ我商  
權ヲ擴張スルノ覺悟ナカル可ラス抑外國貿易ニ供スヘキ商品ハ其輸出先ノ嗜好ニ應シテ形狀品質等ヲ變更セサル可ラス  
殊ニ清國ノ如キ廣袤數千里ノ大國ニシテ交通機關ノ不整頓ナル所ニ於テハ各地方ニ於ケル風俗習慣及氣候等著シク異ナ  
リ是等カ商品ニ及ホス影響偉大ナルニ由リ是等ノ事項ヲ精査スルハ清國貿易策ニ於テ最必要ノ事ナリ茲ニ其梗概ヲ述フ  
レハ即左ノ如シ

(第壹)清國人ノ性質カ商品ニ及ホス影響

(甲)清國人ハ保守的頑固ノ性質ヲ有スルコト

清國人カ有スル保守的ノ觀念ハ政治上ニ顯ハレ進ンテ之レカ改善ヲ計ルノ希望ナキノヨナラス商品ノ上ニモ亦之レ  
ヲ見ル故ニ新奇ノ物品ヲ製造シテ輸入セザヨリモ寧ロ使用ニ馴レタル物品ヲ摸擬シテ輸入スル方却テ其嗜好ニ適セ  
リ織物ノ意匠ノ如キ獨逸ハ頻リニ之レヲ研究シテ紋織形付等ニ至ル迄清國ノ意匠ヲ採リテ製造シ或ル種類ノ織物ノ  
如キハ殆ント清國製ト區別シ難キモノアリ又近來唐紙ヲ擬製シテ見本ヲ送リタルモノヲ見ルニ紙面ニ寶ノ形跡ヲ顯  
シ其形狀色澤ヨリ墨汁ヲ吸收スル工合ニ至ル迄清國製ノ白紙又ハ番仙紙ト號ルナシ又同國ヨリ輸入スル剃刀ノ如キ  
ハ外見ノ惡キト其形狀不恰好ナルハ清國製ト甲乙ノ差ヲ辨セサルト云フ之ヲ以テ觀ルニ如何ニ獨國カ清國人ノ性  
質ニ注意シツ、アルカヲ察スルニ足ル可シ之レニ反シテ我國ヨリ輸入スル物品ハ斯ノ如キ注意ヲ爲シテ特ニ製造シ  
タルモノ少ナキカ如シ

(乙)清國人ハ外觀ヲ裝フコト

清國人ノ外觀ヲ裝ヒ虛禮ニ流ル、等ハ世人ノ能ク知ル所ニシテ假令ハハ衣類ノ如キモ下ニ襪襪ヲ纏フモ上ニハ華美  
ナル裝飾ヲ施シ表ニ錦繡奇羅ヲ用ユルモ裏ニハ魚造ナル布帛ヲ用ユ殊ニ婦女子ノ衣類ノ如キハ表面ニハ刺繡ヲ爲シ  
又ハ「レース」等ニテ飾リ添フルニ珠玉眞珠等ヲ以テスルモノアリ是レ等ノ裝飾品殊ニ「レース」杯ノ需要ハ民度ノ進

歩ト共ニ増加ス可キモ裏地用ノ布帛トシテ用フヘキモノハ上等品ヲ輸入スルモ到底清國人ノ嗜好ニ適セサル可シ又  
時計ノ如キモ時間ノ正確ヲ欲スルヨリモ寧ロ一種ノ裝飾品トシテ使用スルノ傾キアリ如何トナレハ元來清國人ノ動  
作ハ不活發ニシテ腦髓ノ動作遲鈍ナルヲ以テ「時ハ金ナリト」ノ金言ヲ解シ之ヲ應用スルモノ尠ナケンハナリ故ニ掛  
時計并ニ置時計ハ可成外觀ヲ美麗ニ裝飾シタルモノ、方實行宜シク懷中時計ノ如キモ外蓋ニ彫刻ヲ施シ或ハ番像等  
ヲ畫キ字板ニハ清國ノ文字及十二支等ヲ附加シ且鍵卷ニテ恰モ歐洲ノ古物博物館ニ於テ見ルカ如キモノ實行宜シキ  
ヲ以テモ其一般ヲ窺フニ足ラン是レ特ニ衣類及時計ノミニ止ラス支那向商品ニ製造スルモノハ是等ノ點ニ注意ヲ忽  
ニセザルヲ要ス

(丙)迷信ニ富ム事

支那人程迷信ニ富ミタル國民ハ稀ナルヘシ彼等ハ一舉一動吉凶禍福冠婚葬祭等ハ凡テ卜者ノ言ニ盲從ス故ニ商品ニ  
ハ清國ハカ迷信の頭腦ニテ判別シテ慶事ヲ表スヘキ文字圖畫ヲ用ヒサレハ如何ニ製造ニ巧妙ニシテ價格廉ナルモ販  
路ヲ得ルノ見込ナシ宜シク福壽吉慶ヲ意味スル文字圖畫等ヲ調査シテ之レヲ商品ニ應用ス可キナリ

(丁)經濟的思想ニ富ムコト

支那氣質ノ著者「スミス」氏曰ク「清國ノ犬猫ハ侮ハレナル體態ヲ保テテ死ニ頻シク、アリト」又或ハ支那通ハ曰ク炎  
熱ハ夏帽ヨリ低廉ナリ故ニ清國人ハ夏期ニ帽ヲ用ヒスト一言以テ如何ニ清國人カ經濟思想ニ長シタルヤヲ窺フニ足  
ル故ニ廉價ニシテ脆弱ナル物品ヨリモ寧ロ價格ハ稍高キモ堅牢ナル物品カ却テ彼等ノ嗜好ニ適ス一例ヲ舉グレハ米  
國製ノ「シイテンシ」ハ同一重量ノ我製品ヨリモ價格壹反ニ付半兩内外高價ナルモ品質佳長持久ニ耐ルニ於テ我ニ優  
レルヲ以テ我製品ハ米國製品ノ爲メ北清市場ヨリ驅逐セラレントス又一時ニ多量ヲ使用シ得可ラサル物品ハ容易ニ  
分割シ得可キ様包裝ヲ爲サ、ル可ラス例ヘハ紙卷煙草ノ如キハ同時ニ百本ヲ買ハンヨリモ一本宛百度ニ買フ方價格  
ハ多少高價ナルニモセヨ却テ經濟上ニ利アリ懷中ニ存在スルコト無クテハ多少嗜好ヲ制スルコトヲ得經濟上ノ妙

法タルコトヲ知レルヲ以テ市場ニテハ紙巻煙草ノ一本賣ヲ爲ス店アリ又縫針ノ如キ數本アレハ事足ル場合ニ數十本ヲ求メテ遂ニハ舖ヲ生シテ用ニ可ラサルニ至ルハ不經濟ナルニ由リ清國人ハ一包ヲ同時ニ求ムルコトナシト云フ獨國人ハ之レヲ看破シテ縫針ノ包裝ヲ十本若クハ二十本包等ニ小分シ清國人ノ嗜好ヲ利用シテ英國ノ輸入品ヲ壓倒シタル好例アリ燐寸ノ如キモ内地ニテハ本數賣ヲ爲スヲ以テ外箱ニ本數ヲ記シ之レヲ小賣スル場合ニ實際表記ノ本數ニ足ラサル等ノコトアレハ忽チ商品ノ信用ヲ失スルニ至ルヲ以テ製造家ノ注意ヲ要ス其他及物類ノ如キモ裝飾品ト異ナリ外觀ハ如何ニ醜キモ安價ニテ切味好クレハ事足り庖厨具ノ如キモ亦外見ノ醜美ハ敢テ問ハサルカ如ク又北清市場ニハ石油「ストーブ」ヲ數多陳列スル店アリ此等モ我國ニテハ需要多カラサレトモ北清ハ茫茫平原ニシテ薪炭ヲ得ルコト難ク其價格比較的高價ナルニ由ルト清國人ハ水ヲ香マサル慣習ナルニ一椀ノ湯ヲ欲スル場合ニ炭ヲ用イテ湯ヲ沸サンヨリハ石油ヲ用ユル法後ノ始末モ宜クシテ經濟的ナルニ由レリ又染布ノ如キモ數十度洗濯スルモ褪色セザルモノニ非レハ嗜好ニ適セス更紗類ハ片而ノモノヨリ價格稍高キモ兩面ノモノ賣行好シ是等ハ當業者ノ一考ヲ要スル所ナリ

(第貳)習慣カ商品ニ及ホス影響

(甲)清國人ハ室内娛樂ニ耽ル習慣アルコト  
 清國人ハ戶外ノ樂ミヲ解スモノ少ナキヲ以テ散步用ノ杖ノ如キモノ又ハ戶外運動ニ使用スル器具類ハ需要少ナクシテ基、將基、骨牌、畫本及室内裝飾用ノ書齋等ノ如キ室内ノ娛樂ノ用ニ供ス可キ物品ハ大ニ其嗜好ニ適ス殊ニ阿片吸煙用「ラムプ」ノ如キハ注意シテ製造スレハ必ス彼等ノ嗜好ニ恰適スルコトヲ得可シ

(乙)身体ノ不潔ヲ厭ハサル習慣アルコト  
 清國人ハ身体垢ニ塗ミレルモ敢テ厭ハサルニ由リ夏期ハ一種異様ノ臭氣ヲ放ツ故ニ香水露香等ノ如キ放香物ヲ以テ惡臭ヲ消サントス是レ畢竟不精ニシテ沐浴等ヲ好マサルト北清地方ハ冬期寒冷ナルニ由リ愉快ニ沐浴セント欲セ

ハ多量ノ湯ヲ要シ不經濟ナルヲ以テ寧ロ外出ノ時放香物ヲ携ヘ惡臭ヲ消スノ簡便ナルニ如カストスルカ如ク故ニ香水香油等ハ必ス清國人ノ需要ニ適スルナラシ

(丙)河水ヲ飲料水其他ニ使用スル習慣アルコト  
 清國ニテハ掘貫井稀ニシテ多クハ河水ヲ使用スルヲ以テ純潔ナル水ニ乏シ殊ニ或ル地方ニ於テハ鹽分ヲ含ムコト多キヲ以テ鹽水用ノ石鹼ニ非レハ普通ノ石鹼ハ其効ヲ爲サス故ニ北京ニテハ滿州地方ニ産スル曹達ニ豚脂ヲ混合精製シテ塊ニ形シテ洗濯石鹼ニ代用セルヲ見ル之レ即第一ハ安價ナルト第二ハ普通ノ洗濯石鹼ハ其効甚ナケレハナリ化粧石鹼ニ就テモ亦然リ製造者ハ此點ニ注意セサル可ラス

(第三)風俗カ商品ニ及ホス影響

一般ノ風俗カ商品ニ及ホス影響數多アル可シト雖二三ノ例ヲ舉グレハ北清地方ニテハ婦ノ外女子ハ老嫗ニ至ルマテ花簪ヲ用ユルノ風俗アルニ由リ犄牡丹等ノ如キ清國人ノ嗜好ニ適スル造花ノ簪ハ必ス市場ニ適合スヘシ又滿州婦人ハ股引ノ下部ヲ幅二寸内外ノ黒布ニテ巻クノ風俗ナルニヨリ之ニ使用スル布帛ノ販路アリ又股引ノ下ニハ男女共ニ我國ノ「ズボン」下様ノモノヲ纏フノ風俗アルニ由リ「フランクネル」又ハ莫大小等ニテ適宜ニ之ヲ製造スルトキハ彼等ノ嗜好ニ適スヘシ且靴ヲ穿ツノ風習ハ一般ナレハ靴足袋ノ需要ヲ生シ又食膳ニ供スル器具ノ如キモ本膳二ノ膳及之ニ伴フ一定ノ碗類アルカ如ク清國ニ於テモ食器ニハ一定ノ形狀ト個數ト制限アリ而シテ器ニハ我國ノ如ク漆器ヲ用ヒスレバ凡テ陶磁器ヲ使用スルノ風俗アリ又洗濯法ニ就テモ洗濯器ヲ用井或ハ手ニテ揉ム等ノコト少ナク普通ノ方法ハ石ニ打チ付ケテ垢ヲ落ス風習ナルニ由リ地薄ノ布帛又ハ搓打込ノ輕ロクシテ地ノ締マラサル布ハ二三度洗濯ヲ爲セハ非常ニ損シ若クハ布面ニ穴ヲ生スル等ノコトアルニ由リ宜シク風習ニ注意シテ適當ノ商品ヲ製セサル可ラス

(第四)氣候カ商品ニ及ホス影響

(甲)北清ハ南清ニ比シ氣候寒冷ナルコト

北部ノ氣候南部ニ比シ寒冷ナルハ幼童スヲ解シ得ヘキ簡易ノ問題ナレトモ實地ニ我商品ニ應用シタル場合稀ナリ  
 例ハ玻璃類ノ如キハ品質ノ良否ヲ撰マス凡テ漸冷法ヲ施シタルモノニ非レハ寒中破壊シ易ク布帛類ハ厚地ノモノニ  
 非レハ防寒ノ用ニ適セサルナリ是ヲ以テ牛莊港ニハ通州沙市等ヨリ厚地ノ土布ヲ輸入スルモノ多シ然ラハ「ブレン  
 ケット」又ハ羅紗ハ防寒用トシテ需要多カルヘキ等ナレトモ滿州地方ハ毛皮ノ產地ニシテ價格毛皮布ニ比シ安價ナ  
 ルヲ以テ住民ハ厚地ノ綿布ニ毛皮ノ裏ヲ付シテ着用スルヲ以テ「ブランケット」ノ如キハ一部ノ紳士連中カ旅行用ニ  
 供スルニ止マリ需要ノ範圍狹シ又近年我國ヨリ輸出ヲ開キタル運史紙モ上海附近ニテハ緝反物ノ包裝紙ニ用ユレト  
 モ北清ニテハ概テ障子ヲ張ルニ用ユ又北方ハ寒冷ナルカ故ニ甘蔗ノ耕作ニ適セス南清ヨリ輸入スル砂糖多シテ  
 我國ニテ製造スル氷糖ハ菓子代用品トシテ需要アラン

(乙)北清ハ空氣乾燥セルコト

北清地方ハ空氣乾燥セルニ由リ水分ヲ包含スル商品ニ就テハ最注意セサル可ラス例ヘハ我國ヨリ輸入スル洗濯石鹼  
 ハ多量ノ水分ヲ含ムヲ以テ二三ヶ月店頭ニ陳列シタルモノハ水分蒸發シテ恰モ半程ヲ積ミ重ネタルカ如キ形狀ニ變  
 シ商品トシテハ價值ヲ失フニ至ル又綿糸ノ如キモ南清ニテハ四百封度入ノモノ北清ニテハ水分蒸發シテ重量ニ欠損  
 ヲ生シ賣行惡シト云フ又木器ノ如キモ大ニ此點ニ注意シテ製作セサレハ破壊シ市場ニ適セサルニ至ルヘシ

(第五)貧富ノ程度カ商品ニ及ボス影響

北海ハ南清ニ比シテ生活ノ程度低キヲ以テ精巧ニシテ高價ナル工藝品ヨリモ少シク不恰好ナルモノ堅固ニシテ安價ナル  
 モノ需要多シト云フ然レトモ富豪家絶ヘテ無キニ非サルヲ以テ營業者ハ輸出品ニ付大ニ斟酌ヲ爲サレ可カラズ

(第六)家屋建築法カ商品ニ及ボス影響

清國ノ家屋ハ我國ノ家屋ト建築法異ナルカ故ニ木材ノ寸法自然相異ナラサルヲ得サルナリ又天井高キヲ以テ室内ノ裝  
 飾ニ供スル額面、花瓶、唾壺等ノ如キモ稍大ナルモノニ非レハ室内ノ釣合ヲ失フ需要薄ナキニ由リ宜シク研究スル

摘要

(第七)居住ノ方法カ商品ニ及ボス影響

我國ニテハ幕上ニ坐シ清國ニテハ倚子ニ倚ル北清地方ニテハ床ハ普通瓦張ニナシ器具ハ卓上ニ安置スルヲ以テ誤テ床  
 上ニ落シタル場合ニハ我國ニテ幕上ニ落シタル場合ト異ナリ破損スルコト多キヲ以テ可成堅固ノ物品ニ非サレハ彼等  
 ノ嗜好ニ適セス由テ近來磁器器具即葉鐵器ニ浴室ヲ施シタル器具流行スルニ至レリ之レ即チ外見磁器ノ如ク美麗ニシ  
 テ破損ノ憂ナキニ由ル而シテ將來該品ノ需要ハ益々増進ス可シ又彼等ハ寢臺ヲ要シ寒中ハ床下ヨリ火ヲ焚キテ煖ヲ取  
 ルニ由リ煖爐火鉢等ノ需要少ナキ等居住ノ方法カ商品ニ及ボス影響モ亦淺少ニ非サルナリ

(第八)法令カ商品ニ及ボス影響

清國ニテハ人生必要ノ食鹽ハ政府ノ專賣ニ屬シ價格高價ナルニ由リ我國ヨリ輸出スル海產物ニシテ鹽ヲ施シ爲ニ味ヲ  
 損セサルモノハ可成鹽ヲ多ク施ス方賣行好カルヘシ例ヘハ鷄冠菜ノ如キ鹽ニ埋メテ輸出スルハ之レカ爲メナリ又辨髮  
 ノ如キ之レヲ斷ツコトヲ許サス清國四億萬ニ余ル國民ノ半數ヲ男子ト假定スレハ貳億萬人トナル其辨髮ニ使用スル組  
 紐并ニ流蘇ハ必ス需要アル可キ物品ニシテ目下獨國ヨリ供給スルモノ多シト云フ手工ヲ以テ誇ル我國ノ工藝者ハ大ニ  
 注意ヲ要ス但右組紐ハ幼年ノ時ハ赤色ヲ用イ中年以上ハ黑色ヲ用イ白色ハ喪中ノ外用イサル慣習ナリ

(第九)交通機關カ商品ニ及ボス影響

北清ハ南清ニ比シ舟楫ノ便少ナク例ヘ沿河ノ地方ト雖モ冬期三四ヶ月ハ氷ノ爲メ封鎖セラレ船舶ニ由リ商品ヲ運搬ス  
 ルコト能ハサルニ由リ自然駱駝、馬背又ハ荷車ニ由リテ商品ヲ運搬スルヲ以テ荷物積卸ノ度數夥多ナルノミナラス道  
 路ノ凹凸甚シキヲ以テ動搖スルコト運車積ノ比ニ非サルカ故ニ破損シ易キ貨物ハ荷造法ニ充分注意セサレハ將來販路  
 圓滑チ欠クニ至ルヘシ

(第十)醫術及衛生法ノ商品ニ及ボス影響

清國ニテハ衛生法ノ何タルヲ解スル者稀ナリ隨テ流行病患者ノ吐瀉物ハ之ニ消毒ヲ施スコトナクシテ之ヲ河流ニ流シ  
 同一ノ河水ヲ酌テ飲料水ニ供スルヲ以テ流行病ハ次第ニ蔓延シ又之ヲ救治スル醫術モ亦幼稚ナルニ由リ勢ヒ賣藥ノ力  
 ナ借ルコト多シ故ニ吐瀉病ニ適スル賣藥下劑、強壯劑等ハ需要大ナリト云フ又北清地方ニテハ流行病ハ鼻ヨリ入ル  
 ト稱シ寶丹等ノ如キ煉リ藥ハ鼻穴ヨリ吸入レ又ハ摺リ込ム慣習アル由ナレハ可成原料ヲ細カナル粉末ニ製スルヲ要ス  
 但鐵箱劑トシテハ吸煙阿片ノ渣ヲ服用スルヲ以テ販路廣カラスト云フ凡テ賣藥類ハ水藥ニ製センヨリモ粉末又ハ煉藥  
 若クハ丸藥等ニ製スル方賣行ヨシト云フ之レ畢竟携帶ニ便ナルト漢藥ヲ用ユル習慣ヨリ來リタルナリ由リテ眼藥ノ  
 如キモ成可買入リニ製スルヲ可トス

右ハ單ニ氣候及社會的事項カ商品ニ及スル影響ノ概略ヲ述ヘタルモノナリ我國ノ商品ニシテ北清地方ニ輸入シタルモノ  
 ハ是等ノ事項ヲ研究シテ特ニ製造マタルモノ稀ナルニ由リ販路圓滑ナラサルノミナラス營業者ノ語ル所ニ由レハ我商  
 ハ賣行ノ宜シキ程品質ヲ低劣ニナスノ傾向アルヲ以テ顧客ヲ永遠ニ繋クノ力薄シト云フ  
 各商品ニ對スル詳細ノ事項ニ就テハ各港ニ區別シテ左ニ陳述セントス

第一、天津

天津（北緯三拾九度四分東經百十七度三分三拾六抄）ハ白河ト大運河ト會流スル所ニ位シ太沽ノ海岸ヲ去ルコト四拾哩  
 ニシテ人口八拾萬又ト百萬ト稱シ市街ハ外國居留地（紫竹林）ト土人街トノ二部ニ分レ日本專管居留地ハ其中間ニ位スル  
 開口ト稱スル所ニテ白河ニ面シ佛國專管居留地ニ接續セリ舊記ニ由レハ天津ハ二千年前ニハ海邊ニ位スル一小村落ナリ  
 シカ一千三百年前ニ大運河ノ開鑿アリヨリ舟楫ノ便大ニ開ク明朝ノ始メニ當リ政治上樞要ノ地トナリ砲臺ヲ築キ兵ヲ  
 置キ西曆紀元千七百二十六年ニ州ト稱シ同千七百三十二年ニ府トナリ一州六縣ヲ管理シ一千八百五拾八年開港以來外國  
 貿易益々繁盛ニ赴ク最近三々年間ニ於ケル輸出入品ノ價格及入港船舶ノ噸數ハ左ノ如シ

年次	輸出品價格	輸入品價格	入港船舶
一千八百九十九年	1,400,000 兩	7,000,000 兩	噸數 八七
一千九百年	1,000,000 兩	5,000,000 兩	噸數 七六
一千九百一年	1,000,000 兩	4,000,000 兩	噸數 六六

前表ニ由レハ如何ニ義和團事件カ貿易ニ影響セシメカヲ見ルニ足ル可シ  
 又最近十々年間ニ於ケル貿易額ヲ二分レ毎五々年間ノ平均額ヲ示ストキハ左ノ如シ

自一千八百九十二年	自一千八百九十六年	自一千八百九十七年	自一千九百一年
五々年間	五々年間	五々年間	五々年間
4,300,000 兩	4,300,000 兩	4,300,000 兩	4,300,000 兩
4,300,000 兩	4,300,000 兩	4,300,000 兩	4,300,000 兩

一、水路

天津ハ前ニ述ヘタルカ如ク白河ト大運河ノ會流スル所ニシテ水利ノ便利ナルハ北清第一ト稱シ瀕瀕ニテ輸入シ來ル貨物  
 ハ白河ヲ溯リ來リ且其上流ハ長城ヲ貫流シテ獨石口附近ニ達スルヲ以テ上流ニ位スル各地ノ貨物ハ白河ヲ下リテ北京ノ  
 貨物ト共ニ通州ニ集マリ流レテ下リテ當地ニ來ル故ニ通州ハ當地以北ニ於ケル有名ナル貨物集散地ナリ又南ハ運河ニ由  
 リテ青州ニ通シ分レテ二派トナリ一ハ老濰河ト稱シテ其ノ源ヲ山西省ニ發シ潞安、黎城及廣平等ノ都府ヲ貫流シ他ハ南  
 運河即衛河ト稱シ山東省臨清府ニテ又二派ニ分レ一ハ大運河ト稱シテ江蘇省ヲ縱貫シ鎮江ヲ過キテ杭州府ニ達シ他ハ御  
 河ト稱シテ河南省衛輝府ニ至ルマテ舟楫ノ便アリ西南ニハ滹沱河アリテ源ヲ山西省ニ發シ長城ヲ貫流シ正定府ヲ經順德  
 府ヨリ來ル支流ト會シテ白河ニ注キ西ハ猪龍河ノ支流ニ由リテ正定府ニ通シ西北ニハ桑乾河アリ又洋河アリテ保安府附  
 近ニテ會流シ白河ニ落チ東南ハ小運河ニ由リテ蘆臺ニ通ス何レモ舟楫ノ便アリテ大小ノ支那船ハ百貨ヲ滿載シ天津ヲ焦

點トシテ集リ又散ス其他南清及滿州地方ヨリ白河ヲ遡リテ來ル船舶モ亦夥多ナルニ由リ天津ノ河岸拾貳哩間殊ニ運河ニ面スル邊ハ帆船ノ夥多ナル恰モ竹林ヲ望ムカ如ク頗ル殷賑ヲ極ム然レトモ惜哉天津ハ十二月中旬ヨリ翌年三月初旬迄凡三ヶ月間是等ノ水路ハ皆氷ニ鎖サレ貿易上一大障害ヲ與フルノヨナラス前記ノ諸川ヨリ流れ來ル土砂ハ凡テ白河ニ落チ徐々ニ海ニ注キ河口ニ堆積シテ水底ニ暗洲ヲ作り淺底ノ船舶ニ非レハ之ヲ越ヘテ白河ニ入ルコトヲ得ズ目下暗洲ハ干潮ノ時二呎半乃至三呎滿潮ノ時十一呎乃至十二呎ニシテ東南風ノ起ル時ハ西北風ノ時ニ比シテ河水ニ一呎ノ差ヲ生スト云フ故ニ河川用トシテ特ニ構造シタル淺底ノ船舶ニ非レハ暗洲ヲ越テ天津ニ至ルコトヲ得ズ由テ天津在留ノ外國人間ニハ白河ノ改修及浚渫ノ計畫ヲ爲シ貳拾五萬兩ヲ以テ浚渫費ニ見積リ内拾萬兩ヲ直隸總督ニ出資セシメ残り拾五萬兩ニ對シテハ居留民ノ市役所ヨリ六分利付拾貳千九百兩ノ公債ヲ募集シ先ツ第一着歩トシテ白河ノ屈曲ヲ直ス爲メ設計シタル五ヶ所ノ運河中天津市街ニ近キ第一及第二ノ運河ヲ開鑿セリト云フ由テ市役所ハ公債ノ利子及元金ノ償却ニ充テシカ爲メニ清國政廳ノ許可ヲ得白河ヲ經テ輸入スル貨物ニ對シ關稅ノ貳分ニ相當スル通過稅ヲ關稅ト共ニ稅關ニテ徵收シツ、アリ然レトモ白河ノ浚渫ハ永久之レヲ爲サ、レハ其功ヲ奏セサル可シ如何トナレハ白河及之レニ會流スル諸川ノ上流ハ花々タル平原ニシテ旋風起ランカ土砂ヲ捲キテ河中ニ投シ流レテ河口ニ至ル是レ浚渫上第一ノ困難ナリ又河川ノ氾濫スルコトアレハ平原ノ土砂ヲ洗ヒ來リテ河口ニ投ス是レ第二ノ困難ナリ數年前佛國ノ技師洪水ノ氾濫ヲ防カシカ爲メ運河ヲ穿テ水閘ヲ設ケタリレモ氾濫ノ際水面ハ水閘以上ニ高マリ其設計ハ遂ニ奮闘ニ歸シヨリト云フ

### 二、海陸連絡

淺底ノ瀛船ハ河口ノ暗洲ヲ越ヘテ天津ニ遡ルヲ得ルコトハ前項ニ述ヘタルカ如ク然レトモ日本郵船會社ノ瀛船ハ此目的ニ應ジ構造シタルモノナキ故ニ貨物ヲ滿載シテ暗洲ヲ越ユルコトヲ得ズ陸地ヲ去ルコト五哩乃至七哩ナル大沽沖ニ投錨シテ貨物ヲ「ライマー」、コムパニー」ノ解船ニ卸シ瀛船ニ引カシメテ天津ニ送ル而シテ解船ニ荷卸ヲ爲ス順序ハ投錨順ニ由リ決シテ不公平ノ所置ナシト云フ「ライマー」、コムパニー」ハ株式會社ニテ五拾兩株貳萬五千八百株ヲ有シ總計百貳拾

九萬兩ノ資本ト社債貳拾五萬兩ヲ募集シタルニ由リ資本總計百四拾九萬兩ニテ數多ノ解船ト小瀛艇ヲ有シ大沽、天津間ノ貨物運送ヲ業トス同會社ノ解船ニ卸シタル貨物ハ會社自ラ運輸中ノ損傷ニ對スル賠償ノ義務ヲ負擔シテ天津若ノ上埠頭ニ陸揚ノ後貨物關係人ニ引渡スモノトス此間ノ運送貨ハ壹噸ニ付壹弗ナリト云フ而シテ埠頭揚ノ人足賃ハ「ライマー」、コムパニー」ノ負擔トス開ク所ニ由レハ「コムパニー」ハ人足ニ對シ大小ニ關ハラス一個ニ付壹錢七厘ヲ支拂フト云フ埠頭ニ荷揚シタル貨物ハ貨主直ニ關係人ヨリ之ヲ受取り輸入手數ヲ爲スカ然ラサレハ貨物ヲ運輸シタル會社ノ倉庫ニ庫入ヲ爲スコトヲ得但天津ニハ未ダ公私設稅倉庫ノ設ケアラサルニ由リ庫入ノ貨物ハ十日間庫内ニ放置スルコトヲ得ルモ同期間ヲ經過シ引取人ナキ中ハ會社ハ貨主ニ代リテ輸入申告ヲ爲スコキ規定ナリ然シ實際ハ稅關長ノ許可ヲ得テ一ヶ月位ハ其儘放置スルコトヲ得ルト云フ目下瀛船ヲ有セテ天津ニ貨物運搬ヲ營ム會社ハ日本郵船會社、招商局「パターフィールド」、スワイヤー」、「シャードン」、マヂソン、「チャイニス、マイニン、アンド、エンチニアニン、コムパニー」、「アメリカン、ハンボルク」瀛船會社ノ六社ニテ「パターフィールド」、「シャードン」、マヂソン」及招商局ハ聯合シテ運賃ヲ等一ニナシ居レトモ損益勘定ニ至ル迄固ク聯合シタルニハ非スト云フ此等ノ會社ハ何レモ倉庫ヲ有シテ貨物貯藏ノ用ニ供ス其他臨時ニ航海スル瀛船ナキニ非レトモ殆ント算フルニ足ラサルナリ前陳ノ如ク水路ニ由リ貨物ヲ運搬スル外白河ノ下流塘沽ヨリハ瀛車ノ便アレトモ十噸積一貨車ノ運賃雜費類ノ如キ一級品十五弗米麥ノ如キ二級品八弗ニシテ之レニ積卸ノ費用ヲ加ユルトキハ解船ノ運賃ニ比シ高價ナルニヨリ開河中ハ瀛車ニテ貨物ヲ運搬スルモノ稀ナリト云フ天津ニ於テ貨物ノ陸揚ヲ爲スコキ場所ハ英國居留地ノ河岸ニシテ幅十間乃至十五間長サ十町余ノ荷揚場アリ又所々ニ棧橋ヲ設ケ瀛船及大小ノ船舶之レニ横付ヲ爲シ卸シタル貨物ハ荷揚場ニ積ミ置クモノトス如何トナレハ北清地方ハ兩少ナクハナリ日本郵船會社支店モ該河岸ニ在リテ稅關ニ隣接シ稅關ニ屬シタル貨物検査場ハ貨物ノ陸揚場ニ設置シ検査長以下出張シテ検査ヲ爲スモノトス塘沽ニテモ貨物ノ検査ヲ受ルコトヲ得レトモ最初天津ノ稅關ニ申告書ヲ提出シ受付ノ記名ヲ得タル後塘沽ニ送り貨物ノ検査ヲ經テ其成績ヲ記入シ再天津ニ歸リ納稅ノ手數ヲ爲スモノニテ往復ノ爲

ノ時間ヲ空費スルノ不便アルカ故ニ止ムヲ得サル場合ノ外塘沽ニテ貨物ノ検査ヲ受クルモノナリト云フ又太沽沖ニテハ  
 税關員漁艇ニ乗シテ船舶ト陸地間ノ連絡ヲ監視シテ密商ヲ防クニ備フト雖モ日没ニ當リ船舶ニ封印ヲ施ス等ノコトナク  
 又「ライター、コムパニー」ニテ天津ニ送ル貨物ヲ護送スル等ノコトナリト云フ右英國居留地ノ河岸ニ接シ其上流ニ當  
 リテ佛國ノ河岸アリ英國居留地ノ河岸ト同シク荷揚場ニ充ツヘキ余地ヲ存スルアレトモ今ハ水底淺クシテ漁船ヲ近クル  
 ニ便ナラス而シテ佛國居留地ニ隣レルヲ日本居留地ト爲ス其河岸ハ佛國居留地ノ河岸同様水底淺クシテ大船ヲ近クルコ  
 ト能ハス又後日白河浚渫ノ後漁船ヲ近ツテ得可キニ至ルモ荷揚場ノ設備ナキ上ニ河岸ニ沿フテ幅五間内外ノ道路ヲ敷設  
 シアレハ英佛居留地ノ河岸ト全ク趣キテ異ニセリ

三、輸出入貿易  
 甲、輸出貿易

總論ニ述ヘタル如ク北清ハ純然タル農産國ニシテ原料品ニ非スハ粗製品ヲ輸出シ精製品ヲ輸入スル所ニシテ輸出品ノ  
 主タルモノハ羊毛、毛皮、牛皮、麥稈、藥材、支那酒、落花生豆、牛骨、杏仁、「フエルト」類、乾菜等ニシテ土地ニ製産物極  
 ナク年々輸入超過ヲ爲スコトハ前ニ掲ケタル貿易表ニ由リテ明ナリ但前掲ノ貿易表ハ外國及支那各港ヘノ總輸出額ヲ  
 統計シタルモノナルニ由リ茲ニ外國ヘ向テ直輸出シタル額ト我國ノミヘ直輸出シタル額トヲ對比シテ參考ニ供ス

年次	外國へ直輸出總額	日本へノ輸出額	割合
一千八百九十七年	七三,四三三	六六,四〇六	〇.九〇
一千八百九十八年	四九,一六六	四六,六六六	一.一五
一千八百九十九年	八三,八三三	四七,七三六	四.四四
一千九百年	三六,七八三	五九,九七七	一.四三
一千九百一年	六四,三三三	二四,〇六一	三.七五

該表ヲ一覽スレハ日本ヘノ貿易ハ益増加シツ、アリヤカ義和團事件ノ爲メ一時打撃ヲ受ケ漸ク舊態ニ復シツ、アルモノ  
 、如シ

乙、輸入貿易

輸入品ハ重モノ精製品ニシテ綿布及綿糸ハ輸入總額ノ半額以上ヲ占ム其他重ナル輸入品ハ毛織物類、金屬及金屬製品、機  
 械類、海産物、人参、燐寸、石油、紙、鑛道材料、「リボン」、石鹼、砂糖、木材等トス而シテ輸入外國品ハ多ク上海ヲ  
 經由シテ來ルモノ多シ最近輸入貿易ノ全額ハ既ニ前表ニ掲ケ置タルニ由リ茲ニハ外國ヨリノ直輸入貿易額ト我國ヨリノ  
 輸入額トヲ對比スルコト左ノ如シ

年次	外國ヨリ直輸入額	日本ヨリ直輸入額	日本直輸入額割合
一千八百九十七年	九一,六四〇	一六,三三三	一.七七
一千八百九十八年	九一,〇三三	二四,〇六六	二.四四
一千八百九十九年	一四三,五三六	四八,四七四	三.三八
一千九百年	三六,八四八	一〇,四〇三	二.八三
一千九百一年	八三,三六八	二五,〇四〇	三.一七

四、輸出入品  
 甲、輸出品

(一)羊毛附山羊毛及駱駝毛  
 輸出品中重ナルモノハ羊毛ニシテ最近五ヶ年間ノ輸出額左ノ如シ

年次	羊毛	山羊毛	駱駝毛
一千八百九十七年	一八,〇三三担	五三七担	三六四〇担
	一七,八〇三兩	六,六三三兩	三六,八七七兩



一千八百九十八年	2757	135101	8464	8633	17110K	118081
一千八百九十九年	2762	131230	8231	11358	80911B	50078K
一千九百年	10847	135610	2510	5665	1697	2808B
一千九百一年	22503	10376	396	8666	1333	10551

羊毛、山羊毛等ハ北清一帯何處ニモ産セサル所ナリト雖モ主タル産地ハ山東省、臨清府地方河南省、河南府及懷慶府地方、直隸省、宣化府、順德府及河間府地方山西省、太原府、澤州府及潞安府地方陝西省、榆林及西安府地方甘肅省、西寧府、涼州府、甘州府及蘭州府地方及長城外ノ承德府、多倫諾品哈達及歸化城地方トス張家口以東ニ於ケル長城外ノ地方ニ産スル羊毛ヲ東口又ハ北口ト呼ビ其ヨリ以西ニ産スルモノヲ西口ト稱ス又天津市場ニテハ羊毛ヲ區別シテ寒羊毛、套毛、抓毛ノ三種トス寒羊毛トハ清曆二月ノ頃剪取シタルモノニテ直隸河南及山東三省ノ相接スル一帯ノ地方ニ産スルモノハ毛質柔軟ニシテ最製絨用ニ適スト云フ套毛ハ春秋二期ニ剪取シタルモノニテ甘肅省、西寧府地方ニ産スルモノ品質尤モ宜シク山西省太原府地方ニ産スルモノ之レニ亞シテ抓毛ハ縹緞ニテ羊体ヨリ抓キ取リタルモノニテ山西省澤州府産最名アリ市場ニテハ套毛、抓毛ヲ細別シテ套毛、大套毛、大抓毛、小抓毛、撒抓毛等ト稱スルモ只形狀ト剪毛ノ時期ニ由リ區別シタルモノニテ之レヲ以テ價格ノ標準トナスコト能ハス故ニ價格ノ標準トナスニハ西寧套毛、河南寒羊毛等ノ如ク品名ノ上ニ地名ヲ附加セサル可ラス又前記種類ノ外ニ小羊毛又ハ羔羊毛ト稱スルモノアリ之レハ雜羊毛ニテ柔軟ナレトモ産額少ナシ山羊毛ヲ清國人間ニハ山羊毛ト山羊絨トノ二種ニ區別ス山羊毛ハ山羊又ハ羚羊ノ鬃ノ毛ヲ剪リ取リタルモノナレトモ山羊絨ハ身體ヲ抓リテ得タルモノニテ黑色、白色、茶褐色及灰色等アリ純毛ハ重ニ長城外ノ地方ヨリ來ル概シテ是等ノ毛類ハ天津ヨリ西南又ハ西北ノ地方ニ産スルモノヲ以テ品質佳良ナリトス東北ノ地方ニ産スルモノハ品質劣等ニシテ光澤佳スラス織絨弱ク且彈力ニ乏シト云フ羊毛ノ出市時期ハ清曆五月ヨリ十月迄ノ間トス但甘肅省邊ニテ秋末ニ裁リタルモノハ翌年一月頃ニ天津市場ニ着スルコトアリト云フ羊毛ノ買入方法ハ清國人等産地ニテ集メタル

モノヲ天津ニ運輸シ行棧ト稱スル我國ノ旅宿業間屋ノ如キ所ニ宿泊シ洋人ト直取引ヲ爲スモノアリ又仲買人ヲ經テ取引ヲ爲スモノアリ此外洋人等ハ自己ノ信用スル手段ヲ内地ニ派遣シ産地ニテ買付ケテ天津ニ輸送スルモノ年々多キヲ加フルニ至レリ該手段等ハ羊毛ノ産地ニ至リ其地ノ間屋ニ依頼シテ購入スルコトアリ又ハ仲買人ヲ經テ買收スルコトアリ仲買人ヲ經テ買收スルニハ豫メ買收セントスル數量ヲ定メ口頭ヲ以テ賣買ノ約定ヲ爲シ他ニ賣渡サ、ル様手付金ヲ渡シ羊毛ノ集マルヲ待テ買入ル、モノニテ代金ノ支拂ハ現品受渡後十日二十日又ハ一ヶ月拂ノモノ最モ多シトス斯クシテ買入タル羊毛ハ砂落機械ニ掛ケ土砂ヲ去リ壓搾器ニテ壓縮シ麻布ニテ包ミ鐵箱ヲ掛ケテ包裝スルモノトス近年ニ於ケル天津 場ノ價格大凡左ノ如シ

辛集寒羊毛	三十二年	19500	三十四年	10200	三十五年	11200
河南寒羊毛		17500		16200		15200
西寧套毛		17500		18500		19000
哈達套毛		13500		15100		14800
順德撒抓毛		15800		16100		16200
右ハ風袋込一百斤ニ對スル相場トス						

羊毛ハ前表ノ如ク産額多ク從テ直接間接ニ歐米ニ輸出スル額夥多ニシテ品質モ亦製絨用ニ適スヘキニ由リ將來我國ニ於ケル製絨工業ノ發達スルニ從ヒ原料ヲ茲ニ求ムルニ至ラハ澤州ニ比シ運賃安ク且我輸出品ノ價格ヲ物品ニテ回收スルノ便利アルノミナラス今日ノ如キ銀價下落ノ時ニ於テハ一層有利ノ貿易品ナラント考フ此道ニ志アルモノハ大ニ研究ヲ要ス可キナリ

(二) 豚毛及馬尾

右二品ハ何レモ刷子ノ原料ニ使用スルモノニテ當港ヨリ毎年輸出スル數量及價格左ノ如シ

年次	豚毛	馬尾
一千八百九十七年	10101 組 38400 兩	525 組 16750 兩
一千八百九十八年	13035 組 56477 兩	547 組 18062 兩
一千八百九十九年	13200 組 56356 兩	842 組 26318 兩
一千九百年	8031 組 36069 兩	2503 組 76522 兩
一千九百一年	11055 組 56610 兩	370 組 11277 兩

豚毛ハ前記ノ如ク輸出額夥多ナレトモ品質佳良ナラス色ハ黑色長短ニ於テハ短キハ二三寸長キハ四五寸ニシテ價格ハ下品百斤拾七兩中品三四拾兩上品壹百兩ナリ本品ハ百斤以上ニ非レハ取引ヲ爲サザル習慣ナリト云フ馬尾ハ即馬尾毛ナリ滿州蒙古地方ヨリ天津ニ集マルモノニシテ概ネ黑色ナレトモ五分ノ一位赤色ノモノヲ混入スト云フ價格ハ百斤壹百貳拾兩ナリ又稀レニ白色ノモノアリ是ハ百斤百六拾七兩ヲ値スト云フ

(三) 麥稈真田

當港ヨリ輸出スル麥稈真田ノ種類數量及價格左ノ如シ

年次	白色	「モットル」	染マルモノ
一千八百九十七年	223 組 5812 兩	1023 組 26102 兩	7 組 2130 兩
一千八百九十八年	1722 組 68125 兩	3388 組 86331 兩	22 組 5821 兩
一千八百九十九年	10257 組 33032 兩	3388 組 86331 兩	33 組 86330 兩
一千九百年	874 組 34335 兩	1977 組 50506 兩	27 組 8180 兩
一千九百一年	226 組 8133 兩	262 組 6525 兩	12 組 3020 兩

當港ヨリ輸出スル真田ハ右ノ三種アリテ「モットル」トハ麥稈ノ天然ニ色ノ付タル部分ト外皮ニテ覆ハレ比較的色ノ薄キ部分トヲ取交ヘテ斑點ヲ顯ス様組ミタルモノナリ染マルモノトハ青、綠、紫等ノ各色ニ染メタルモノト天然ノモノトヲ貳種若クハ三種以上取合セテ組ミタルモノニテ中ニハ組ミ方巧ミニシテ能ク揃ヒタルモノアレトモ概シテ組方精巧ナラズシテ品質モ亦佳良ナラス幅ハ貳分乃至一寸位ニテ六十碼若クハ百貳拾碼チ一束トシ貳百四拾束チ壹袋ニ包裝ス其價格三拾兩乃至七八拾兩ナリト云フ

(四) 牛骨

當港ヨリ本品ノ輸出數量及價格左ノ如シ

年次	數量	價格
一千八百九十七年	4633 組	18543 兩
一千八百九十八年	666 兩	3765 兩
一千八百九十九年	8301 兩	4104 兩
一千九百年	2638 兩	1357 兩
一千九百一年	2241 兩	1142 兩

本品ハ蒙古、北京、正定保定及近傍ノ村落等ヨリ蒐集スルモノニテ北京以北ヨリ來ルモノハ一先通州ニ集メ夫ヨリ天津ニ運搬スルモノトス之レヲ買入ル、ニハ仲買人ト特約ヲ結ビ豫メ一年中ニ買入ル、數量ヲ見積リ價格ヲ定メ置ク面シテ仲買人ハ各地ヲ奔走シテ蒐集シ來ルモノトス以前ハ廣東地方ニ甘蔗ノ肥料用トシテ輸出シタリシカ近年我國ヨリノ注文多キ爲メ殆ント全部我國ニ向テ輸出スルニ至リシト云フ尙ホ今後我國ノ需要昇進スルコトアルトモ當分供給ニ不足ヲ訴ヘ又ハ著シク價格ノ騰貴ヲ來スコト無カル可シト云フ

(五) 毛皮及牛皮

當地ヨリ輸出スル毛皮ハ猫、野猫、犬、狐、羊、山羊、土撥鼠、兎、野兎、貂鼠、栗鼠、鼬、豹、虎等ニテ多クハ毛皮ノ僅衣服ノ裏、婦人ノ襟卷又ハ敷物等ノ原料ニ供スル爲メ歐米ニ輸出スルモノ多シ大皮ハ主モニ滿州ノ産ニシテ同地方ニテハ皮ヲ取ル爲メ毎家數疋ノ犬ヲ飼養シ長スルヲ待テ屠リテ其皮ヲ取リ其肉ハ食用ニ供スト云フ滿州ノ習慣トシテ婦人ノ他家へ嫁ルトキハ我國ニテ結婚ヲ送ルカ如ク嫁家ヨリ結婚ノ贈品トシテ六疋ノ犬ヲ新郎ノ家ニ送ルト云フ恰モ濠警談ニ宵ダレトモ深ク考フルトキハ此贈品コソ輸出貿易ノ原素ニシテ如何ニ滿州人カ經濟ニ注意スルカヲ見ルニ足ルヘシ牛皮ハ一枚ノ重量十五斤乃至三十斤ニシテ價格ハ百斤貳拾兩乃至叁拾兩ナリ毛皮ハ我國ノ如キ溫帶地方ニテハ需要極ナケレトモ牛皮ハ貿易品トシテ有望ナラン

(六)雜品

其他滿港ノ輸出品中彫帽ナルモノアリ北滿地方ニテハ一般ニ防寒ノ具トシテ戴キ其形種々アリ特ニ詭ニレハ我國ニテ製造スル帽子ノ元料ニ適ス可キニ由リ當業者ノ注意ヲ要ス又天津鐵匠ト稱シテ輸出スルモノハ山羊毛ト羊毛トヲ混シ綿織ヲ縱糸ニ用キ手織ノモノニテ普通ハ白色ノ地ニ藍色ノ模様ヲ織出シタルモノナレトモ稀ニハ赤色ヲ混シ土耳其絨織ニ模擬シタルモノアリ壹平方呎ノ價格ハ貳拾五錢乃至壹兩位ナリ又藥材中最輸出額多キハ甘劑ニテ百斤ノ價格ハ八兩乃至拾貳兩弗ナリト云フ

乙、輸入品

(一)生金巾、「シーチング」天竺布及雲齊布

千八百九十七年	日本製品	亞米利加製品	其他諸國製品
千八百九十八年	反 兩	反 兩	反 兩
1,000	2,000	1,275.50	3,328.66
		665.11	2,712.14

生金巾

千八百九十九年	3,000	9,500	11,000.00	3,328.66
千九百年	700	1,750	3,600.50	9,500.00
千八百九十七年	7,000	18,100	21,500.00	10,375.70
千八百九十八年	2,000	6,000	2,500.00	7,633.60

シーチング

千九百年	8,000	27,000	18,600.00	6,600.00
千九百一年	4,000	15,500	9,400.00	3,300.00
千九百一年	14,000	38,500	26,800.00	11,500.00
千八百九十七年	18,000	36,800	30,900.00	14,600.00
千八百九十八年	1,500	3,300	2,900.00	4,600.00

天竺布

千九百年	3,200	8,300	6,800.00	2,200.00
千九百一年	4,000	10,800	8,800.00	2,900.00
千八百九十七年	2,700	7,600	5,400.00	1,800.00
千八百九十八年	2,900	8,200	5,700.00	1,900.00

雲齊布

千九百年	500	1,700	1,300.00	400.00
千九百一年	2,500	10,000	7,500.00	2,500.00
千八百九十八年	8,000	22,300	15,600.00	5,000.00
千八百九十九年	8,000	22,300	15,600.00	5,000.00
千九百一年	2,500	10,000	7,500.00	2,500.00

右ノ諸綿布ハ淺黄ニ染メ支那人ノ衣類ニ供スルモノニテ主ニ山西省ニシテ其他直隸省及内蒙古、滿州ノ西部

河南、山東及甘肅三省ノ一部へ分配ス總論ニ述ヘタル如ク北清地方ハ氣候寒冷ナルカ故ニ防寒ヲ爲メ厚地ノ綿布ヲ要ス故ニ「シーチンク」并ニ雲齊布ノ需要ハ内地ト交通ノ頻繁ニ赴クニ從ヒ益々増加スヘシ然ルニ我國ノ製品ハ米國製品ニ比スレハ品質粗惡ニシテ價格比較的低廉ナラザルニ由リ稍モスレハ米國製ノ爲メ壓倒セララル、要アリ米國製ハ日本製ニ比シ色白クシテ光澤アリ經緯線兩ナカラ整ヒテ地合密ナリ且手續リ柔軟ニシテ強力ニ富ミ織耳整然トシテ恰モ刀及ニテ斷テタルカ如ク兩品ヲ比較スルトキハ一見其優劣ヲ知ルニ足ルヘシ織耳ノ正不正ヲ問フハ不必要ナルカ如キモ不整ナルモノハ工業上拙劣ヲ顯スノミナラス清國人ハ織耳整シキモノヲ好ムノ習慣アルカ故ニ米國製ハ價格ニ於テ尙反ニ付三匁内外高價ナルモ賣行好ク且永久ノ利益ヲ考フレハ反テ經濟的ナルニ由リ大ニ清國人ノ嗜好ニ投シ我製品ニ對スル一大障礙ナリ是レ畢竟米國ハ良質ノ棉花ニ富ミ原料タル綿糸ノ良好ナルニ由ルト雖我製品ハ出來得ル限ノ範圍内ニ於テ大ニ改良ヲ施サ、ル可ラス例ヘハ織方ニ注意シ絲筋不整ナラス織目ヲ整然タラシムルカ如キ波狀ヲ現ハシ且不整ナル織耳ヲ改良スルカ如キ整理方法ヲ研究シ之ヲ改善スルカ如キハ左程ノ難事ニハ非サル可シ前表ニ由レハ「シーチンク」ハ不完全ナカラ輸入増加ノ徵ヲ呈シ居ルモ雲齊布ノ如キハ氣息奄々トシテ將サニ命脈ヲ斷ントスルノ景況ナリ故ニ斷乎トシテ之レカ改良ヲ施サ、レハ將來貿易市場ヨリ驅逐セララル、ニ至ル可シ天竺布ハ右表ニ示スカ如ク外國製ノモノ漸々輸入減少シテ我製品増加ノ傾アリ外國製品ハ主モ「マンチエヌター」製及印度製ニテ前者ハ品質ニ於テ他ニ比類ナキモ價格高クシテ北清市場ヲ蠶食スルニ適セス今ハ印度品ト日本品トノ競争ナリ印日兩品ハ品質ニ於テ左程優劣ナキモ織耳ノ整キシコトハ印度品我ニ優リ我製品ハ色澤ニ於テ印度ニ優ル所アリ加之ナラス價格モ亦多少廉ナルニ由リ對戰ノ地位ヲ保テ、アルモ近來印度モ米國綿糸輸入シテ品質改良シ、アル由ナレハ決シテ油斷スヘキ時ニ非ス我製品モ急タラス改良ヲ加ヘテ市場ヲ占取スルノ準備ナカル可ラス

(二)其他諸綿布及綿製品

其他諸綿布及綿製品ニシテ我國ヨリ輸入スルモノト關係ヲ有スルモノ左ノ如シ

手巾	日本製品		其他諸國製品	
	打	兩	打	兩
一千八百九十七年	760x	807	564x1	538x3
一千八百九十八年	560x	771	296x5	296x5
一千八百九十九年	560x	771	296x5	296x5
一千九百年	170x	771	296x5	296x5
一千九百一年	170x	771	296x5	296x5
一千八百九十七年	90x	495	226x8	801x8
一千八百九十八年	126x	758	126x8	500x8
一千八百九十九年	126x	758	126x8	500x8
一千九百年	126x	758	126x8	500x8
一千九百一年	126x	758	126x8	500x8
「フランネル」				
一千八百九十七年	68x1	501	501x	330x8
一千八百九十八年	68x1	501	501x	330x8
一千八百九十九年	68x1	501	501x	330x8
一千九百年	68x1	501	501x	330x8
一千九百一年	68x1	501	501x	330x8
日本綿布				
一千八百九十七年	573x	475		
一千八百九十八年	573x	475		
一千八百九十九年	573x	475		

日本縮	一千九百年	八五五	六五八
	一千九百零一年	一〇四三	六六四
	一千八百九十七年	三二九	三九〇
	一千八百九十八年	一四三三	二四五五
	一千八百九十九年	一六〇六	三三八五
	一千九百年	六二九	一〇四三
	一千九百零一年	六三三	一〇四七

前表中手巾ハ外國品ニ比シ我製品殆ント半價ナレトモ比較的輸入額増加セサル所以ハ品質粗悪ナルニ由レリ北清市場ニ陳列スルモノヲ見ルニ配色華美ニシテ一寸通行人ノ足ヲ留ムルニ足ルヘキモノアルモ之ヲ購フテ暑中ニ汗ヲ拭ハ、彩色ハ忽チ剥テ顔面ヲ染メ一度濯ケハ忽チ脱色スルモノアリ斯ル品ニテハ如何ニ安價ナルモ再ヒ購フモノ非サル可ク殊ニ手巾ハ衣服ノ飾リ物ニ非サルヲ以テ其目的ニ背カサル様製造スルヲ要ス浴巾ハ前者ニ反シテ我製品ハ外國製品ヨリ高シ是レ畢竟獨逸ヨリ輸入スルモノハ横糸ニ紡績ノ屑綿等ヲ太糸ニ引キテ織込ミ安價ノ原料ヲ使用スルニ由レリ我製品ノ如キモ品質粗悪ニスルハ對清貿易上得策ニ非スト雖トモ廢物利用ノ法ニ由リ獨逸品ノ如ク安キ原料ヲ用非耐久力ヲ減セシテ安價ニ製造スルコトヲ得ハ販路ヲ擴張スルニ利アラン「フランネル」ハ統計上我製品ト外國品トノ區別ナキヲ以テ何程我品ヲ輸入セシヤ明ナラズト雖トモ市場ニ陳列セルモノヲ見レハ多クハ獨逸品ニテ我製品ハ稀ニ見ルノミナリ本品ハ主モニ肌衣、股引ニ製シ男女共ニ等シク用ユルニ由リ需要廣キヲ以テ北清地方ノ如キ氣候寒冷ナル地ニ輸入スルモノハ厚地ニシテ堅固ナル上洗濯シテモ褪色セサル品ニ限ル但品質ヲ改良スルハ價格ト關係ヲ有スルヲ以テ當業者ハ獨逸品ト比較シテ其得失ヲ考究セサル可ラス日本綿布ハ漸々輸入増加ノ傾アルモ一千九百年ノ輸入平均價格ニ比シ翌年ノ平均價格ハ著シク下落セリ統計表ノミニテハ明カニ論スルコトヲ得スト雖トモ粗製ニ流レサル様當業者ノ注意ヲ要ス此内

瓦斯系織ハ當地ノ吳服屋ニハ概ネ店頭ノ飾リトシテ五六反宛陳列シアルモ近來賣行好カラスト云々其原因ヲ尋ネルニ紫色深過キル爲メ嗜好ニ適セス今少シ薄紫ニ改良スヘシト云フモノアリ縞柄惡シトノ説ヲ爲スモノアリ色合縞柄共ニ批難スヘキ點ナケレトモ銀貨下落ノ影響ヲ受ケ價格騰貴セシニ原因スト云フモノアリ縞カニ判斷ナシ難キモ爲替相場ノ變動ハ體カニ貿易上ニ支障ヲ與ヘタルニ相違無カル可シ綿縮ハ北清地方ニテハ使用ノ期間短キト比較的品質堅牢ナラサルニ由リ賣行面白カラスト云フ

(三)綿糸

當港ニ輸入スル綿糸ノ種類數量及價格左ノ如シ

年次	日本製	印度製	支那製	英國製
千八百九十七年	五三、四三六	一〇、六九二	一、七七一	八八二
千八百九十八年	九〇、八三一	一四、六九一	一、五七二	一、八三六
千八百九十九年	一五、一一二	三、四九六	五、〇三六	一、七四〇
千九百年	二〇、九六六	五、三六一	一〇、三九六	三、三六〇
千九百零一年	五、四八四	一、三〇五	四、七〇九	一、六三六

前表ヲ通覽スレハ印度系ハ我國ノ製品ニ比シ如何ニ需要多キカヲ見ルニ足ル可シ如此北清市場ニ勢ヲ得ル所以ハ全ク十手系ヲ供給スルヲ以テナリ總論ニモ一言シタル如ク北方ハ氣候寒冷ニシテ厚地ノ綿布ヲ要スルコト多キニ由リ太糸ノ需要多クテハナリ故ニ北清市場ニ於テ印度系ト競争シ勝テ制セント欲セハ我國ニ於テモ十手系ノ製造ヲ奨励セサル可ラス或ル論者曰ク十手系ハ日清市場共通ノ商品ニ非サルヲ以テ不幸ニシテ清國市場ニテ賣行惡キ時ハ他ニ流用ノ途ナシト又曰ク滿州地方モ生活ノ程度進歩スルニ隨ヒ漸時細糸ヲ需要スルニ至ルヲ以テ今日太糸ノ製造ヲ企ツルハ時機ニ後レタルニハ非サヤト一應理アルカ如キモ北清ニテ厚地ノ綿布ヲ要スルハ機業ト全ク關係ナキニ非サルモ主トシテ氣候ノ寒

冷ナルニ由ルモノニテ防寒ノ爲メ此種ノ綿布ニ必要アルト綿服ノ裏ニ獸皮ヲ付シテ外套様ノモノヲ製スルノ習アルニ由  
 レリ裏ニ毛皮ヲ附スヘキ綿布ハ厚キモノニアラザレハ其用ニ適セス又北方人民ハ農業ヲ營ムニ非レハ礦業牧畜ヲ業トシ  
 又長白山附近ハ伐木ヲ以テ生計ヲ營ムモノ多クレハ薄地ノ綿布ハ彼等ノ需用ニ適セザレト恰カモ我國ニテ都鄙ニ由リ  
 テ其需用ヲ異ニスルニ同シ又華美驕奢ノ風ハ都府附近ニ起リテ漸次邊鄙ニ及フモノニシテ天津及北京等ノ如キ都府附近  
 ノ地ハ漸々細地ノ綿布ヲ要スルニ至ルモ此風潮カ山西、甘肅、陝西、河南、內蒙古等ニ及フハ遠キ未來ニ在リ凡ソ貿易ノ  
 秘訣ハ其地現在ノ嗜好ニ適スルモノヲ輸出シ嗜好ノ轉化ニ伴フテ製品ヲ變更スルニ在ルヘシ故ニ北清現在ノ需用品ヲ製  
 スルヲ勉メスシテ盛チ羨ムハ恰モ淵ニ臨テ魚ヲ羨ムカ如シ又十手系カ日清兩市場ニ共通スル商品ニ非サルノ故ヲ以テ販  
 路惡シキトキハ他ニ流用ノ途ナシ爲ニ利益ナリト云フハ退守的ノ商策ニシテ固陋ノ貿易業者ハ耳ヲ傾クナランモ製造  
 業ノ本旨ハ需要供給ノ狀態及權衡ニ基クモノナルニ由リ市場ノ調査周密ナルトキハ斯ル不利益ヲ醸スノ患ハ避クヘキヲ  
 以テ徒ラニ杞憂ヲ懷キテ躊躇スルハ策ノ得タルモノニアラス斯ル事情ハ十六手ニ於テモ又然リ蓋シ十六手綿糸ハ今日  
 清市場ニ共通ナリトスルモ一朝清國輸出ノ途絶ヘタル場合ニ果シテ其綿糸ハ我市場ニ多分ノ需要アルヘキヤ疑ヒテ容レ  
 サル可ラス抑々歐米各國ノ貿易品ハ總論ニ述ヘタル如ク販路ニ最モ關係深キ需要地ノ氣候風俗習慣其他品質形狀等同一  
 ナルモノ掛ナキノミナラス人ノ嗜好ナルモノハ恰カモ利刀ヲ以テ截チタルカ如ク一朝一夕ニ變化ヲ來スモノニ非ラス况  
 シヤ交通不便ニテ保守的ノ頑迷ノ清國人ニ於テオヤ宜シク刻下ノ嗜好ニ適スル十手系ヲ製造シテ現今輸入シツ、アル十六  
 手系以上ノ綿糸ト共ニ印度綿糸ト競争シテ之ヲ市場ヨリ驅逐スルノ策ヲ講スヘシ目下我國ヨリ輸入スル綿糸ハ鐘淵紡績  
 藍魚印十六手系最モ多シ稅關通過ノ目方ハ一俵三百拾五斤ニテ市價九拾三兩内外ナリ次キハ大阪紡績ノ金象印十六手系  
 ニテ稅關通過ノ目方三百二十斤市價九十兩乃至九十一兩次キハ平野紡績ノ立馬印十六手系ニテ稅關通過ノ目方三百十斤  
 次キハ倉敷紡績ノ三馬印ニテ稅關通過ノ目方ハ立馬印ニ全シシ價格八十七八兩ナリト云フ印度十六手系モ近來重量ヲ增  
 シ稅關通過ノ目方三百十斤ナルモ實際ハ三百五十六斤アリト云フ而シテ其品質ハ世人ノ知ルカ如ク概シテ品質弱ク光澤

惡シク色合モ亦日本系ニ及ハスト雖モ價格低廉ナルニ由リ需要アリ業者ノ言フ所ニ由レハ價格ハ印度系ノ上等ト日本  
 系ノ下等ト匹敵シ上等ノ系ノミヲ以テ比較スレハ壹俵ニ付凡四兩ノ差アリト云フ支那綿糸ノ價格ハ印度綿糸ト略同シク  
 光澤強方等モ印度綿糸ニ類似スト云フ當港ニ輸入スル日本綿糸ノ内七割ハ鐘淵藍魚印ニテ大阪紡績ノ金象印ハ近來改良  
 ヲ施シタル爲メ實行宜シク輸入増加ノ傾アリト云フ輸入綿糸ノ分配ヲ云ヘハ輸入額ノ六割ハ直隸省一割五分ハ東三省其  
 他ハ山東河南陝西甘肅等省ニ分配ス甘肅省地方ニ分配スルモノハ駱駝ニテ羊毛ヲ運輸シ來リ其歸リ荷トシテ駱駝ニ負ハ  
 セ張家口ヲ經テ運輸スルモノニテ駱駝一頭ノ荷積ハ凡三百斤内外ナリト云フ

(四) 麥 酒

義和團事變前迄ハ北清ハ日本麥酒ノ獨占市場タルカ如キ景況ナリシト云フ然ルニ我國ニテ麥酒稅則ノ發布アルヤ其實施  
 前ニ釀製品ヲ濫造シ之レヲ輸入シタルニ由リ風味惡シク往々廢敗品等アリ爲メニ需要頓ニ減シ名聲地ニ墜チントスルニ  
 際シ義和團事件爆發シ乃チ獨逸ハ此機會ヲ利用シテ御用船ニ獨逸麥酒ヲ積載シ來リ軍需品ノ名義ニ由リ免稅通關ヲ爲シ  
 廣ク市場ニ分配シ官民共同シテ商權ヲ擴張シ圖レリ獨逸製ハ其品質日本製ニ比シ優レルノミナラス價格モ亦無運賃ニテ  
 御用船ニ積載シ來リ無稅通關ヲ爲セシカハ頗ル安價ニテ消費者ノ嗜好ニ適シ忽チ日本製品ノ市場ヲ奪ヘリトノ說アリ果  
 シテ獨逸政府カ需用品ノ名義ヲ借リ公債ヲ無視シテ無稅通關ヲ圖リシヤ否ヤハ容易ク信ス可ラスト雖モ本日ノ粗製麥酒  
 ヲ輸入シタルコトニ就テハ日本居留民等カ異口同音ニ唱フル所ニシテ貿易ニ志アルモノハ憤然トシテ製造家ノ不徳義不  
 信用ヲ詰ル是ヲ以テ見レハ必ス事實ナラン乎實際當地ノ「ホテル」飲酒店及停車場等ニハ日本麥酒ノ後影ガモ止メス凡  
 テ獨逸麥酒ノ獨占ニ歸シ我國ノ「ビール」ハ日本專管居留地内ニアル日本人ノ酒店又ハ料理店等ノ隣ニ轉カルノミナリ  
 日本ノ麥酒製造家ハ之レヲ聞テ如何ノ感カアル單ニ麥酒製造家ノミナラス日本商品カ外國市場ニ失敗ヲ招ク所以ハ凡テ  
 粗製濫造ノ弊ニ在リ大ニ之レニ鑑ミテ將來ヲ戒メスンハアル可ラス

(五) 紙 類

我國ヨリ當地ニ輸入スル紙類中主ナルモノハ速史紙ナリ其使用法ハ帳簿ヲ作リ又ハ圖面等ヲ印刷スト雖トモ主タル使用ハ障子ヲ張ルニ用ユ其方法タル冬期ハ此紙ヲ以テ障子ノ内側ヨリ全面ニ糊貼シ（我國ノ障子ノ張り方ト反對ナリ）夏ハ此紙ヲ障子ノ上部ニノミ糊着シ置キ内側ヨリ恰モ障子卷クカ如ク上部ニ卷キ掲ケテ涼風ヲ室内ニ入ル、ニ便ニシ夜ハ卷キ下シテ空隙ヲ塞クモノトス元來速史紙ハ紙質弱ク障子張りニ適シタルモノニ非サレトモ色白ク紙質薄クテ光線ノ通過宜シキト價格ノ廉ナルヨリ實行アルモノニテ紳士ノ家ニハ朝鮮紙ヲ使用シアルヲ見テモ之レヲ察スルニ餘リアリ故ニ紙質ヲ改良シ可成堅固ニナス方北清向トシテハ可ナラント思ハル然レ價格ト關係アルニ由リ此點ニ就キ營業者ノ研究ヲ要ス

(六) 燐・寸

本品ノ輸入統計額左ノ如シ

年次	日本製品	其他諸國製品
一千八百九十七年	一〇四六・一〇	一三六・二七
一千八百九十八年	二三五・八〇	九四・四三
一千八百九十九年	一八二・三九	九〇・九八
一千九百年	九二・一七	一三六・六六
一千九百一年	二〇八・三三	一八三・七

前表ニ示スカ如ク我製品ハ外國製品ト競争シテ勝ヲ制シツ、アハ是レ畢竟價格ノ廉ナルト北清ハ空氣乾燥セルニ由リ發火セサルモノ尠ナキニ由レリ本品ハ内地ニテハ本數賣ヲ爲ス由ナレハ箱詰ノ節本數ニ注意ス可シ殊ニ近來箱ノ表面ニ何本入等ノ本數ヲ記入シタルモノアリテ實際ノ本數ハ表面ノ記入數ニ足ラサルモノアリ經濟的志望ニ富ミタル清國民ノ腦裡ニ不快ノ感ヲ與フルニ由レハ嚴密ニ本數ヲ數ヘテ箱詰スル能サレハ寧ろ表面ニ本數ヲ記入セサル方却テ宜シカラント

ノ説アリ又外國ヨリ輸入スル製品ハ蠟「マツチ」多キニ由リ我國ニテモ全種ノ「マツチ」ヲ製造輸入スルニ至ラハ勞銀ノ安キ點ニ於テ必ス英國及獨伊製ト競争シ取ルノ憂ナカラシ

(七) 木材 附探道枕木

本品ノ内軟木材ノ輸入額左ノ如シ

年次	外國ヨリ直接輸入額	立方呎
千八百九十七年	六七、六三三	一八、六〇七
千八百九十八年	二六、〇三〇	七、一六七
千八百九十九年	一三、二一七	三、四六一
千九百年	五〇、五七五	一五、〇三三
千九百一年	一五、〇三三	—

直隸省ハ森林ニ乏シク唯畔家屋ノ周圍又ハ道路ノ兩側ニ樹木ヲ見ルモ何レモ楊柳ニ非レハ槐楸ノ二種ニシテ漸ク農具又ハ車ノ材料ニ供スルニ足リ家屋建築用材ニ適スセ故ニ建築用材ハ他ヨリ供給ヲ仰カサル可ラス外國ヨリ來ルモノハ亞米利加松ニテ清國ノ他ノ地方ヨリ供給スルモノハ廣東ヨリ樟楠及椴ノ三種アレトモ主要ナル供給地ハ鴨綠江ノ上流長白山ノ支脈ヨリ伐リ出ス木材ニシテ該木材ハ椴ニ組テ鴨綠江下シ一先ツ大東灣ニ集メテ同地ヨリ支那船ニ積積シテ當地ニ回漕シ來ルモノニテ其種類ハ黃花松、黃松、楸、山楡及楚楡ノ數種アリ我國ヨリハ是迄枕木ヲ輸入スルノミニテ家屋建築用材ノ輸入ナカリシカ近來北海道産ノ蝦夷松及「トヤ」松ノ二種ヲ輸入シテ試賣ヲ爲シツ、アレトモ清國人等未ダ使用ニ慣レサルヲ以テ鴨綠江産ノ木材ニ比シ優劣ヲ判定スルコト能ハサルヲ以テ實行好カラスト雖トモ其道ニ精シキモノ、語ル所ニ由レハ鴨綠江産ノ松類ニ劣ルコトナシト云フ由テ漸々販路ヲ擴張スルニ至ル可シ其他我國ノ杉木ハ廣東産ノ榿木ニ肖マルヲ以テ屋家及船舶等ノ建築材トシテ需要アル可キモ我國ニテハ供給ニ乏シキヲ以テ若シ一時ニ數萬本

ノ注文アリタル場合ニハ直ニ價格騰貴シ到底引合ハサルニ至ル可シ故ニ北海道産ノ木材ノ如キ供給豊富ナルモノニ非レハ貿易品ニ適セサル可シ前ニ述ヘタルカ如ク今ハ鴨綠江産ノ木材ヲ供給スト雖トモ同地ヲ跋渉シタル人ノ説ニ由レハ毎年濠伐スルノミニテ殖林ヲ爲スモノ絶ヘテ無キニ由リ數十年ヲ出テスシテ供給ノ途絶ユルニ至ルヘシトノコトナレハ我北海道ノ如キハ木材ノ輸出ヲ爲スト同時ニ大ニ殖林事業ヲ獎勵シ國家永遠ノ利益ヲ圖ラサル可ラス又支那向ノ木材ハ料板若クハ料ノ二個連續シタルモノ即連ニ方子若クハ料ノ三個連續シタルモノ即連ニ大標ト稱スル形狀ニ切斷セサル可ラス料トハ長サ八尺厚サ七寸幅一尺ノ木材ヲ稱スルモノナリ故ニ連子方子ハ長サ一丈六尺ニシテ連ニ三丈大標ハ長サ二丈四尺ナリ價格ノ標準モ料ヲ以テ定メタリシカ近來ニ至リ一寸角長サ八尺ヲ以テ標準トナスニ至レリト云フ枕木ノ供給ハ殆ント我國ノ獨占ニシテ北海道ノ「ダモ」松、桂及楡ノ四種ヲ輸入ス此内釘ノ好ク枕木トシテ好評アルハ桂ナリト云フ然ルニ伐木者ハ永遠ノ考ヘナク「ハンノ木」及樟木ヲ枕木中ニ混入シテ輸出スル向アリ該兩種ハ他ノ諸木ニ比シ腐敗スルコト稍早キヲ以テ我國ヨリ輸入スル枕木ノ聲價ヲ落スコトナキヤテ憂フルモノアリ普通清國へ輸入スル枕木ハ長サ八尺厚サ六寸幅九寸ナレトモ東清鐵道ニ供給シタルモノハ長サ八尺十寸又「ベキン、シンチケート」ノ注文ニ係ルモノハ八尺半ナリト云フ枕木ニ就テハ亞米利加松ノ競争アリテ或ル鐵道技師ノ試驗シタル成績ニ由レハ腐敗ノ割合ハ亞米利加産ノ九ニ對シ本邦産ノ枕木ハ七ニシテ品質ハ亞米利加産ニ及ハスト雖トモ價格ノ點ニ就テハ我枕木ノ一、〇ニ比シ亞米利加産一、五乃至一、七ニシテ比較的本邦ノ枕木ヲ使用スル方經濟ナリト云フニ在リ探聞シタル儘ヲ記載シテ參考ニ供ス

(八)其他諸雜品

諸雜品中我國ト貿易上ノ關係アルモノニ付統計ヲ擧ケレハ左ノ如シ

品名	千八百九十七年	千八百九十八年	千八百九十九年	千九百年	千九百零一年
鍍錫洗面鉢	1,851,500	1,071,875	1,212,200	3,177	2,287,700
眞鍮鈕釦	212,100	260,200	288,350	117,200	376,800

品名	千八百九十七年	千八百九十八年	千八百九十九年	千九百年	千九百零一年
「フアンシー」支那製眞鍮鈕釦	1,242,300	1,212,000	1,302,000	2,120,000	2,310,000
珍柄ノ鈕釦	2,211	507,225	445,500	3,124	2,211
陶磁器	2,625,300	2,625,300	3,337	1,213	11,704
掛時計及置時計	2,275,200	2,375,300	5,400,800	3,622	1,212
紙張扇	8,200	3,367	5,500	3,372	1,212
玻璃器	2,700,000	5,400,500	3,610,500	3,372	1,212
外國製「ラング」	1,825,000	3,550,300	3,110,000	2,022	3,400,500
日本製「ラング」	5,576	2,901	10,004	2,311	1,751
外國製鏡	6,020	10,275	2,415	1,020	1,933
日本製鏡	7,200	8,693	1,317	2,322	2,322
香水香油	1,242,300	2,275,300	1,302,000	1,020,000	1,020,000
絹及絹「リボン」	2,211	5,400	3,124	3,124	2,211
洗濯石鹼	2,211	5,400	3,124	3,124	2,211
化粧石鹼	8,108	2,324	1,763	1,511	6,890
玩具	9,221	1,207	1,524	5,87	2,211
日本製編蝠傘	3,277	8,283	5,185	5,326	3,277
紙卷煙脚	2,211	2,211	2,211	2,211	2,211
水砂糖	2,211	2,211	2,211	2,211	2,211

凡テ北清貿易ハ義和團事件ノ爲メ一大打撃ヲ受ケ昨年迄ハ秩序回復セサル爲メ商況活潑ナラス諸般ノ貿易ハ團匪事件前



ニ比シテ減却ノ傾向ヲ呈シ本年ニ至リ稍活氣ヲ帯ヒ來リシハ世人ノ夙ニ知ル所ニシテ尙ホ之レヲ統計表ニ照ストキハ其事實ノ明ナルヲ知ルニ足ルヘシ

鍍錫洗面鉢ハ一時盛ンニ輸入シタリシモ近來獨逸ヨリ勃興シ鍍錫洗面器ノ輸入夥シク後者ノ方前者ニ比シテ美麗ナルノミナラス鍍蝕ノ憂ナキニ由リ一般ノ嗜好カ後者ニ傾キタルニ由リ

鈕釦類ハ廣東ニテ主モニ製造スル支那固有ノ球形鈕釦ノ方一般ノ嗜好ニ適シ又近來獨逸ヨリ輸入スルモノハ各色ノ玻璃玉及「セリユロイド」等ヲ依テ頗ル華美ナルモノニテ實行好良ナリ

陶磁器ハ省内ニ於テモ製造セサルニ非スト雖モ多クハ江西省地方ヨリ來レリ本品ノ如キハ我國ニテ形狀意匠等ヲ精巧ニ模擬シテ輸出スレハ必ス其需要ニ適スルヲ得可シ

掛時計ハ我國ヨリ輸入スルモノハ安價ナレトモ製造ノ粗雜ナル爲メ振リ止リヲ爲シ又ハ一週間捲キノモノニテ一週間捲ヘサルモノアリ一打ノ内ニ二三個ハ動カサルモノアリ評判宜シカラズシテ獨逸製ノ爲メ壓倒セラレントス

紙扇ハ我國ノ重要輸出品ノ一ナレトモ支那人ノ嗜好ニ適シタルモノナシ故ニ上流社會ノ持ツ扇ハ凡テ支那製ナラサルハナシ如何トナレハ日本ノ扇ハ風ヲ煽ルヲ目的トシテ製シタルモノナレトモ支那ニテハ第一ノ目的ハ裝飾品ニテ第二ノ目的カ風ヲ取ルニ在リ故ニ骨組美麗ニシテ扇面ニハ巧ミニ文字又ハ拾遺ヲ蓄キ一種云フ可ラサルノ雅致アリテ販賣スルニモ骨ト扇面トヲ分離シ各別ニ價格ヲ付シアリテ扇面ヲ代ユレハ幾度ニテモ使用スルコトヲ得ルナリ之レニ反シテ我國ヨリ輸入スル扇ハ固有ノ日本扇ニモ非ス純然タル歐米向ニモ非ス恰モ鵝のノモノニテ日本人歐米人及支那人ノ何レノ嗜好ニモ適セサル如キモノナリ將來大ニ改良ヲ要セサレハ清國貿易品ニ適セサル可シ

玻璃器ハ我國ノ製品安價ナルニ由リ多少ニ實行アレトモ透明ナラサルノミナラス破損易シ故ニ總論ニモ述ヘタル如ク漸冷法ヲ完全ニ施サレ可ラス近來大阪ノ人天津ニ玻璃製造所ヲ設立セシモ不完全ニシテ兒戲ニ類シタレ小規模ノモノナレトモ大ニ改良ヲ施セハ必ス有利ノ事業タルヲ疑ナシ

「ランプ」類ハ日本製ト獨逸製品トノ競争アリ我製品ハ安價ナル點ニ於テ需要アリ獨逸品ハ堅固ナル點ニ於テ我製品ニ優レリ故ニ下等社會ニハ我製品用ヒラレ上流社會ニハ獨逸品ノ需要多キカ如シ又獨逸ヨリ輸入スルモノ、内ニハ大形ノ釣「ランプ」アリ其笠ノ裏面ヲ鏡ニテ張りタルモノアリテ店頭用「ランプ」トシテ實行好シト云フ「ホキヤ」ノ如キハ外國製ノ方品質著シク優リ破損スルコト少クモ日本製ハ燈火中又ハ寒氣ノ爲メ自然ニ破損スルモノアリ且器具ノ如キモ燈心ノ線ヲ出シニ工合惡シク比較的早ク損スルニ由リ價格ノ點ニ於テ少々高價ナルモ獨逸品ノ方經濟的ナリト云フモノアルヲ以テ我國ノ製造家ハ此點意ヲ要ス

鏡ハ日本製品ノ輸入漸々増加シテ外國品ヲ驅逐セントス日本製品ノ内近頃氣受テ好キハ「ガラ戸」ナレトモ追々粗製品ヲ輸入シ引手ノ金具緩ルミタルモノアリ框ニ附着シタル鏡面下方ニ落チタルモノアリ「ガラ戸」ノ引キ掛リテ開閉自由ナラサルモノアリ又四隅螺絲付ノモノハ螺絲ノ短キ爲メ裏板脱落スルモノアリ今少シ製造法ニ注意セサレハ廉價ヲ落スニ至ル可シ

香水及香油ハ統計ヲ欠キ増加ノ比例分明ナラサレトモ當業者ノ云フ所ニ由レハ需要益々増加ノ傾キアリ殊ニ支那人間ニハ終日化粧ヲ事トスル女性モ之シカラサルヲ以テ貿易上有望ノ品ナラン

綿及絹「リボン」ハ衣服ノ粧飾ニ使用スルモノニシテ狭キハ二三分廣キハ二三寸ニ及ビ無地アリ紋織アリ其種類數多ニシテ使用ノ範圍次第ニ擴張スルノミナラス近來擬製寶石ヲ衣類ノ粧飾ニ使用スルモノアルニ至リタルヲ以テ我國ニ於テモ此等粧飾品ノ製造ヲ獎勵セハ對清貿易上有利ノ事業ナラン

石鹼類ノ需要ハ年々増加ノ傾アリ總論ニモ述タル如ク本品ハ水質ト氣候トノ關係アルヲ以テ製造方ニ改良ヲ要ス目下化粧石鹼トシテ好評アルハ「茂生」ノ商標アルモノナリ

玩具類ハ我國ヨリ輸入スルモノ多クテトモ破損易シトノ惡評ヲ免レス元來本品ハ世人ノ知ルカ如ク頑是ナキ小供カ遠慮ナク弄フモノナレハ可成堅固ニ製セサル可ラス又總論ニ述ヘタル如ク清國人ノ居所ハ日本ト異リ床ハ瓦張ニテ坐スル

コトナキヲ以テ手遊品モ坐シテ席上ニ弄フモノヨリ一層堅固ナラサル可ラス清國人間ニテ玩弄品ヲ購フモノハ概テ富者ノ家族ナルヲ以テ安價ニシテ早ク毀ルモノヨリハ寧ロ價ハ高クトモ精巧ニシテ堅固ナルモノ賣行宜シ故ニ西洋ヨリ輸入スル機械的ノ弄具ハ珍奇ナルト堅固ナルトニ由リ價ニ關セズ賣行好シト云フ

綿張蝠蝠傘ハ殆ント我國ノ獨占市場ナレトモ骨組弱ク染色惡シキ爲メ評判宜シカラス、紙捲煙草ハ村井製ノ孔雀印輸入尤多シト云フ次キニ「ピンヘッド」ニテ其他上海製ノモノモ亦市場ニ散見スト雖トモ其勢力孔雀印ニ及ハサルナリ之レニ支那婦人ノ需ヲ挿入セタルハ可ナレトモ印刷チ今一層鮮明ニナセハ尙ホ彼等ノ意ヲ迎フレコトヲ得可シ、氷砂糖ハ菓子ニ代用セラレ需要多シ且北方ハ砂糖ヲ産セサルト此等ノ奢移品ハ民度ノ進歩スルニ隨ヒ消費額ヲ増加ス可キニ由リ將來有望ノ貿易品タルコトヲ得可シ

五、貨幣及金融

清國ト貿易ヲ爲サントスルモノハ清國全般ノ經濟事情ニ通セサル可ラサルハ論ヲ俟タスト雖トモ清國ハ我國ト趣キテ異ニシ各省間金融ノ事情大ニ異ナルノミナラス一省内ニテモ一都府ノ通貨ハ他市街ノ通貨ト異ナルヲ以テ清國貨物ノ直輸入ヲ爲シ清國人ト直接ニ取引ヲ爲サントスルモノハ其地方ノ金融事情及通貨等ヲ詳知スルニ非レハ不測ノ損失ヲ招クコトアリ是レ小官等カ茲ニ現今天津ニ於ケル金融事情ノ概要ヲ述ヘントスル所以ナリ

抑兩ナル名稱ハ秤量ノ名稱ニシテ天秤ニテ量リタル銀ノ重量ヲ意味スルモノナルコトハ世人ノ能ク知ル所ナリ故ニ各地ニ用ユル天秤異ナレハ之レヲ秤リタル銀ノ重量ニ輕重ノ差アリ銀ノ重量ニ輕重ノ差アレハ其價格ニ差異ヲ生セサルヲ得ス當地ニテ金銀ヲ量ルニ用ヒタル、天秤ニ貳種アリ一チ公法秤ト云ヒ他チ行秤ト稱ス前者ハ支那人間ニ用ヒラレ後者ハ外人間ニ用ヒラレ該兩秤ノ差ハ五匁ニシテ公法秤ノ壹百兩ハ行秤ノ九十九兩五匁ニ相當スト云フ又外ニ海關兩ナルモノアリ關稅ノ收入ニ使用セラレ其壹百兩ハ公法秤ノ百五兩五匁六分ニ相當セリ而シテ衆人ノ依頼ニ應ヒ銀燭ニテ鑄造スル馬蹄銀ハ純位凡ソ〇、九八〇チ有レ右ノ公法秤ニテ秤量シ五拾兩内外アリ之レヲ元寶銀ト稱シ爐房ニテ表記シタル重

量ヲ公認シ通貨トシテ使用ス其他弗銀小銀貨及小錢等流通セリ

清國人間ニテ取引ヲ爲スニハ普通正貨ヲ受授スルコト尠ナク元寶銀ヲ銀燭ニ預ケ入ル、モノトス銀燭ハ恰モ我國ノ銀行ノ如ク帳簿ヲ備ヘテ受入ヲ記入シ預ケ主ノ請求ニ應ジテ銀票ヲ交付ス銀票ハ探兌、憑條、莊票又ハ票子ト稱シ紙片ニ金額ト預リ主ノ記名ヲ爲シタルモノナリ其性質ハ無期限ニ覽拂ニシテ恰モ我國ノ銀行紙幣ノ如ク受取人ハ之ヲ貨物ノ價格ニ支拂ヒ轉々流通シ若シ正貨ノ必要アル場合ニハ票子ノ所持人ハ振出銀行ニ至リ直ニ之レヲ正貨ト引キ換ユルコトヲ得又之レヲ正貨ノ代リニ預ケ入レ置キ之レニ對シテ入用次第票子ノ交付ヲ乞フコトヲ得又票子ハ預ケ金額ニ對シテノミニ限テ預金主ノ信用ニ對シ預金額以上ニ振出シ或ハ預金ナキ場合ニモ取引先ノ信用ニ對シテ振出スコトアリシモ危險ナク流通シ外國銀行ニ於テモ信用アル銀燭ノ振出シタル票子ハ故障ナク受授シ金融機關ノ連絡ヲ通ジテ金融潤滑ナリシカ義和團事件ノ後ニ至リ信用ノ制度稍破壞シ之レヲ濫發スルモノアリ又正貨ト之レカ引換ヘテ請求スルモノアリテモ正貨欠乏ノ爲メ之レヲ拒ムモノアリ或ハ割引ヲナシテ交換スルモノアリテ恰モ不換紙幣ノ濫發ニ於ケルカ如ク漸々正貨ト票子トノ差多キヲ加ヘ外國銀行ハ遂ニ票子ノ受授ヲ拒絕スルニ至リ其價格益々下落シ目下正貨千兩ニ對シ二三兩ノ差ヲ生スルニ至レリ故ニ票子ニテ買賣スル貨物ノ價格ハ次第ニ騰貴スルニ至リタルコト不換紙幣濫發ノ時ニ異ナラス且日用ノ買物ニ使用スル小錢ハ北清事件ノ際私鑄ヲ爲スモノ多カリシ爲メ形狀小ニシテ又品質惡劣ニ變シタルニ由リ「グレヤム」法行ハル、ニ由リ北清事件前ニ流通シツ、アリシ良質ノ小錢ハ驅逐セラレ惡小錢ノ高チ増加セシカハ弗ニ對スル相場次第ニ下落スルニ至レリ北清事件前ニハ墨銀壹弗ニ對シ小錢千百文乃至貳百文ノ相場ナリシカ近來ハ千九百文内外ニ下落シ票子ノ下落ト相待テ物價ノ騰貴ヲ來シ外國軍ハ肥馬ニ鞭テ市街ヲ橫行シ人民ハ再變亂ノ來ランコトヲ豫想シ浪費ヲ謹ミ購買力頓カニ減シ市場活潑ナラサルト倫敦銀塊相場下落ノ影響トヲ受ケ外國貿易一般ニ不振ニ陥レリ正貨欠乏ノ原因ハ數多アルヘント雖モ第一ハ輸入超過ノ爲メ正貨漸々流出シタルコト第二ハ國匪ノ爲メ掠奪サレタルコト第三ハ變亂後國匪ハ解散シ形ヲ變シテ山賊トナリ良民ヲ脅カシ金錢ヲ掠奪スルモノ多キヲ加ヘ遂ニ或者ハ盜賊ニ保證金ヲ支

拂フヲ通過スルニ至リタルヲ以テ内地ヨリ貨物仕入ノ爲メ來ルモノハ滙兌莊即山西銀莊ノ爲替ヲ付ケ又ハ延期限ニテ購入シ正貨ノ輸送社絶セシコト第四ハ變亂後一層貯蓄心ヲ獎勵セシメト勞銀運カニ騰貴シタルヲ以テ勞働者ノ收入増加シ衣食住ノ費用ヲ除キタル剩餘ノ金ハ金融市場ニ顯ハルコトナク各自ノ懐中ニ隱シ或ハ鍍金トナリテ土中ニ埋モレタル額増加セシコト第五ニハ票ノ下落セントスルニ際シ正貨ヲ引出スモノ多キヲ加ヘ其後益々票ノ下落ヲ來シタル爲メ恐慌ヲ起シ未ダ正貨ノ金融市場ニ顯ハルハ高嵩ナキ等ニ基因セシムハアル可クナリ又目下市場ニ流通ノ弗銀中ニモ墨弗ヲ初メトシテ日本圓銀、北洋弗、新墨弗、佛蘭弗、安徽弗、廣東弗、湖北弗、江南弗、福建弗、吉林弗及奉天弗ノ拾貳種アリ此内日本圓銀及北洋弗ノ貳種ハ墨銀ト同一ノ價格ヲ有スルモ新墨弗以下ノ九種ハ貳分乃至五分ノ割合ニテ通用セ相場時々變動ス故ニ流通貨幣内ニ於ケル相場ノ變動復雜ナルコト我國民ノ夢想タモ爲ス能ハサル所ナリ例ヘハ外國トノ爲替相場ノ變動ヲ除キ(一)兩ト弗トノ相場變動スルコト(二)兩ト票子トノ相場變動スルコト(三)弗ト小銀貨トノ相場變動スルコト(四)小錢ノ兩、弗及小銀貨ニ對スル相場變動スルコト(五)各弗間ノ相場變動スルコト等ナリ賣買ノ尺度タル貨幣ノ變動如此甚キキヲ以テ殆ント賣買ノ標準ナク清國通以テ自任スルモノスラ儲ケタルカト思ヘハ通貨價格ノ變動ノ爲メ忽チ損失ヲ來シ之レニ反シテ損シタリト失望シタルモノモ不意ニ利益ヲ得ルニ至リ之レカ爲メ外國貿易ノ妨害ヲ爲スコト尠ナカラス之レヲ救済スルニハ(一)中央銀行ヲ興スコト(二)清國全省ニ普通ノ貨幣ヲ製造スルヨリ外ニ其策ナカレ可

六、度量衡

清國ニハ一定ノ度量衡ナク各省多少ノ差アルノミナラス之レカ自由製作ヲ許シ且檢定ノ法ナキヲ以テ各自ノ使用スル秤ニ差異アルノミナラス同一人ニテモ受取り用ノ秤リト渡シ用ノ秤リト異ニスルモノアリト云フ故ニ斤目ニテ賣買ヲ爲ストキハ先ツ天秤ノ檢査ヲ爲シ賣手ノ賣手ノ天秤ヲ比較シ買手ノ天秤ニテ百斤何程賣手ノ天秤ニテ何程ト規定セサレハ賣買契約ノ不成立ヲ見ルコトアリト云フ實ニ厄介ナル國柄ナリ然レ洋商等ト取引ヲ爲スニハ封度秤ヲ使用シ百三十三封度三分ニテ百斤トシテ受授スト云フ尺度ニハ裁尺ト木尺トアリテ裁尺ハ我國ノ餘尺ノ如ク布帛ヲ計ルニ用ヒ木尺ハ木材ヲ計ルニ用ユ之レモ天秤ト同様不同アリ春華泰ト稱スル洋貨店ノ布帛賣買ニ實際使用シツ、アル裁尺ヲ檢査シタルニ三十四「センチメートル」即我曲尺ニテ一尺一寸貳分貳厘餘尺ニテ凡九寸木尺ハ材木商ノ實際使用シツ、アルモノヲ驗リ受テ檢査シタルニ三十一、四「センチメートル」即我曲尺ニテ壹尺〇三分六厘アリタリ記シテ參考ニ供ス

第二、北京

北京ハ天津ヲ距ル八十二哩ノ所ニアリ人口貳百五十萬ト稱スレトモ實際ハ壹百萬乃至壹百餘萬ニ過キヌ市街ハ廣ク貳拾五平方哩アリテ支那街ト滿州街ノ二ツニ分レ何レモ宏大ナル煤瓦ノ樓盤ニテ圍メリ越中滿州街ヲ圍メル壁ハ高サ及厚サ各四十呎周圍十二哩ニシテ正方形ニ築キ南方ニハ三個ノ門ヲ設ケ東西北ノ三方ハ各二門アリテ各門ノ上ニハ高サ一白呎ニ餘ル高樓巍峨トシテ緯へ二十世紀ノ今日ニ於テ如此古風ノ都府ヲ見ルモノ誰カ奇異ノ感ナカラン哉各門ヲ通過シテ市街ニ入ル貨物ニ對シテハ消費稅ヲ課セラル其稅率ハ詳細ニ知ルコトヲ得サレトモ大凡從價三步ニ相當スト云フ市街ノ三方ハ遠ク山ヲ望ミ南方ハ茫々タル平野ニシテ河川縱橫各市街ヲ連繫シテ解船ノ交通盛ナリ西山ハ外壁ヲ去ルコト十哩ノ處ニ在リ石炭及石灰ヲ供給シ西北ハ張家口(北京ヲ去ルコト一百三十哩)ヲ經テ蒙古ニ通スル道路アリ喇嘛廟、哈達、及山西、陝西、甘肅、三省ノ貨物ハ駱駝ニ負ハセ一人ニテ四五頭乃至十四五頭ヲ御シ數人隊伍ヲ組テ往復ノ頻繁ナルコト緘ルカ如ク東北ハ長城ヲ越ヘテ承德府ニ通スル街道アリ承德府ハ皇帝ノ避暑地ニシテ熱河ノ行營アリ西南ハ佛白「シンチケート」カ五百萬磅ヲ投シテ敷設シツ、アル蘆漢鐵道アリテ保定府及正定府ヲ連絡シ東南ハ清國鐵路公司ノ布設セル鐵道アリテ茫々平原ヲ貫キ駒々トシテ長蛇ノ横ハルカ如ク天津(北京ヲ去ルコト八十二哩)ヲ經テ塘沽ニ至リ北折シテ山海關(北京ヲ去ルコト二百五十六哩)ヲ通過シ營口ニ達ス塘沽ハ北京ヲ去ルコト百〇九哩ニシテ貨物ノ運賃ハ十屯積一貨車ニ付雜貨類ノ如キモノハ一級品六十弗ナリシカ近來五十六弗ニ改正シタリト云フ又米麥等ノ如キ二級品ハ三十六弗七十錢ニシテ危險物ハ一級品ノ二倍ヲ徵收スト云フ該運賃ハ解船積ニ比スレハ頗ル高價ナルニ由リ開河中斷市ニ

輸入スル貨物ハ天津ノ項ニ述ヘタルカ如ク一應天津ニ輸入シテ關稅納付ノ手數ヲ了シ同地ヨリ支那船ニ積載シ白河ヲ過リテ通州ニ至リ運河ニ由リテ東門外ニ達ス通州ハ北京ヲ去ルコト拾二三哩ノ所ニアリ運河ニ沿フテ布設シタル鐵道ハ北京東門外ニ達シ京津間ノ鐵道ト連絡セリ

北京ニテ消費スル外國貨物ハ殆ント全部天津ヲ經テ輸入スルモノニテ各品ニ對スル人民ノ嗜好天津ト異ナル所ナキニ由リ重復テ避ケ茲ニ贅セス

北京ノ市街ハ道路廣濶ニシテ大街ハ幅十間ニ余ル所アルモ凸凹甚敷粘土質ノ土壤ハ乾燥シテ輕鬆ナル粉末ニ變シ晴天ノ時歩行スレハ蹠脚ヲ沒シ之レニ加フニ一種異様ノ臭氣ハ足下ヨリ起リテ鼻ヲ衝キ行人ヲシテ窒息セシメントシ陣風一掃スレハ黃塵萬丈天地晦冥殆ント名狀ス可ラス大雨至レハ街上人馬ヲ溺ラシ交通ノ途絶ユト云フ方域數千里人口四億萬自ラ中華ト誇ル清國ノ首府ニシテ尙ホ此ノ如シ其他ハ推シテ知ル可キノミ黃海ノ砲聲北清ノ彈雨ハ未ダ彼等ノ迷夢ヲ覺破スルニ足ラザリシカ道路ノ修築費及街路ノ點燈費必スモ無キニ非スト雖モ此等ハ皆貪汚官吏ノ口腹ヲ肥スノ資料ト變シ唯街頭圓カナル七個ノ公設路燈アリテ點燈費目ノ成立ヲ表明シ政府ハ迷信ノ遺物タル先農壇ノ遺作ニ汲々トシテ滿州市街一モ見ル可キノ工場ナク只正陽門外琉璃街ニ官設ノ捲筒工場トテモ言フ可キモノ一ヶ所アリテ家具織物及七寶器ノ製造ヲ爲セトモ規模狹少ニシテ數十人ノ職工ヲ用ユルニ過キス該工場ニテ製作シタル家具ハ支那風及歐風ノ二種アリテ何レモ堅固ニ見ユレトモ品質廉惡ニシテ工業ノ幼稚ヲ示シ織物ハ皆手織ニテ綿糸ノ縱糸ニ羊毛ト山羊毛ノ混毛ヲ織ルコト恰モ天津織物ニ異ナラス價格壹平方呎三十五錢乃至五十錢ナリト云フ七寶器ノ製造ハ分業法ヲ採リ第一ニ本体ヲ形クルヘキ銅器ヲ製シ第二ニ意匠ヲ司ルモノ仕上ケノ際表面ニ磨キ出ス可キ花紋又ハ唐草等ノ曲線ヲ鐵着シ第三ニ各線間ニ鈿鑲ヲ埋メ第四ニ寤爐ニ入レテ熱ヲ加エ鈿鑲ノ溶解スルヲ待テ取出シ第五ニ表面ヲ磨キ仕上ケテ爲スコト我國ノ七寶器製造ニ異ナラス色ハ支那固有ノモノニ肖テ肌合我國ノ製品ノ如ク緻密ナラスシテ光澤渺ナシ意匠ハ支那固有ノモノアリ我國ノ意匠ヲ折中シタルモノアリテ工業ノ程度ヲ我國ニ比スレハ甚幼稚ナリト雖モ一種ノ雅致アリ商業ノ最盛ナル

ハ東單牌樓、東四牌樓、西單牌樓、西四牌樓及正陽門外大街ニシテ此處ニハ大厦高樓絶テ無キニ非スト雖モ軒窗ノ竊ハサルトコト犬牙ノ如ク稀ニ彫刻ヲ施シ金粉ヲ塗リ佛閣然タル美麗ナル家屋アルカト思ヘハ隣家ハ簷頭腐朽シテ梁柱歪ルミ煉瓦墮レ落チントシ行人ヲシテ恐懼ノ念ヲ抱カシメ悚然トシテ走ラシムル所數多アリ市街ノ兩側ニハ露店ヲ出シ塵埃ニ塗レタル飲食物ヲ隔クモノアリ紙捲烟草一本賣テ爲スモノアリ膏董品ヲ陳列スルモノアリ見セ物アリ賣ト者アリ人形使ヒアリ鳥使ヒアリ歌女アリ乞食アリ荷ヲ負フテ横ハレル駱駝アリ青龍刀ヲ閃カシ意氣揚々橋ニ乘シテ過クル大官アリ可矢ヲ小脇ニ挾ミテ街頭ニ佇立スル警吏アリ汗馬ニ鞭ヲ黃塵ヲ飛ハシテ過クル橋車アリ驢馬ニ乘シテ露店ヲ冷カスモノアリ鐘太鼓ヲ打テ鳴ラシ行列堂々「喜」ノ字ヲ印スル數百ノ羊角燈ヲ先驅トシテ赤色ノ輿ニ乘スル新婦ノ女アリ恰モ材木ヲ擔フカ如ク兩肌ヲ抜イテ曳イヤ々々々ノ掛聲ニテ擔キ來ル死人ノ棺アリ其不秩序ナルコト其雜踏ナルコト實地ヲ見サル者ノ夢想ダモ及フコト能ハサル程ナリ

金融機關トシテハ城房、公估局、銀莊及錢舖アルコト支那各市街ニ於ケルカ如ク其組織ノ完全ニシテ機關ノ巧妙ナルコト清國第一ト稱シ通貨ハ銀兩、弗銀、小銀貨及小錢ノ四種アリテ弗銀ニモ亦各地ノ鑄造ニ係ルモノ數種アルコト天津ニ於ケルカ如シ此等貨幣間ノ相場ヲ定ムルニ二方法アリ一市街上相場ト稱シ賣買者双方ノ合意ニ由リテ標準ヲ定ムルモノニシテ他市市場相場ト稱シ前門外朱寶市ニ開ク銀市場ニ於テ毎日各錢舖ノ立會ヲ以テ仲買人之レヲ定ムルモノニシテ即公定相場ナリ該市場相場ニ由リテ定マル公定相場ハ銀兩及小錢ノ二種ニ限ラレ銀貨及小銀貨ノ相場ハ街上相場ニ由リ受授者ノ合意ニ由リテ定マルモノトス

### 第三、唐山

唐山ハ開平ヲ去ルコト數哩ノ所ニ位スル一小村落ニシテ石炭ニ富メルヲ以テ名アリ世人カ普通開平炭ト稱スルモノハ凡テ唐山附近ニテ採掘スル所ノモノニシテ目下坑口三個アリ何レモ縱穴ニシテ其深サ最淺キモノ九十二「メートル」アリ次ハ百八十二「メートル」ニテ最深キモノハ三百八十八「メートル」ニ達シ炭層ハ大凡四十五度ノ角度ヲ爲シ其厚サ二「メー

トル」乃至三「メートル」ナリト云フ三坑ニ使役スル坑夫ノ數大凡三千人一晝夜ノ勞働時間ハ八時間ニシテ賃錢拾五錢乃至參拾錢ヲ給ス此内貳拾錢ヲ支給スル坑夫最多シト云フ目下唐山ノ停車場ヲ去ル二三町ノ處ニテハ炭坑ハ最深キモノニシテ坑口ニ据付アル昇降器ハ一分時間ニ一噸四分一乃至一噸三分一ノ石炭ヲ坑底ヨリ曳キ揚ケ傍ラニ設置セル攪炭器ニ移シ塊炭ト粉炭ヲ分離ス其比例凡三分一ハ塊炭ニシテ殘余ノ三分二ハ粉炭ナリ炭質ハ日本石炭商等ノ說ニ由レハ若松ノ中等炭ニ匹敵スト云フ坑口ノ傍ラニ唧筒アリテ一分時ニ九十立方呎内外ノ水ヲ坑内ヨリ排出セツ、アリ該坑口ヲ去ルコト凡一町内外ノ處ニ新坑ノ開掘アリテ機械ノ据付モ略完整セルヲ以テ其運轉ヲ見ルハ遠キニ非サル可シ其坑口ニ設備シアル昇降器ハ一分時間ニ二噸ヲ引揚ケル力ヲ有シ攪炭器及唧筒等皆前者ニ比シ稍大ナリ而シテ唐山ノ附近ヨリ採掘スル石炭ハ塊炭及粉炭ヲ合シ毎日大凡三千噸ニシテ此内凡一千噸ハ天津及塘沽ニ送リ二千噸ハ秦王島ニ運搬スト云フ天津及塘沽ニ送ル石炭ノ運送費ハ礦務局ト鐵路公司トノ密約ニ屬シ公ニ知ルコトヲ得サレトモ竊カニ聞キ得タル所ニ由レハ天津迄一屯ニ付凡一弗二十錢内外ナリト云フ該運賃額ハ普通ノ運賃ニ比スレハ大凡三分一ニ相當セリ

其他唐山ニハ開平礦務局ニ屬スル鐵工場、鐵道器具製作所、煉瓦製造所及「セメント」製造所アリ鐵工場ハ原料ヲ白耳義、獨逸若クハ英國ニ仰キ礦山機械ノ修繕及製作ヲ爲ス所ニシテ規模宏大ナリト云フニ非サレトモ鑄物場、木工場、鍛鐵場、轉轆盤工場、鉋削工場、仕上工場等諸般ノ準備完全ナリ煉瓦製造所ハ元料ヲ附近ノ丘陵ヨリ發掘シ輕便鐵道ニテ工場ニ運搬シ耐火煉瓦ヲ製スルモノニテ製品ハ上中下ノ三等ニ分チ上品ハ堅緻ニシテ品質佳良ナリ又敷瓦及屋瓦等ヲ製ス何レモ堅固ニシテ品質好キモ目下製造額多カラサルヲ以テ主トシテ會社ノ需要ニ充テ余リアレハ天津ニ輸送シテ販賣スト云フ「セメント」製造所モ亦本年ノ創立ニ係リ製産額至テ尠ナキモ目下工場擴張中ニテ諸般ノ準備完整スルニ至レハ一日二百樽ヲ製造スルコトヲ得ルト云フ該「セメント」包裝ニ使用スル樽モ目今製造シツ、アルモノハ鴨綠江産ノ松子用并總テ手細工ニテ設備不完全ナリ鐵道器具製造所ハ職工凡ソ一千人ヲ使役シ濃鐵車ノ修繕鐵道客車及貨車ノ製作ヲ爲ス所ニシテ充分ノ利益アリト云フ其他煉瓦ノ製造所アリテ製品ハ主モニ會社ノ需要ニ供セリ

唐山ハ石炭ノ外土地ニ産物ナク主モナル需要品ハ綿布、燐寸、煙草及其他ノ雜貨ニシテ店頭ニ陳列スル商品中ニ蠶繭紡績ノ藍魚印十六手綿糸、浴巾、近藤製帆船印燐寸、村井製孔雀印紙捲煙草等ヲ多ク見受ケタリ又生地若クハ藍色ニ染メタル土布ヲ販賣スル店數多アリタリ當地ハ既ニ述ヘタルカ如ク坑夫若クハ職工ノ居住スル所ナレハ外見ハ拙キモ堅固ナル物品ニ非レハ彼等ノ嗜好ニ適セサル可シ又當地ハ氣候寒冷ナル所ニシテ厚地ノ綿布ヲ要スル等ヨリ考フレハ我國ノ綿「フランドル」ハ地質ト染色ニ注意シテ製造スレハ必ス需要ヲ喚起スルコトヲ得可シ記シテ當業者ノ參考ニ供ス

第四、秦王島

北清ハ寒氣凜烈ニシテ天津及牛莊ノ河岸ハ何レモ冬期結氷シテ貿易杜絶スルノミナラス郵便スラ接續セシムルコト能ハサルヲ以テ一ノ不凍港ヲ求メテ此等ノ便利ニ備エサル可ラス之レ即秦王島ノ築港計畫及同港ノ開港ヲ見ルニ至リシ所以ナリ

秦王島ハ關内鐵道湯河ノ停車場ヲ去ルコト三哩余又山海關ヲ去ルコト凡四哩ノ處ニ位シ西南ハ渤海灣ニ面シ東北ハ半島海中ニ突出シ其高サ凡五六十呎ニシテ全丘巖石ヨリ成レリ之レ即秦王島ニシテ弓形ニ渤海ノ水ヲ控シテ一小灣ヲ形クレリ其長サ凡二千「メートル」海水碧色ニシテ白砂遠ク連ナリ浦邊淺淡ニシテ白鷗汀ニ遊ヒ海水浴場トシテ最適當ノ所ナリシ此海邊コソ將來大船巨舶ノ舷ヲ接シ巨萬ノ財貨ヲ吞吐スル一大商港ヲラントノ大望ヲ抱ケル所ナリ

秦王島ノ陸地ニ接續スル所ニハ一小河アリテ灣内ニ注キ之レヨリ西南二千數百「メートル」ヲ隔テ、湯河ノ海ニ注ク所アリ此兩河ノ中間ヲ以テ市街ニ充テ秦王島ヲ以テ公園地トナシ其周圍ハ「ホテル」及住宅ノ建築ニ充ツル計畫ニシテ市街ハ長方形ヲナシ其中心ヨリ稍秦王島ニ近キ所ニハ隨圓形ノ運動場ヲ設ケ海岸ニハ凸字形二十三個ノ波止場ヲ築キ又船渠ヲ築造シ波止場上ニハ各數個ノ起重機ヲ設ケ貨物ノ積卸、船舶ノ繫留及修繕等ニ遺憾ナカラシメ且同島ヨリ東南ニ向ケ一哩余ノ突堤ヲ出シ湯河ノ河口ヨリ出ス可キ凡二哩ノ防波堤ト相對セシメテ港ヲ形クシ安全ノ錨地トナス計劃アリ開設當港ハ不凍港ト稱スルモ嚴冬ノ節ハ往々二三日間氷ニ鎖サレ船舶ノ繫留ヲ妨害スルコトアリト云フ故ニ絶對的不凍港ト云

フニ非スト雖モ水層薄キヲ以テ或ハ風波ノ爲メ碎カレ或ハ西風強キ時ハ之レカ爲メ漂流シ一週間モ海岸ヲ鎖スカ如キコト絶テ無シト云フ然レトモ將來防波堤ヲ築キテ風波ヲ防クニ至レハ安全ノ鋪地ヲ得ルニハ疑ナシト雖モ却テ水ノ爲メ港内ヲ鎖サレ船舶ノ出入ニ妨害ヲ與フルコトナキヤヲ憂フルモノナリ

現ニ當港ノ工事トシテ見ルヘキモノハ開平鐵路局ノ布設ニ係ル鐵道アリ湯河ニテ關内鐵道ニ連絡シ島ノ陸地ト接続スル所ニ溝渠ヲ穿テ灣内ニ注キツ、アリシ河口ヲ埋築シテ河身ヲ灣外ニ轉シ線路ヲ該埋築地ニ延長シ波止塙ニ達セシメアリ波止塙ハ島上ノ小丘ヲ碎キタル礫石ニテ灣内ニ築キ其端ニ固定式棧橋ヲ設ケタルモノニテ總長サ凡五百「メートル」アリ大小ノ船舶ハ該棧橋ニ舷ヲ接シ鐵道貨車ヨリ直ニ石炭ヲ搭載スルコトヲ得該波止塙及棧橋等ハ皆開平鐵路局ノ設備ニ係ルモノナルニ由リ他ノ會社ニテ之ヲ使用セントスルトキハ鐵路局ノ承諾ヲ得テ一定ノ棧橋料ヲ仕拂ハサル可ラス棧橋料ハ船舶ノ大小ニ拘ハラズ一日四百兩ナリシカ近來其半額ニ減シタリト説アリ

鐵路局ハ料金ヲ徵收スルニ先マテ使用者ハ貨物積卸中ト雖モ同局所屬ノ船舶入港シテ棧橋ヲ要スルトキハ直ニ立退ツトノ條件ヲ提供スルニ非レハ使用ノ承諾ヲ與ヘスト云フ橋畔ノ水深ハ干潮ノ時僅カニ十四呎ナルニ由リ淺深ヲ施スニ非レハ大船ノ繫留ニ適セス其外方ニ當リ目下建築中ノ突堤ハ前ニ述ヘタル湯河ノ河口ヨリ出ス可キ突堤ト相對シテ港ヲ形ル可キ防波堤ニシテ長サ凡二千二百「メートル」延長ノ豫定ニテ既ニ一千七百「メートル」ノ築造ヲ終レリ此邊干潮ノ時十七呎ナルモ全部竣工ノ後ハ堤端ノ水深二十呎以上ニシテ大船ノ繫留ニ妨ナシト云フ而シテ市街地ニ充ツ可キ所ニシテ目下停車場ニ近キ地方ハ各國軍ノ占領スル所トナリ我國ヲ始メテ英佛及露ノ三國各兵營ヲ建築セリ此内我軍ノ占領シタル地尤モ廣ク一ハ秦王島上ニ在リテ公園又ハ住宅建築ノ豫定地凡三分二ト既ニ兵營ヲ建築シタル區域内ニ市街地ニ充ツ可キ海岸線凡四百「メートル」長サ一千「メートル」ニテ長方形ヲ畫キタル面積ヲ占領セリ若シ該占領地ヲ永遠ニ保有スルコトヲ得ハ將來當港ニ對スル我貿易上ノ設備ヲ爲スニ當テ決シテ遺憾ナカル可キナリ

當港ノ將來ヲ豫測スレハ既ニ述ヘタルカ如ク不凍港タルノ故ヲ以テ結水中天津ノ貿易權ハ全ク當港ニ移リ又結水中牛莊

貿易ノ如キ一部分「ダレニ」港ニ奪ハレ、ノ憂ナキニ非サレトモ遼河以西ノ貿易ハ必ズ當港ニ由ルノ利益タルヤ明ナリ當港ハ此ノ如ク氣候ノ關係上ヨリ利益ヲ得テ發達スルコトヲ得ルノミナラス貿易上天然ノ好地位ヲ占メタリ茲ニ其然ル所以ヲ陳述センニ抑清國ノ内地ニ於テ貨物ノ運搬ヲ爲スニハ河川アル處ハ鐵道便ニ由ランヨリモ船便ニ由ル方運賃ヲ節スルノ利アルニ由リ現今既ニ鐵道ニテ連絡セル通州、保定府又ハ正定府等ニ開河中貨物ヲ運搬スルニハ鐵道ヲ利用スルモノ尠ナキコトハ天津ノ記事ニ於テ陳述シタルカ如シ然ルニ當港ハ溧州ヲ去ルコト凡四十五哩アリテ溧河ノ邊ニ位ス溧河ハ其源ヲ燕山附近ニ發シ喇麻廟ヲ經テ熱河ト合シ長城ヲ貫流シ承德府、永平府及溧州ヲ經テ渤海灣ニ注キ其上流ニ至ル迄舟楫ノ便アリト云フ而シテ喇麻廟ハ内蒙古ニ於ケル都府ノ一ニシテ張家口ト共ニ有名ナル貨物集散地ナルヲ以テ其地方ニ産スル羊毛、山羊毛及其他ノ産物ハ一度同地ニ集リテ張家口ニ陸送シ又ハ舟便ニ由リテ溧河ヲ下ル其他承德府及永平府等ハ何レモ直隸省ノ東部ニ於ケル貨物集散地ヲラサルハ無シ故ニ秦王島ニ於テ將來貿易上ノ機關備ハルニ至レハ是等ノ都府ニ集散スル貨物ハ溧州ニ至リ當港ヲ經テ輸出入スルニ至ルヤ殆ント疑ナク容ル可ラス又東清鐵道ノ支線ハ蒙古ヲ貫キテ張家口ニ出テ通州ト連絡ヲ通セントノ計畫アリト云フ而シテ通州ヨリ東山ニ至ル鐵道ノ敷設ハ遠キニ非サル可シ果シテ然ラハ蒙古ノ物産ハ張家口ヨリ通州ニ運漕シ船便ニ因リ天津ニ至リ陸揚シテ再ヒ溧河ニ積積シ又ハ舢舨ニ由リテ白河ヲ下リ太沽ニテ船積ヲ爲ス等再三再四積替ヲ爲シ時間ト勞銀トヲ損センヨリモ張家口ヨリ直接ニ秦王島ニ運輸シ貨車ヨリ直チニ棧橋ニ繫留セル漁船ニ積積スルノ優レハ多言ヲ要セスシテ明ナリ反對論者或ハ云ハシ東清鐵道ノ支線ノ如キハ恰モ空中ノ樓閣然ラント夫レ或ハ然ランモ現今ニ於テヌテ每年張家口カ通過スル貨物ハ數千萬斤ノ多キニ達シ且甘肅省涼州及甘州邊ノ産物ハ六百ニ余ル陸路ヲ駝背ニ由リ張家口ニ搬出シ、アルヲ以テ此地方ニ鐵道ヲ敷設スルニ至レハ甘肅、陝西、山東三省ノ北部及蒙古ノ南部ニ於ケル貨物ハ運輸中ノ危險ヲ免レ且時間ヲ節シテ容易ク輸出ノ途ヲ開キ殖産ヲ獎勵シ國富ヲ増加シ輸出入品モ亦隨テ増加スルニ至ラン況ンヤ蒙古ノ經營ヲ爲サント欲スルモノハ必ズ先ツ交通機關ノ設備ヲ要セサル可ラス故ニ同地方ニ於ケル鐵道ノ敷設ハ商業上ノ利益ヲ攫取スルニ必要ナルノミナラス

政治的經營ニ欠ク可ラサルナリ既ニ世界ノ耳目ハ東洋ニ傾注シ來レニ由リ東清鐵道カ其支線ヲ延長スルコトヲ得サルニモセヨ世界ノ大勢ハ必ス之レヲ忽諸ニ付セサル可シ又天津ノ如キハ既ニ陳述シタルカ如ク運河及河川等並ニ集台シ則チ「シヤンク、ソレド」ニ對シテ好適地タルノミナラス開港ノ日故キヲ以テ資本ヲ下シタル商人多ク且貿易上ノ機關備ハルヲ以テ直ニ之レヲ他ニ移スハ事情ノ許サ、ルモノアル可シト雖モ天津ノ如キハ大々的貿易港タル地形ヲ有セサルナリ如何トナレハ第一ニハ白河ノ水淺クシテ河口ノ暗洲ハ船舶ノ出入ヲ妨害シ假令之レヲ浚深スルモ地勢上其効甚ナキコトハ既ニ天津ノ項ニ述ヘタルカ如ク之レニ反シテ年々深船ノ噸數ハ増加シテ吃水深クナルノ傾向アルニ由リ大洋航船ノ豫備ヲ天津埠頭ニ着ケント欲セハ巨萬ノ財ヲ擲テ河底ノ浚深ハ勿論河身ノ改良ヲ爲サ、ル可ラス例ヒ之レヲ爲シタリトスルモ冬期三ヶ月間ハ貿易杜絶スルニ非スヤ世人若シ白河ヲ浚深スルノ新案ヲ繕フノ愚ニ等シキト宇内ノ大勢ニ逆ヒツ、アルコトヲ覺ラハ眼ヲ秦王島ニ轉スルニ至ルハ亮々トシテ明ナリ又開平及唐山地方ノ石炭ハ十三層アリテ炭量ノ多キコト無盡藏ト稱ス此多量ナル石炭ハ永久秦王島ヨリ輸出セラル可キコトハ開平礦務局カ本年ニ至リ五十萬磅ノ資本ヲ百五十萬磅ニ増加シ同島ニ對シ大ニ設備ヲ爲サントシツ、アルコトヲ得可キナリ又錦州ヨリ東北三十哩ナル小凌河ノ邊ニ産スル石炭及錦州ヨリ新民屯ニ通スル鐵道線路ニ當レル廣寧ニ産スル石炭ハ品質善良ナルノミナラス廣寧ハ鐵礦ニ富ムト云フ果シテ信ナラハ同地方ニ産スル石炭ノ輸出港トシテハ必ス當港ニ由ラサル可ラス且廣寧ノ如キハ未ダ分析シタル成賦ヲ見サルニ由リ容易ニ斷定スルコトヲ得スト雖モ若シ其質善良ニシテ製鐵原料ニ適スヘキモノナラハ將來北清ニ於テ製鐵所ヲ設置スルノ地ハ鐵ト石炭トヲ共ニ産スル廣寧ヲ除キテ他ニ求ム可ラサルハ英國ニ於ケル製鐵工業ノ發達シタル歴史ヲ見テモ明ナリ此等ノ地方ハ秦王島ノ貨物集散區域内ニアルヲ以テ其發達ハ同島ヲ繁榮ニ導ク原因ト云ハサル可ラス世人或ハ云ハシ廣寧及錦州ノ地方ハ牛莊港ニ近キヲ以テ該地方ノ貨物集散ハ秦王島ニ由ランヨリモ寧ロ牛莊港ヲ經由スル方便利ナラント只距離ヨリ論スル時ハ此說最適切ナルカ如キモ牛莊港ノ濱スル遼河ハ白河ト同一ノ困難アルノミナラス氣候ノ點ニ就テハ白河ニ於ケルヨリモ一層不利益ノ地位ニ在リ且未ダ遼河ノ西岸ニハ貿易

上必用ノ設備ナク又之ヲ爲サント企圖スルモノアルヲ聞カサルナリ之レニ反シテ秦王島ハ既ニ棧橋ノ設備アルノミナラス築港ノ計畫等既ニ熟シ若々歩ヲ進メツ、アリ加之錦州及新民屯間ノ鐵道敷設ハ遠キニ非サル可キヲ以テ秦王島ハ牛莊ニ比シ地理上ノ利益ト貿易上ノ優先權ヲ有スルモノト云フ可キナリ此等ノ事實ヲ總合シテ考フル時ハ秦王島ノ前途實ニ多望ナラン東洋ニ商權ヲ擴張シ北清ノ貿易權ヲ壟斷セントスルモノハ眼ヲ秦王島ニ注キ時機ニ應シテ貿易上ノ設置ヲ爲シ國家永遠ノ利益ヲ圖ラサル可ラス

第五、牛莊

牛莊ハ一名營口ト稱シ一千八百五十八年ノ天津條約(一千八百六十年批准)ニ由リ一千八百九十一年ニ開港セラレタリ滿州唯一ノ通商口ニシテ市街(中央ノ關帝廟ハ北緯四十四度四十二分十二秒東經百二十二度十分四十四秒)ハ長サ三哩余幅半哩乃至一哩ニシテ遼河ノ河岸ニ位シ河口ヲ去ルコト十五哩水面ヨリ高キコト二三呎ニシテ今チ距ルコト六十有餘年前ハ寒々タル一小村落ニシテ高粱ノ間ニ數間ノ矮屋ヲ見ルニ過キサリシカ清國ノ南部ト交通開ケテ以來次第ニ繁榮ニ赴キ外國貿易ヲ開キテヨリ人口益々増加シ既ニ八萬ヲ以テ數フルニ至レリ外國居留地ハ遼河ニ面シ長サ半哩餘ニ亘レリ此邊河幅廣クシテ「ハムボルク」ニ於ケル「エルベ」河及「アントウエルア」ニ於ケル「セルド」河ニ匯ラヌシテ大小ノ激流順序正シク投錨スル時ハ五百艘ヲ繫クモ敢テ狹隘ヲ訴フルコトナシト云フ

牛莊港カ一世紀ニ足ラサル間ニ今日ノ如キ發達ヲ爲セシハ全ク遼河ノ賜ト云ハサル可ラス遼河ハ其源ヲ蒙古ニ發シ西南木倫河ト稱シ滿州ノ柳邊ヲ貫流シ名稱ヲ遼河ト變シ河口ヨリ蒙古ニ至ル迄舟楫ノ便アリト雖モ普通上流ニ於ケル解船貿易ノ起點ハ東遼河ト西遼河ノ會流スル所ニ位スル通江子ナリ其他該河ニ沿フテ鐵嶺及新民ノ市街アリ又其支流渾河、太子河及海州河等ニ沿フテ奉天遼陽及海城等ノ都市アリテ盛京省ノ大半ハ河流ニ由リテ貨物ノ集散ヲ助ケ之レカ運搬ニ從事スル支那船ハ二萬艘ヲ下ラヌ其他直隸省、山東、江蘇、浙江、福建及廣東ノ沿岸ヨリ貿易ノ爲メ出入スル船舶一萬有餘艘ナルヲ以テ牛莊ノ河岸ハ斷ヘス數千艘ノ船舶積湊シテ恰モ遠キヨリ隔テ、竹林ヲ望ムカ如シ此等ノ船舶ハ三名乃至七八

名ノ水夫ヲ要シ毎年開港中上流地方ト往復スル回数凡ソ八度ナリト云フ假リニ上流地方ヨリ積量十噸ノ船舶ニ萬艘カ貨物ヲ搭載シテ八回往復スルトセハ百六十萬噸ノ貨物ヲ集散スルコトヲ得ヘシ豊偉大ナラスヤ

遼河口ハ恰モ白河口ニ於ケルカ、如ク暗洲アリテ吃水ノ深キ船舶ハ出入スルコトヲ得スト雖モ滿潮ノ時白河口ノ十一呎乃至十二呎ナルニ比シ遼河口ハ低潮ノ時十七呎半高潮ノ時十八呎半ノ吃水ヲ有スル船ハ自由ニ通過スルコトヲ得ルヲ以テ各國ノ砲艦ヲ始メトシテ大小數多ノ汽船ハ凡テ牛莊ニ集マリ輸出貿易ニ便利ナルハ白河ニ於ケル天津ノ及フ所ニ非サルナリ然レトモ當地ハ天津ニ比シ氣候稍寒冷ナルヲ以テ河川ノ氷結モ亦天津ニ先テ十一月末ニ至レハ氷塊浮流シテ舟行ニ危険ヲ與ヘ十二月上旬ニ至レハ氷ノ爲メ全ク閉鎖セラレ嚴冬ノ時ハ氷ノ厚サ拾七吋乃至拾九吋ニ達シ氷上ニ貨物ヲ運搬スルモ危險ノ憂ナリ翌年四月上旬ニ至ラサレハ開河ヲ見ズト云フ但年ノ寒暖ニ由リ多少ノ差アリ一千八百九十八年ニハ四月二日ニ開河シ翌九十九年ニハ三月十日ニ開河シ一千九百年ニハ三月二十三日ニ開河シタル如シ而シテ開港後ト開河前ハ當港ニ於ケル商業ノ最盛ナル時機ナリ而シテ結氷中ハ陸地モ霜ニ鎖サレテ耕作ヲ爲スコト能ハサルニ由リ之レニ使用シツ、アリシ馬ヲ利用シテ陸地貨物ノ運搬ヲ始メ蓋シ滿州ノ道路凸凹甚敷加ルニ粘土性肥土ニシテ夏期ハ車輪ヲ埋メ車運ニ困難ナレトモ冬期ハ表面凍リテ滑ナルニ由リ磨擦力ヲ減シ以テ車運ニ容易ナルノミナラス夏ハ道路ノ兩側概テ高梁發生シ深盜其中ニ出沒シテ行人ヲ掠奪スルコトアレトモ冬期ハ既ニ穀物ノ收穫ヲ終ヘタル後ナルヲ以テ眼界ヲ遮キルモノナク隨テ掠奪ニ逢フモノ稀ニシテ大ニ陸運ニ便利ヲ與フト云フ之ニ使用スル馬車ニ二種アリ一ハ覆ヒアル小形ノ車ニシテ馬二三頭ヲ若ク旅客及貴金屬阿片等ノ如キ高價品ヲ運搬スルニ使用シ他ハ覆ヒナキモノニシテ五六頭ノ馬ニ牽カシメ綿布類及金屬等ノ如キ重量品ヲ運搬スルニ用ユ故ニ車体モ堅固ニシテ檢又ハ構ニテ作り車輪ハ帽子釘ニテ固メ輪縁ハ厚サ一時廣サ二吋及フモノアリ此等ノ荷車ハ何レモ牛莊中心トシテ集散シ春ニ至リ氷ノ將サニ解ケントスル頃ハ鐵嶺、通江子、新民屯、田庄臺等ニ止マリ解氷ヲ待テ貨物ヲ船舶ニ移スト云フ

(一)輸出輸入貿易及輸出入品

過去五ヶ年間に於ケル當港ノ輸出入貿易額左ノ如シ

年次	輸入		輸出		合計
	外國ヨリ	支那各港ヨリ	外國ヘ	支那各港ヘ	
千八百九十七年	一、六八二、四一五	一〇、九七〇、〇三三	五、五四三、八三八	八、二六五、七七四	二六、三三六、〇〇〇
千八百九十八年	一、四三三、三三八	一三、六七一、九一九	七、一六八、八三五	一〇、三三六、四四五	三三、五八六、七六七
千八百九十九年	二、二九六、八八五	三、三四三、〇八七	八、六九一、三三六	一一、〇三二、五五五	四八、四八〇、三三三
千九百一年	二、六二二、四〇〇	八、五七六、九六六	三、九〇五、三六四	七、五六一、九三三	三三、七四九、九五五
千九百二年	四、二九三、七三七	一、九三九、七三三	七、三〇三、〇八六	一、四三九、一三四	四二、三三六、六八〇

前表ニ由レハ當港ノ貿易ハ年々増進シツ、アルコトハ明瞭ナリ但一千八百九十五年ハ日清役ニ際シ當港ハ我軍ノ爲メ占領セラレ貿易上ニ影響ヲ及ホシ輸出入額減少セタリト雖モ一時ノ現象タルニ過キサレノミナラス一面ニハ滿州ノ遺利ヲ世界ノ市場ニ誘引シ且我國ノ生産品ヲ滿州ノ市場ニ紹介セシカハ其翌年ニ至リ輸出入貿易額ハ戰爭前ニ比シ著シク増加シ爾來益々隆盛ニ進ミツ、アリシカ一千九百年ニ至リ黑龍江ノ露船及「ブアゴ」エヌチエンスク」ニ對シテ砲火ヲ開キ直ニ露軍ノ爲メ進軍セラレ齊々哈爾濱ノ占領トナリ益々露軍ニ乘テ同年八月五日當港ヲ占領シ同年十月二日奉天府ヲ占領シ東三省ノ首府ハ凡テ露軍ノ配下ニ歸シ貿易上ニ一大打擊ヲ與ヘ前表ニ示スカ如ク同年ノ貿易額ハ前年ノ半額ニモ充タサリト雖モ翌年ニ至リ秩序稍恢復シ貿易モ亦順調ニ向ヒ本年ノ如キハ輸出入貿易共ニ大ニ活氣ヲ帯ヒ來リト云フ出テ貿易額モ亦増加シタルナラン

右五ヶ年間ニ於ケル我國ヘノ輸出入額左ノ如シ

年次	日本ヨリ輸入額	外國ヨリ全輸入額ニ對スル割合	日本ヘ輸出額	外國ヘ全輸出額ニ對スル割合
千八百九十七年	一、〇八三、七三三	一七、一	一五、〇九六、二二六	六、五



千八百九十八年	五九四三六〇	四〇八	六六三、七三三	六三三
千八百九十九年	一七三、九九九	三三六	八〇九、七九二	六三三
千九百一年	一三三、九〇七	四六三	三三六、九九三	八六七
千九百一年	一六七、四二四	三六九	六五三、三三七	九〇三

前表ニ示スカ如ク本港ト我國トノ貿易ハ輸入ニ於テハ三割乃至四割ヲ占メ香港ニ亞テ第二位ニ在リ輸出ニ就テハ九割以上ヲ占メ輸出貿易ノ全權ヲ握レルト謂フモ過言ニ非サルナリ輸出貿易ニ就テ如此關係アルニモ關ラズ輸入貿易ニ於テ他國ニ劣レル所以ハ畢竟我製品殊ニ滿州地方ニ最需多キ綿布及綿糸類カ同地方ノ需要ニ適スルモノ掛ナクテレハナリ既ニ總論及天津ノ部ニ纏々陳述シタルカ如ク商品ハ人民ノ嗜好ト大關係アリ嗜好ハ又土地風俗習慣家屋ノ構造生活ノ方法及程度等ニ由リテ異ナルヲ以テ滿州ニ商權ヲ擴張セントスルモノハ調査員ヲ派遣シ各専門ノ事項ヲ探究シテ市場ニ適合スル商品ヲ製造シテ貿易ノ發達ヲ圖ラサル可ラス

(甲) 輸出品

當港ヨリ外國ヘ向テ輸出スル重要ナル物品ハ豆類、豆油、葦麻子油、豆油精、野蠶糸、麻蓆、藥材、胡麻子、獸皮、獸毛、獸骨等ニシテ其他清國各港ニ輸出スルモノヲ舉グレハ粟、鹹魚、人參、落花生、麝香、乾蝦、瓜子及燒酎等ナリ

(イ) 豆類

當港ヨリ輸出スル豆類ノ數量及價格左ノ如シ

年次	數量	價格	一担ノ平均價格
千八百九十七年	三八七、八四一担	六六三、七三〇	一担ノ平均價格
千八百九十八年	五三三、〇九〇	八〇九、七九二	一七三
千八百九十九年	四九一、〇一〇	六五三、三三七	一六一
	Ball York	八六七、三三五	一九二

千九百一年	二五七、八三三	四〇八、六四八	一七三
千九百一年	三六三、八四四	七六九、二八六	二一一

當港ヨリ輸出スル豆類ハ大豆、小豆、綠豆ノ三種ニシテ其他芸豆、豇豆、毛豆、扁豆及豌豆等ヲ産スレトモ其額僅カナリ茲ニ豆類ヲ種別ニテ輸出價格ヲ掲グルコト左ノ如シ

年次	大豆	小豆	綠豆
千八百九十七年	黑 担	白 担	担
	三〇〇、三三三	一六九、六六六	七三、七〇三
	三六六、五五五	二二五、二二五	一〇四、八四五
千八百九十八年	黑 担	白 担	担
	三〇〇、三三三	一六九、六六六	七三、七〇三
	三六六、五五五	二二五、二二五	一〇四、八四五
千九百一年	黑 担	白 担	担
	三〇〇、三三三	一六九、六六六	七三、七〇三
	三六六、五五五	二二五、二二五	一〇四、八四五
千九百一年	黑 担	白 担	担
	三〇〇、三三三	一六九、六六六	七三、七〇三
	三六六、五五五	二二五、二二五	一〇四、八四五

ノ種類ニ比シテ金色ヲ帯ヒテ圓シ之レ其名ノ由ヲ起ル所以ナリ此三種ノ内白眉及金元ノ二種ハ乾貯質ニ富ミ豆腐ノ製造ニ適シ黒肌ハ油質多キヲ以テ油ヲ搾取スルニ適セリ青大豆ニモ亦二種アリ一ハ外皮綠色ヲ帯ヒ内部黃色ニシテ豆腐ノ製造ニ適シ他ノ一種ハ外部及内部共ニ綠色ヲ帯ヒ油ヲ搾ルニ適セリ

小豆モ亦細別スレハ白及赤ノ外ニ外部ノ色ニ由リテ花小豆、黒小豆及紅小豆等アリ花小豆ハ白ニ赤ノ斑紋アリ紅小豆ハ淺紅ヲ帯ヒタルモノナリ此種類ハ何レモ油ヲ含ムコト少キカ故ニ性質淡クシテ食用ニ適セリ綠豆ハ一名吉豆ト稱シ我國ニテ「八重成」ト稱スルモノニテ外皮綠色内部帶白黃色ニテ白色ノ鱗痕ヲ有シ「モヤシ」製造ニ適スレトモ滿州地方ニテハ粉ニ製シ重ニ素麵ノ原料ニ供ス本年十二月初旬當港ニ於ケル各品ノ相場左ノ如シ

大豆	白眉	壹石二付	六兩貳錢
大豆	大烏豆		七兩四錢
扁烏豆			五兩
綠豆			九兩
小豆	白	壹石二付	八兩九錢
	赤		七兩八錢
	黒		七兩八錢
	花		七兩八錢

(ロ)油類

當港ヨリ輸出スル油類ノ數量及價格ハ左ノ如シ

年次	豆	油	精	草麻子油
千八百九十七年	壹、二八	四九三、五五	三〇六、八一	五、一七
千八百九十八年	一〇八、三三	四八三、二二	三六五、八一	六、〇五
千八百九十九年	一五八、八三	一〇〇〇、一三	四八八、一〇	五、三三
千九百年	三三、〇〇	一、一八、八三	三、九七、六三	一〇、七四
千九百一一年	三〇、八七	一、四三、六三	四、三三、〇〇	七、〇七、〇八

豆油ハ大豆ヨリ搾取スルモノナリ之レヲ搾取スルニ用ユル機械ハ新式ト舊式トノ二種類アリ何レモ最初ハ大豆ヲ潰碎セサル可ラス之レヲ潰碎スルニ舊式ノ機械ハ驢馬ニ牽カシメタル舊式ノ轉轆器ヲ用イ新式ハ蒸氣力ニ由リ鐵製ノ轉轆器ヲ用ユ該器ニ由リ潰碎シタル大豆ハ蒸氣ニ掛ケテ蒸シ直徑三十三呎高サ貳吋アル鉄ノ籠ニ草ヲ敷キ之レニ蒸シタル豆ヲ移シ草ニテ包ミタル後又同大ノ鐵籠ヲ其上ニ置キ足ニテ能ク締メ兩籠ノ間凡ソ一時ヲ余ズニ至リ之レヲ壓搾器ノ下ニ移シ新クノ如クシテ製シタルモノ五個ヲ積ミ重テ新式ノ機械ハ恰モ寫字器ヲ壓スカ如ク螺旋ニテ各鐵籠ノ接合スル迄壓搾シ舊式ノ機械ハ鐵槌又ハ石槌ヲ以テ楔ヲ打チテ壓搾スル時ハ何レモ油ハ深メ設ケタル容器ニ流入スルモノトス充分油ノ滴リタルヲ待チ壓搾器ヲ緩メテ油槽ヲ取出ストキハ潰碎シタル豆ハ相接合シテ高サ凡四吋ノ圓形ナル塊トナル之レ即輸出ニ供スル豆油槽ニテ毎年我國ニ向ケ輸出スル外殆ソト同一數量ヲ甘蔗ノ肥料トシテ南洋ニ向ケ輸出スルモノトス該油槽一塊ヲ形レ可キ潰碎大豆ノ重量ハ五十四斤半ニシテ之レヲ蒸シタル後ニ六十斤半ニ増量シ壓搾器ヨリ外シタル時ハ五十五斤ニ減スルヲ以テ大豆ヨリ搾取シ得可キ油ノ量ハ (605-55-1009+) 原料ノ一割余ナレトモ平均スルトキハ九分ト見積ルチ適當ナリト云フ又油槽ハ一塊五十五斤ナレトモ壓搾器ヨリ外シタル後小刀ニテ外部ヲ削リ之レカ爲メ二斤ヲ減シ五十三斤トナリ庫入ノ後又ハ運輸ノ途中乾燥セルニ由リ輸入地ニ達スル頃ハ大凡五十斤内外ニ減スルヲ普通トス豆油ハ食用又ハ燈油ニ供スルモノニテ滿州ノ内地ニテ搾取シタルモノハ新詰トナシテ牛莊ニ運輸シ内部ヲ紙ニテ張りタル籠ニ移シテ輸出ニ供ス一個ノ重量凡三四百斤ナリ草麻子油ハ草麻子樹ノ實ヨリ搾取シタルモノニテ機械油又ハ蠟燭ノ原料ニ供スルモノトス其他滿州ヨリ輸出スル油ニハ香油、蘇油、花子油及麻子油等アリ香油ハ胡麻ノ油ニテ食用ニ供シ蘇油ハ荏胡麻ノ油ニテ塗油ニ供シ花子油ハ綿糸油ノ清名ニテ燈油、髮油又ハ皮ヲ揉スニ使用シ麻子油ハ大麻子ヨリ取リタル油ニテ使用ス豆油及草麻子油ヲ除ケハ輸出額僅少ナリ又落花生豆ヲ産スレトモ南洋ニ於ケルカ如ク油ノ原料トシテ用フルコトナレ

(ハ) 榨蠶繭、榨繭糸及絹油

右数品ノ輸出数量及價格左ノ如シ

年次	柞蠶繭	柞蠶	糸	絹	軸
千八百九十七年	担 10	担 182	担 929	担 1,374	担 600
千八百九十八年	...	...	...	...	...
千八百九十九年	...	...	...	...	...
千九百年	...	...	...	...	...
千九百一年	...	...	...	...	...

柞蠶ハ奉天省ノ南部ニ當リ地面カ海ニ向テ傾斜シタル地方即遼島半島ヨリ奉天府ノ西南部ニ至ル一帯ノ地ニ産シ年二期ノ收穫アリ春蠶ハ五月初メニ蛹ヨリ蝶ニ變体シ紙面又ハ布面ニ蠶卵ス之レヲ日光ニ曝ストキハ六日間ニシテ孵化シ第一眠間ハ之レヲ家ニ置キ柞樹ノ嫩葉ニテ育ヒ一眠ノ終ルヲ待テ柞樹ニ移シ五六日間ニテ成熟シ凡ソ五日間ニテ繭ヲ作ル七月中旬ニ至リ全ク繭ヲ作り終ルヲ待テ收穫ス之レヲ春蠶ト云ヒ間モナク七月末又ハ八月初旬ニ蛹ヨリ再變体シ雌雄交接ヲ爲シタル後春蠶ノ場合ト異ナリ雌蝶ヲ糸ニテ樹枝ニ繫キ置クトキハ樹皮又ハ木葉ニ産卵シ孵化シテ自然ニ成長シ九月末又ハ十月初旬ニ秋繭ノ收穫ヲ爲ス之レヲ春蠶ニ比スレハ品質佳良ナリ普通柞蠶繭ハ桑蠶繭ニ比スレハ重クシテ少量ニシテ此地方ニ産スル桑蠶繭ハ四五封度ニテ一封度ノ糸ヲ得ルモ柞蠶繭ハ十四五封度ニ非レハ同一重量ノ糸ヲ得ス而シテ鮮繭一千個ニ對スル桑蠶繭ノ重量ハ凡一基八七〇ナルニ柞蠶繭ハ凡七基〇七一ナリ

本品ノ市場ハ奉天省内海城岫巖及蓋平ノ三ヶ所ニシテ牛莊港ハ是等ノ市街ニ近キヲ以テ前表ニ示スカ如ク巨額ノ糸ヲ輸出スト雖モ其他遼東半島ノ各港灣ヨリ支那船ニ積載シ山東省ニ向テ輸出スル繭及糸等モ亦尠ナカラスト云フ繭ノ外皮ハ屑糸ト稱シテ輸出シ英國ニテハ本品ヲ以テ擬製貉虎皮ヲ織ルニ用ユト云フ又柞蠶糸ヲ用ヒテ繭糸ヲ織ルニハ捻糸ニ製セシテ總ニ作り數時間温暖湯ニ潤シ揚テ乾シ凡半乾キヲ爲シタル時再灰ノ粉水ニ膠液少々加ヘタルモノヘ能ク浸シ揚

ケテ乾シタルモノヲ用ユ之レ即捻糸ニ非サルヲ以テ機械ノ際織緯ノ分裂ヲ防クカ爲メナリ

(二)其他ノ輸出品

其他重ナル輸出品ノ五ヶ年ニ於ケル輸出價格左ノ如シ

品名	千八百九十七年	千八百九十八年	千八百九十九年	千九百年	千九百一年
麻	1,041	1,929	621	1,042	1,217
蓆	8,857	7,136	7,379	8,826	8,088
甘草	8,230	5,336	9,965	2,231	8,088
藥材	9,955	1,671	11,006	11,004	1,500
胡椒	1,271	3,383	10,026	2,118	2,273
粟	1,956	...	2,111	...	2,230
小麥	5,800	1,000	...	...	...
麝香	1,211	1,212	1,310	1,221	1,336
毛皮	1,337	1,557	1,215	1,072	1,276
豚毛	3,170	3,333	4,016	2,100	3,226
馬毛	1,824	2,133	3,011	2,114	2,728
牛骨	8,871	6,955	9,277	2,104	9,233

前表中麻ニハ大麻ト苧麻ノ二種ヲ一括シテ統計シタルモノニテ蓆ニモ高粱蓆ト蘆蓆トノ二種類アリ何レモ貨物ノ包裝ニ使用シ甘艸ハ壹擔ニ付五兩内外ノ相場ナリ其他藥材ニテ重ナルモノハ柴胡(壹擔貳兩半)桔梗(壹擔參兩)黃芩(壹擔參兩)

麻黃(壹擔貳兩四匁)蒼朮(壹擔貳兩)遠志(肉遠志ニテ壹擔拾壹兩)等ナリ胡麻ニハ貳種アリ一ハ普通ノ胡麻ニテ清國人ハ芝麻ト稱シ壹石拾貳兩五匁ナリ他ノ一ハ油ノ原料ニ供スル荏胡麻ナリ粟ハ四月初旬ニ播種シ九月中旬ニ收穫ス其種類二種アリ一ハ小米ト稱シ我國ノ粳粟ニ等シク種子ニ對シテ五十倍内外ノ收穫アリテ壹石ノ市價七兩内外ナリ他ノ一ハ黃米ト稱シ我國ノ糯粟ニ同シク種子ニ對シテ三十倍内外ノ收穫アリテ前者ニ比スレハ收穫ノ割合少ナキニ由リ價格モ亦隨テ高ク壹石ノ市價拾兩内外ナリ其他包米ナルモノアリ玉蜀黍ヲ花托ヨリ外シタルモノニテ壹石ノ價四兩壹匁五六分ナリ此等ノ穀物ハ清國ニテハ輸出禁制品ナレトモ露國カ牛莊占領以來輸出許シ居レルヲ以テ本年ハ我國ニ向テ粟ヲ輸出シタル額夥多ナリト云フ小麦ハ滿州至ル所ニ産スレトモ前表ニ示スカ如ク當港ヨリ輸出シタル額僅少ニテ本品ハ重モニ西伯利亞ニ向テ輸出スト云フ滿州ハ實ニ西伯利亞ノ穀倉ニシテ若シ滿州ヨリ食物ヲ供スルコト無カリセハ年々繁殖シツ、アル人口ト數萬ノ軍隊ハ食料ニ不足ヲ告グルニ至ル可シ又單ニ穀物ノミナラス毎年黑龍省ヨリ西伯利亞ニ供給スル牛ハ八萬乃至拾萬頭ナリト云フ麝香ハ我國ニテ白色ト稱スルモノハ十個小ナルモノハ三十個ニテ一斤ノ重サヲ有シ價格ハ四拾兩乃至六拾兩ナリ毛皮ハ羊、山羊、羚羊、狐、栗鼠、猫、野猫、犬、狼、水獺、兔、野兔、黃鼬、鼬鼠、貂鼠、狸、豹、虎、熊、鹿等ノ皮ニテ虎、熊、貂鼠、栗鼠ハ主トシテ長白山及興安嶺ノ山脈ニテ獵獲ス而シテ鞣皮ノ中心ハ錦州ナレトモ最鞣皮ニ巧ナルハ奉天府ニテ同府ニテ鞣シタルモノハ無異ナリト云フ豚毛ハ滿州ニテハ藍ノ肥料ニ使用シ凡テ黑色ニテ牛莊港ニ於ケル市價ハ壹擔五六拾兩ナリ其他農産物トシテハ高粱、陸米、蕎麥、粟、煙草藥用人參、瓜類等ヲ産シ此内高粱ハ最有名ナル産物ニシテ滿州地方ノ人民ハ之レヲ常食ニ供スルコト恰モ我國ニテ米ヲ食スルカ如ク又燒酎ノ原料ニ使用ス此等ノ諸品ハ我國ト貿易ノ關係薄キヲ以テ其市況ヲ陳述セス

(乙) 輸入品

(イ) 綿布及綿糸類

右諸品ノ過去五ヶ年間ニ於ケル輸入數量及價格左ノ如シ

品名	年次	日本製	其他ノ外國製
生金巾	千八百九十七年	100反	7010反
	千八百九十八年	1000	2033反
	千八百九十九年	860	2271反
天竺布	千八百九十七年	150	2000反
	千八百九十八年	8360	1076反
	千八百九十九年	800	526反
雲齊布	千八百九十七年	35	566反
	千八百九十八年	35	1163反
	千八百九十九年	35	1170反
雲齊布	千九百年	35	1163反
	千九百零一年	35	1163反
	千九百零二年	35	1163反

「シーティング」		織		手	
千八百九十七年	日本製	千八百九十七年	日本製	千八百九十七年	日本製
千八百九十八年	米國製	千八百九十八年	日本製	千八百九十八年	日本製
千八百九十九年	其他ノ外國製	千八百九十九年	日本製	千八百九十九年	日本製
千九百年	其他ノ外國製	千九百年	日本製	千九百年	日本製
千九百一年	其他ノ外國製	千九百一年	日本製	千九百一年	日本製

浴		市		綿		絹		輸	
千八百九十七年	日本製	千八百九十七年	日本製	千八百九十七年	日本製	千八百九十七年	日本製	千八百九十七年	日本製
千八百九十八年	其他ノ外國製	千八百九十八年	日本製	千八百九十八年	日本製	千八百九十八年	日本製	千八百九十八年	日本製
千八百九十九年	其他ノ外國製	千八百九十九年	日本製	千八百九十九年	日本製	千八百九十九年	日本製	千八百九十九年	日本製
千九百年	其他ノ外國製	千九百年	日本製	千九百年	日本製	千九百年	日本製	千九百年	日本製
千九百一年	其他ノ外國製	千九百一年	日本製	千九百一年	日本製	千九百一年	日本製	千九百一年	日本製





ヲ遂ケ露ノ商策ニ一步モ後レテ取ルコト無ク且滿州ノ市場ヲ蹂躪セテラランコトヲ要ス麥酒ハ天津市場ニ於ケルヨリモ多少我商標ヲ維持シツ、アルニ由リ此際大ニ警戒ヲ加ヘテ獨逸品ノ跳梁ヲ防カサル可ラス眞鍮鈕釦ハ天津市場ト同シク支那製品ノ方氣受ケ宜シ又獨逸ノ珍柄鈕釦ノ輸入盛ニシテ當港ノミニテモ前表ニ示スカ如ク壹萬兩以上ノ輸入アリタルニトアリ獨リ當港ニ於ケルノミナラス各港共輸入増加ノ傾アルヲ以テ此道ニ志アルモノハ各種ノ見本ヲ蒐集シテ之レカ製作ヲ企ツ可キナリ紙卷煙艸ハ村井製孔雀印最好評ヲ得テ輸入多クモ製造者ハ之レヲ以テ満足ス可ラス世人ハ孔雀印ノ輸入多キハ支那人ノ好ム商標ヲ付ケタルカ爲メナリト或ハ支那人ノ迷信ヲ利用シタルニ由ルナランモ全ク之レノミナ信スル者ハ又支那人ト同一ノ迷信者ト云ハサル可ラス仔細ニ觀察スルトキハ北方ニ村井煙草ノ好評アルハ偶然氣候的ノ恩惠ヲ蒙リタル點多ク實ニ製造家ノ僥倖ト云ハサル可ラス如何トナレハ上海ノ如キ濕氣深キ地方ニテ久シク貯フル時ハ微チ生シ或ハ卷紙ニ汚點浸ミ出シ風味ヲ害シ市場ニ適セサルノミナラス殆ント始末ニ究スルニ至ル北清地方ニ於テハ氣候全ク南清ト異ナリ空氣乾燥セルニ由リ六七月ノ濕氣多キ頃ニ於テモ品質ヲ損スルコト無キニ由レリ故ニ當業者ハ屢陳述シタル如ク南清ト北清ニ輸入スル物品ニ就テハ氣候的觀察ヲ怠ルコト勿レ掛時計及懷中時計ニ就テ注意ス可キ事項ハ天津ノ項ニ述ヘタルカ如ク石灰ノ輸入増加ハ鐵道ノ延長ト船舶出入ノ増加ニ原因セリ然ルニ滿州ハ炭脈ニ乏シカラズ殊ニ錦州、廣寧、遼陽及鐵嶺ノ附近ニ産スルモノハ品質良好ニシテ「カーデフ」炭ニ類似スト云フニ由リ今日ノ好況ヲ永遠ニ持續シ得ルヤ世人ノ疑問トスル所ナリ「ラムプ」ハ品質ノ改良ヲ計ルト同時ニ他ノ玻璃器ト共ニ漸冷法ヲ充分ニ施ササル可ラス石鹼類特ニ化粧用ノモノハ鹽水ニ適スルモノヲ製スルヲ要ス如何トナレハ市民等ハ潮ノ引キタル間ニ遼河ノ水ヲ吸ミテ使用スルニ由リ鹽分ヲ含ムコト多ク尋常ノ石鹼ハ使用ニ堪ヘサルニ由リ製造法ヲ變更セハ一般ノ嗜好ニ投スルコトヲ得ン然レトモ稀レニ數哩ノ壁外ヨリ淡水ヲ吸ミテ用ユルモノ無キニ非サルヲ以テ目下悉ク鹽水用石鹼ニ改良スルノ必要モ無カル可キニ由リ其區別ヲ明ニシテ右兩種ノ石鹼ヲ輸入スルノ必用アリ洗濯石鹼モ亦此點ニ注意シ且可成含水ノ量少ナキモノヲ輸入ス可シ滿州ノ地方ハ全ク砂糖ヲ産セサルニ由リ氷砂糖ハ將來有望ノ貿易品タルヤ疑ナシ同

地方ニテハ之レチ菓子トシテ使用スルニ由リ菓物汁、香料又ハ薄荷等ノ如キモノヲ調和シテ試賣セハ或ハ彼等ノ嗜好ニ投スルモ計リ難シ玩具ハ前ニ述ヘタル通り堅固ナルモノニ非レハ市場ニ適セズ此點ヨリ考フル時ハ轉鑄工ノ玩具等ニ巧ニ支那ノ意匠ヲ應用スルコトヲ得ハ或ハ嗜好ニ適合スルコトヲ得ン稅關ノ見本室ヲ縱覽セシニ幅二三吋長サ一吋乃至一吋半ノ葉鑄製ノ小箱ニ渤業塗料ヲ以テ花鳥草木又ハ人物等ヲ畫キ蓋ノ裏ニ鏡ヲ張りタルモノアリ稅關吏ノ云フ所ニ由レハ此種ノ箱年々輸入増加スト云フ其使用法ハ或ハ煙草ヲ入レ或ハ婦女ノ化粧具及粧飾品ヲ入ル、ニ使用スト云フ蠟燭傘ハ一千八百九十年以前ハ統計表ニ我製品ノ區別ナキヲ以テ輸入ノ有無ヲ統計的ニ認ムルコトヲ得スト雖モ夥シク輸入シタルヤ疑ヲ容レヌ又其以後ニ於テモ統計表ニ我製品ト外國製品トノ輸入額略等シキモ之レ全ク檢査吏員(稅關)ノ不注意ニ出タルナキヤ疑フ如何トナレハ日本品中ニ統計シアルモノハ直接輸入品ニ限リ揭表シ他港ヲ經テ輸入シタルモノハ凡テ日本以外ノ各國ヨリ輸入シタル物品中ニ統計シアルヲ以テ一千九百一一年中同品ノ上海ニ輸入シタル額ヲ見ルニ外國品ハ日本品ノ三十二三分一ニ過キサルカ故ニ實際當地ニ輸入スル額モ略同一ノ比例ナラント思ハル是レ他ナシ本品ノ當港ニ輸入スルモノハ概ネ上海ヲ經由シテ來レハナリ然ルニ本品ハ天津ノ項ニ述ヘタルカ如ク品質粗惡ニシテ小供傘ノ如キハ一度雨ニ逢ヘハ褪色シテ雨後ノ櫻ヨリモ尙一層甚シキ變態ヲ來スヲ以テ第一ニハ布帛ノ改良ヲ爲シ第二ニハ骨組ヲ堅固ニ爲サレハ需要者ノ嫌惡ヲ招クノ憂アリ製造家ノ注意ヲ要ス

二、金融及通貨

當港ニ流通ノ支那貨幣ノ本位ハ營口元寶ト稱シ各人ノ依頼ニ應ジテ銀爐即銀房ノ自由ニ鑄造スル馬蹄銀ニシテ純位〇、九八〇乃至〇、九八五ヲ有シ一個ノ重量五十三兩四兩アリテ之レヲ量ルニ用ユル天秤ヲ數子ト稱シ該天秤ノ一兩ハ在牛莊中村國太郎氏ノ調査シタル成績ニ由レハ我九匁五三三三ナリト云フ又或ル銀行業者ノ調査ニ由レハ我十匁八釐口對子秤ノ一兩〇四一八ナリト云フ之レニヨリテ算出スレハ營口ノ一兩ハ我九匁五九八七ニ相當シ前者ノ試驗ト稍相違アリ故ニ之レヲ折中シテ營口ノ一兩ハ我九匁五九八七ト見レハ大差ナカラン之レニ由テ看レハ貨物買賣ノ尺度ト稱ス可キ貨幣ノ本



位ニ用ユル兩ナル名稱ハ前記ノ純位ヲ有スル銀塊ノ重量我九匁五九八七ヲ意味スルモノナリ然レトモ實際商業ノ取引ニハ正貨ヲ受授スルコト稀ニシテ商業取引ヲ爲サントスルモノハ當港ノ商習慣ニ由リ貸借決済日ト定マリテ清曆六月一日九月一日及十二月一日ノ三期ニ正貨ヲ受取ルノ黙約ヲ以テ元寶銀ヲ銀塊ニ預ケ入レ銀塊ノ帳簿ニ受ケ入レ即借方ニ記載セシメ置キ他ト取引ヲ爲シ代價ヲ支拂フ必要アルトキハ買主及賣主双方銀塊ニ至リ口頭ニテ告ケ其帳簿上ニ貸借ノ記入ヲ爲サシムルモノナリ此ノ如ク口頭ニテ受渡ヲ爲ス貨幣ヲ稱シテ過爐銀ト稱ス即甲乙間ニ現銀ノ受渡ヲ爲サスマテ爐房内ニテ甲ヨリ乙ニ銀ノ所有權カ通過(移轉)スルノ意ナリ英語ニテ之レヲ「ツランスファー、マニール」ト稱ヘリ若シ過爐銀ノ所有者即チ決済日ニ正貨ヲ受取ル權利アル者該日限前ニ正貨ノ必要アリテ爐房ニ請求ヲ爲ストキハ打歩ヲ出サ、レハ正貨ヲ交付セズ打歩ノ額ハ正貨準備ノ多少ニ由リ高低セリ昨年ハ正貨拂底ニシテ上海向ケ爲替ハ六匁乃至八匁ノ打歩トナリ秋ニ至リ一割五分ニ昇リ最後ニハ二割五分ニ達シ十二月ノ決済日ニ至リ銀塊ハ正貨欠乏ノ日實ヲ以テ正貨ノ拂戻シ拒ミシカハ假政廳(露國)ハ銀塊ノ異議ヲ申立タルニモ關セズ舊慣ヲ遵守シ決済ヲ爲ス可キコトヲ嚴命セシト云フ

過爐銀ニテ取引ヲ爲スハ大取引ノミニ限リ小取引ヲ爲スニハ凡テ小銀貨ヲ使用セリ小銀貨ハ銀弗ノ補助貨トシテ鑄造セフレタルモノナレトモ實際ハ銀弗ニ對シテハ日々ノ相場ニ由リ交換ヲ爲シ流通ノ銀弗ニモ墨銀、吉林弗、奉天弗、北洋弗、湖北弗、江南弗、安徽弗、日本銀、廣東弗、香港弗等アリテ各弗間ニ相場ノ變動スルコト天津ニ於ケルカ如ク卅五年十一月六日ニ於ケル相場ハ小銀貨壹弗貳錢ニ對シ墨銀壹弗ニ相當シ小銀貨ハ既ニ補助貨ナル性質ヲ失フテ無制限ニ流通スルノミナラス本末顛倒シ普通小銀貨ヲ以テ弗ノ本位ト看做シ取引上ニテ貨幣ノ種類ヲ明示セズシテ何弗ト云ハハ小銀貨ニテ計算シタル金額ヲ意味セリ詳ニ云ハハ壹百弗ト稱スル場合ニハ墨銀八拾九弗貳拾九錢  $(\frac{100}{112} \parallel 89.29)$  ナリ墨銀百弗ト云ヒシ場合ト拾兩七拾壹ノ差ヲ生ス實買約定ヲ爲ス場合ニモ各弗銀間ニ相場異ナルヲ以テ北洋弗何弗又ハ吉林弗何弗等ノ如ク弗ノ名稱ヲ附加セサレハ後日爭ヲ生スルコトアリ卅五年十一月六日ニ於ケル各貨幣ノ相場ハ左ノ如ク

小銀貨 百拾貳弗  
日本銀 百八圓  
奉天及吉林弗 百四弗  
江南及湖北弗 百二弗  
北洋弗 壹百弗(バー)

過爐 銀五拾參兩五匁 小銀貨 八拾壹弗五拾錢  
元寶銀 同 八拾參弗五拾錢  
過爐銀 壹兩 小錢 八吊五百五拾文  
元寶銀 同 九吊百五拾文  
小銀貨 壹弗 同 六吊文

小錢壹吊文トハ百六十個ニテ之レヲ千文ト云フ即百文ハ十六個ナリ例令ハ藥物ヲ買フニ當リ梨一個貳拾五文ト稱ヘタルトキハ小錢四個ヲ支拂ヘハ可ナリ又外ニ名義上ノ貨幣ニテ大錢及中錢ナルモノアリ大錢ノ壹吊文ハ小錢ノ千個ニ當リ中錢ノ壹吊文ハ小錢ノ五百個ニ當リ普通取引上何吊何文ト稱ヘタルトキハ小錢ヲ意味シタルモノニテ大錢及中錢ニテ買買ノ約定ヲ爲ストキハ必ス之レカ明示ヲ要スルコト小銀貨ノ銀弗ニ於ケルカ如シ

此ノ如ク種々ノ貨幣アルニ加ヘテ露國ノ占領以來露貨ノ「ルーブル」流通シ本位貨幣ハ皆紙幣ニテ該紙幣ハ金幣兌換券ナレトモ之レカ兌換ヲ請求スルニハ露ノ本國ニ於テセサル可ラス故ニ東洋ニテハ名義上兌換券ナレトモ其實ハ不換紙幣ト同一ナリ之レカ補助貨ニハ銀貨ト銅貨ノ二種アリ銀貨ニハ五、拾、拾五、貳拾、貳拾五及五拾「コペック」ノ六種アリ銅貨ニモ亦四分一、貳分一、壹、貳、參及五「コペック」ノ六種アリト云フ此等ノ露貨ハ弗ノ補助貨ト入り亂レテ非常ニ紛テハレシ受渡シニ時間ヲ空費スルコト多キノミナラス露貨ニテ物品ノ小賣ヲ爲ス店アリ又弗ニテ價格ヲ付シタル店アリ買手ハ貨

幣ノ交換ヲ爲ス度毎ニ損失ヲ來スコト掛ナカラス本年十一月初旬露貨ノ相場ハ銀行ノ買相場百「ルーブル」ニ付銀百貳拾弗拾錢賣相場同百貳拾參弗拾錢ニテ一步(1%)餘ノ差アリ小賣店等ニテ交換ヲ爲セハ二步乃至五步甚シキニ至リテハ一割モ損失スルコトアリト云フ

三、度 量 衡

(甲) 尺 度

尺度ニ四種アリ裁尺、木尺、大尺及蘇尺之レナリ裁尺ハ布帛ヲ度ルニ用ヒ大尺ハ元ト山東省萊州府ノ尺度ニシテ同地方ヨリ輸入スル布帛ヲ度ル爲メ同府ノ尺度ヲ採用シタルモノナリト云ヒ今尙ホ清水布、大尺布等ノ如キ土布ヲ度ルニ用ヒ木尺ハ材木家屋器具又ハ土地等ヲ度ルニ用ヒ蘇尺ハ靴ノ寸法ヲ度ルニ用ユルモノナリ是等ノ尺度ハ何レモ分寸尺丈等ノ名稱ニテ十進法ヲ以テ度レコト我國ノ尺度ニ同シ既ニ天津ノ項ニ於テ述ヘタルカ如ク度量衡ハ人民ニ自由製作ヲ許シ之レカ檢定ヲ爲スコト無キニ由リ同一尺度中ニモ多少ノ長短アリ在牛莊中井國太郎氏カ實地商店ニ使用シツ、アリシ各種ノ尺度十個ヲ集メ比較シテ作りタル表ニ由レハ是等ノ尺度ト我國ノ尺度トノ比較左ノ如シ

裁尺	一尺	我曲尺	一尺一寸五分	蘇尺	九寸二分
大尺	一尺	同	二尺七寸五分	同	一尺六寸六分
木尺	一尺	同	一尺四分	同	八寸三分五厘
蘇尺	一尺	同	一尺二分	同	八寸一分六厘

此比較表ニ由レハ木尺ト蘇尺ハ一尺ニ付僅カ二分ノ差アリテ目測ニシテハ類別シ難キニ由リ奸商輩ハ私利ヲ計ル爲メ右兩尺ヲ混用スルコトアリト云フ

(乙) 斗 量

當地ニテ樽ヲ斗ト稱シ一升斗、五升斗及一斗斗アリ一升斗及五升斗ハ人民ニ自由製作ヲ許セトモ一斗斗ハ官府ニテ製

作シ之レヲ拂下クルモノニテ一個ノ價五六兩ナリト云フ之レヲ官斗ト稱シ之レニ二種類アリ一ハ河儼斗又ハ進儼斗ト云ヒ他ハ地儼斗又ハ出儼斗ト云フ此他ハ人民之レヲ擬造シタルモノアリ之レヲ俗ニ私斗ト云ヒ一斗以上ノモノヲ受授スルニハ必ス官斗ヲ使用ス可キ規定ニテ之レヲ犯セハ受授額ノ十倍ニ等シキ罰金ヲ課セラルト云フ斗量ヲ數フルニ石斗升合勺等ノ名稱ヲ以テスルコト我國ニ同シ

官斗ヲ官府ニテ製作シテ之レヲ拂下クルニハ斗量檢定ノ主義ニ出タルニ非スシテ只收入主義ニ出タルモノナルニ由リ製作法不完全ニシテ外部ニ官府ノ烙印アルモ容量ノ檢定ヲ爲シタルモノニ非サルヲ以テ一斗ニ付二合乃至三合ノ差異アルモノアリト云フ又當地ノ習慣トシテ車載物即車輛ニテ運搬シ來リタルモノヲ量ルニハ買方ニテ量リ斗棒ヲ用ヒテ之レヲ渾斗ト云ヒ斗棒ヲ用ヒテ量リタルモノニ比スレハ一斗ニ付一升内外多シト云フ又河儼物即支那船ニテ運搬シ來リタルモノ若クハ地儼物即陸上ニ貯藏シタル物ヲ量ルニハ賣方ニテ斗棒ヲ用ヒテ量ル之レヲ清斗ト云フ官斗ヲ我國ノ斗量ニ比較スルトキハ大凡左ノ如シ

河儼斗	一斗	我	一斗四升五合一夕
地儼斗	一斗	我	一斗四升

(丙) 權 衡

當地ニテ使用スル權衡ニ三種アリ戥子、天秤及秤之レナリ戥子及天秤ノ二種ハ銀塊ヲ衡ルニ用ヒ普通壹百兩迄ヲ衡ルコトヲ得可シ該秤量ト我國ノ秤量トノ比較ハ「通貨」ノ項ニ述ヘタルヲ以テ茲ニ贅セズ單ニ秤ト稱スルモノハ我國舊來ノ權衡ニ類シ商品ノ賣買ニ使用スルモノニテ大小種々アリ大ナルモノハ一度ニ五百斤迄ヲ衡ルコトヲ得可シ此等各種ノ權衡ハ自由製作ヲ許サレ居ルコト恰モ尺度ニ於ケルカ如シ故ニ重量ニ差アルコトモ亦尺度ニ差アルカ如シ居留日本商人等ノ云フ所ニ由レハ營口秤ノ一百斤ハ我八十八斤ナリト云ヒ或ハ八十八斤半ナリト云ヒ或ハ八十九斤ナリト云ヒ最後ニ十六個ノ秤ヲ以テ衡リタル重量ヲ平均シテ調査シタル成績ニ由レハ平均壹兩ハ我八匁七二〇ニシテ拾六兩チ一斤ニ計算スル

ノ例ナルニ由リ營口一斤ハ我百三十九五分二〇ニシテ百斤ハ我八十七斤二合ニ當レリト云フモノアリ素ヨリ權術ノ原  
器ナルモノナキニ由リ何レカ正確ナルヤヲ知ルコト能ハス此ノ如ク調査ノ成績ニ差異ヲ生スルハ全ク秤ノ製作不完全ニ  
シテ之レニテ衡ヲ重置ニ差アルカ故ナリ暫ク記シテ參考ニ供ス

四、「ダールニー」港ノ開港カ當港ニ及ホスヘキ影響

抑々世ノ未ダ開明ニ赴カサル時代ニ於テハ河川ハ最良ノ交通機關ニシテ世界各國ノ都市ハ海邊ニ非ラスンハ概テ河川ニ  
額シ其補助ヲ得テ發達シタルコトハ歴史上明々白々タル事實ニシテ牛莊港ノ僅カ半世紀間ニシテ今日ノ繁華ヲ來シタル  
ハ全ク遼河ノ賜ト云ハサル可ラス該河ハ東三州中最土地開ケ人口稠密ニシテ滿洲ノ富源ト稱ス可キ奉天省ノ中央ヲ  
貫流シ其上流ニハ同省ノ首府奉天省ヲ始メトシテ長春、開原、唐平、昌圖、新民、興京、遼陽及海城等ノ市街ヲ控ヘ此等ノ市  
街ニ集散スル貨物ハ或ハ直接ニ遼河ノ主流又ハ支流ニ由リ或ハ間接ニ陸路ヲ經テ通江子、鐵嶺及田庄臺等ニ運輸シ同地  
ヲ起點トシテ河流ニ由リ牛莊港ト交通シ貨物運輸ノ任ニ當レル船舶ハ二萬有餘艘ニ及ヘルコトハ既ニ業ニ述ヘタルカ如  
シ而シテ此等ノ船舶ハ製作費ノ安キト乘組員等ノ生活ノ程度低キトニ由リテ其運賃ハ鐵道ノ運賃ニ比シ頗ル安價ナルコ  
トハ同港ニ在留セル東西兩洋ノ外國人等カ異口同音ニ唱フル所ニシテ詳細ニ數字ヲ以テ之レカ比較シ茲ニ顯ハスコト能  
ハサレトモ之レヲ白河ニ於ケル天津及北京ノ例ニ比シテ其說ノ誤ナキヲ證スルニ足ル故ニ東清鐵道カ開原、鐵嶺、奉天、  
遼陽及海城等ノ諸都市ヲ通過シタルニモセヨ貨物ノ運搬ハ支那船舶ト競争スルコト能ハスシテ將來ニ於テモ是迄ノ通り右  
諸都市ノ生産品ハ河流ニ由リ牛莊ニ來ルヤ疑フ可ラス若シ東清鐵道カ運賃ヲ下ケテ競争ヲ試ミシガ二萬有餘ノ支那船ハ  
空ク河畔ニ腐朽シ十萬人ニ垂ントスル水夫ハ忽チ飢餓ニ迫ルニ至ルテ慮リ辛クテ生命ヲ維持シ能ク最少額ノ運賃ヲ  
以テ敵ト對戦ヲ爲スニ至ルヘシ此時ニ當リテ東清鐵道ハ果シテ之レニ對シテ競争上勝ヲ制スルコトヲ得ルヤ頗ル疑ヲ容  
レサル可ラス假リニ一步ヲ讓リテ競争ニ勝ヲ制得ルトシテモ此地方ノ商業ハ清國人ノ掌握スル所ニシテ當地ニ居留ス  
ル商人等ハ各都市ノ商人等ト連絡ヲ通シ堅ク組合ヲ結ビ居ルニ由リ當地ノ商人等カ補テ運テ「ダールニー」港ニ移住スル

ニ非レハ鐵道ニテ運輸シ來ル貨物ハ河運ニ由ルモノト同シク同港ニ集中セサルヲ得ヌ由テ鐵道船便何レニ由リテ滿洲ノ  
貨物ヲ集散スルモ當港ノ盛衰ニ影響ヲ及ホサルノミナラス返テ長春以北ノ貨物ヲ當港ニ集メテ其繁榮ヲ助クルニ至ル  
可シ論者或ハ云ハ牛莊港ハ四月間氷ノ爲メ閉鎖セラル、ニ非スヤ此ノ如キ不完全ノ港ハ「ダールニー」ノ不凍港ニ對シ  
テ競争ヲ爲スコト能ハサル可シト此點ニ就テハ無論當港ハ地理上不利益ノ地位ニ在ルモ滿洲ノ產物ハ豆類、野蠶糸、獸皮  
及其他ノ農産品ニシテ豆類ノ收穫ハ毎年九月杵蠶繭ノ收穫ハ九月末或ハ十月初旬其他ノ農産物ハ凡テ早キハ九月運時モ  
亦十月ヲ過キヌ由テ是等ノ產物ハ遼河ノ結氷前ニ牛莊ニ集マリテ直ニ輸出セラレ獸皮ハ重ニ冬期ニ獵獲スルニ由リ開河  
後ニアラサレハ市場ニ出サルヲ以テ冬期ハ商品ニ乏シク自然ニ商業不活潑ニ陥リ如何ニ天然ノ良港アリト雖モ牛莊港ニ  
テ集散シツ、アリシ貨物ノ方向ヲ轉シテ之レカ發達ヲ計ルハ恰モ木ニ寄リテ魚ヲ求ムルカ如シ又此地ノ事情ニ疎キモノ  
ハ或ハ云ハ冬期ハ天然ノ交通機關氷ニ鎖サル、ヲ以テ出入ノ貨物ハ凡テ鐵道便ニ由ラサル可ラス故ニ此時機ヲ利用  
シテ商業政策上牛莊向ノ鐵道運賃ト「ダールニー」向ノ運賃ヲ平均シテ一率トナサハ牛莊ニ向フ貨物ハ凡テ出入ニ便利ナ  
ル「ダールニー」ニ向ハント之レ又皮想ノ感念ニシテ滿洲ハ河川ノ氷結スルト同時ニ陸地モ亦凍リテ方數百哩ノ一大鏡面ヲ  
橫ヘタルカ如ク此鏡面ニ住スル人民ハ耕スニ土地ナク轉テ肥肉ノ嘆ニ堪ヘス用ユルニ所ナキ數十萬ノ馬ヲ驅テ貨物ノ陸  
運ヲ開始シ氷ノ爲メニ磨擦力ノ減少スルノ便ヲ利用シテ殘貨ヲ牛莊ニ運ヒ其運賃ハ實ニ安價ニシテ人馬ノ食費ト車ノ修  
作費ヲ償ヘハ可ナリ而シテ滿洲人ノ食物ハ一日高粱二三封度ニシテ攝生上ヨリ一週間ニ一二度麥粉、陸米又ハ粟等ヲ食  
セ一ヶ月ニ一二回肉ヲ食スト云フ由テ計算スルニ高粱一封度ハ凡我壹錢貳厘ニ價スルニ由リ其三倍以上參錢六厘ハ彼等カ  
常食ノ價ニシテ之レニ菜代及肉代ヲ加ルモ一日五錢一ヶ月費弗五拾錢ト見レハ大差ナカラン此ノ如キ安價ノ勞銀ヲ以テ  
運搬ニ從事スルニ由リ到底文明ノ利器ハ彼等ノ腕力ニ對シ勝ヲ制スルコトヲ得サル可シ殊ニ當港ニ在留ノ商人ハ資本ヲ  
投下シテ家屋油房等ヲ建築シ氷結中ハ榨油業ニ從事スルモノアリ又ハ南下シテ商品ノ仕入ヲ爲スモノアリ或ハ氷結時期  
ヲ天帝ヨリ付與セラレタル休暇ト思ヒ故卿ニ歸リ一家團樂ノ間ニ一ヶ年ノ苦ヲ忘ル、モノアリ「ダールニー」ノ不凍港ニシ

テ鑛港工事ノ壯大ナルカ故ニ牛莊ヲ背ニシテ「ダルニー」ニ向フモノ蓋シ稀ナル可シ故ニ「ダルニー」ノ開港ハ當港ノ盛衰ニ影響ヲ及ホスコトナリ相共ニ漸々發達ヲ見ルニ至ル可キナリ

第六、旅順口及大連灣

日本國民ハ「旅順」ナル文字ヲ見又「旅順」ナル發音ヲ聞クト同時ニ日清ノ戰役ヲ想起シ同胞カ國家ノ爲メニ瀾キタル血液ノ代價トシテ一度帝國ノ版圖ニ入りタルノ地タルコトヲ回想スルナラフ由來我國ト因縁深キ此地ハ露國ノ租借スル所トナリ司法行政ノ權總テ彼等ノ手裡ニ歸シ露語ニ非レハ通セズ露貨ニ非レハ其用ヲ辨セズ遊覽者ニ對シテ兩眼鏡スヲ使用スルノ自由ヲ與ヘス公道ト雖モ小高キ所ニ佇立シテ風景ノ美ヲ賞ルモノアレハ難何チ質ヤン露語ヲ探リテ辨解スルコト能ハサルモノハ嫌疑ノ旅ヲ以テ拘引セラルコトアリト云フ

旅順口ハ丘陵重疊四面ヲ擁シ港内狹クシテ東西二部ニ分レ東港ハ所謂軍港ニシテ水深ク大小ノ船艦岸ニ横ハレルモ水域狹クシテ恰モ潜水船集ノ如ク其周圍ニハ海兵團アリ又官衙アリ小高キ所ニハ兵營アリテ日光ニ蚤チ漁ルノ兵士夥シク西港ハ廣潤ニシテ一大灣ヲ爲シ商港ト爲スモ敢テ狹隘ヲ訴フルコト無カル可キモ水淺クシテ遠洋航行船ハ灣ニ入ルコトヲ得スシテ東港ト西港ノ中間ニ投錨シ陸地ノ方面ニハ棧橋ヲ設ケテ貨物陸揚ノ便利ニ供シ之レニ近接セル波止場ニハ上屋ヲ建築シ其背後ニハ停車場ヨリ二條ノ鐵道ヲ敷キテ貨物運搬ノ設備ヲ爲スアレトモ區域狹隘ニシテ只一時ノ急ヲ凌グニ至ルノミ故ニ西港ノ灣底ヲ市街ニ充ツル計畫ニテ灣内ニハ淺瀬船アリテ海底ノ土砂ヲ渠ハ陸ニハ數千ノ勞働者アリテ山ヲ切り汀ヲ埋メ目下經營最中ナリ商業ハ不活潑ニシテ陸海軍人ト勞働者ノ需要ニ供スル物品ヲ購クニ留ルカ如シ然レトモ當港ニハ未ダ關稅ノ組織ナクシテ絕對的自由貿易港タルニ由リ遼東半島地方ニ分配スル貨物又ハ瀋陽州地方ニ分配スル貨物中貴重品ニシテ運搬ニ多額ノ費用ヲ要セサル貨物ハ當港ヨリ輸入セラルト云フ日本ノ貿易商中崑崙角ヲ頭スルモノハ只三井物産會社ノ支店アルノミニテ他ハ十數軒ノ雜貨商アルニ過キテ三井物産會社ノ商業ハ重ニ露國官用品ノ賣込及石炭ノ販賣等ニテ其他ノ雜貨商ハ露人相手ニ我國ノ商業者ノ小賣ヲ爲スニ留マル其他工場トシテハ海兵團ニ屬

スル鐵工場及造船所アルノミニテ私設ノ工場トシテ見ル可キモノ更ニ無シト云フ  
當港ハ天然ノ要港ニシテ軍港トシテハ或ハ好適ノ地タランモ港口狹クシテ大船ノ出入ニ不便ナルノミナラス港内狹隘ニシテ商船ヲ繫留スル場所ニ乏シキヲ以テ到底一大貿易港タルニ適セス是レ則チ露國カ「ダルニー」港ヲ經營スル所以ナラズ平

第七、「ダルニー」港

「ダルニー」港ハ大連灣一區域灣口ヲ去ルコト凡三哩ニシテ遠ク水ヲ隔テ、大連市街ト相對シ海底深クシテ大船巨船ヲ繫クニ便ナルヲ以テ露國ハ此地ヲ東洋ノ一大貿易港トナシ西伯利亞鐵道ノ支線ヲ茲ニ連絡シ東歐西亞ノ貨物ヲ吞吐セシメントノ希望ヲ以テ巨萬ノ財ヲ擲テ築港ヲ計畫シ最早其三十分ニ終リ一哩餘ニ垂ントスルニ三條ノ突堤ハ海上ニ突出シテ將ニ工事ヲ終ラントシ其前面ニ長ク一文字形ニ横ハリ灣口ヨリ寄セ來ル黃海ノ波濤ヲ碎キテ入港ノ船舶ニ安全ナル鋪地ヲ與フルカ爲メニ備ヘタル防波堤ハ干潮ノ時所々ニ頭角ヲ顯ハシツアルヲ以テ竣工ヲ見ルハ遠キニ非サル可シ右三個ノ突堤ノ内一個ハ石炭船ヲ繫留ニ充テ他ノ二個ハ貨物船ヲ繫留ニ充ツル豫定ニテ突堤兩側ノ水深ハ干潮ノ時二十八呎ナレトモ將來浚深シテ三十四五呎ニ至ラシムル由ナレハ如何ナル大船巨船ト雖モ岸ニ横ハリテ貨物ヲ積卸スルコトヲ得ヘシ又堤上ニハ數條ノ鐵道ヲ敷設シ東清鐵道ニ連絡セシメ線路ニ沿フテ數十個ノ起重機ヲ設ケ船艙内ヨリ鐵道貨車ニ積載シタル貨物ハ一瀉千里北亞ヲ橫斷シ二週日間ヲ出テスシテ之レヲ歐洲ノ市場ニ供給スルコトヲ得可シ目下中央ノ波止場ニハ上屋ノ建築中ニテ港内ニ面スル陸地ニハ倉庫及油槽ノ敷地アリ石炭ノ揚場アリ船渠ノ設ケアリ市街ニ充ツ可キ地域ハ廣潤ニシテ數十萬ノ家屋ヲ建築スルモ狹隘ヲ告グル憂ナク海邊ニハ運動場ニ充ツ可キ所アリ又公園地ノ設ケアリ將來商業ノ中心ト爲ル可キ地ニハ圓形ノ廣場ヲ設ケ各種ノ商業機關ヲ其周圍ニ建築シ市街ノ各隅ニ通スル十條ノ道路ヲ此所ニ集中セシムルノ計畫ニテ商業ヲ發達セシムルニ於テ遺憾ナカル可シ又市街ノ一隅ニ當レル小高キ所ニハ最早築港ニ關係アル官吏ノ居住セル官舎ヲ始メトシテ病院及寺院ノ建築ヲ終リ大厦高樓巍々トシテ軒ヲ並ヘ幅拾有餘間ノ道路ハ略

★開通シテ海岸ニ達シ照燈ノ設備既ニ終ヘテ夜ハ大小ノ電燈市街ニ輝キ又浦邊ヲ照シ以テ白晝ヲ欺クノ光景ハ歐洲ノ港灣ニ讓ル所ナク一般ニ設計ノ偉大ナルコト東洋ニテハ蓋シ稀ナル可シ

大連灣ハ露國カ二十五ヶ年間租借シタル所ナルニモ關ラズ巨萬ノ財產ヲ擲テ永遠ノ設計ヲ爲スハ其真意何レニ在ルヤ殆ント解釋ニ困シズ所ナリ市街地ニハ區劃ヲ設ケ一區毎ニ番號ヲ付シ此度百十一番、百十二番及百十三番ノ三區ヲ公賣ニ付シ落札者ヘハ土地ノ永久所有權ヲ與ヘ日本人ニハ競落權ヲ付與セスシテ右三區ノ競落平均價格ヲ基礎トシテ第百十六區ノ價格ヲ算定シ該算定價格ヲ出シタル日本人ニ對シテハ同區ニ限リ九十年間所有權ヲ附與スト云フ二十五ヶ年ノ租借ト九十年間ノ處分權ハ兩立スヘキ問題ニ非サル可シ況ンヤ永久ノ實買ニ於テオヤ果シテ世人ノ傳フル所ニシテ誤謬ナカシセハ露國ハ全ク清國ノ獨立權ヲ無視シタルモノト云ハサル可ラス清國ハ果シテ露國ノ所爲ヲ默視ス可キヤ東洋ニ利害ノ關係ヲ有スルモノハ刮目シテ視ル可キナリ然レトモ借金政略ヲ用ヒ恰モ數百年後ニ築港セントスルモノカ今日ヨリ海中ニ捨石ヲ爲シ置クカ如ク巨萬ノ財ヲ消費シテ貿易上遠大ノ計畫ヲ爲スカ如キハ容易ニ世人ノ爲ス能ハサル所ニシテ露國ハ獨リ之ヲ「ダルニー」ニ實行シタルハ實ニ敬服セサルヲ得サルナリ「ダルニー」港ハ今後果シテ此計畫ヲ利用シテ貿易上ニ雄飛スルヲ得ヘキヤ是レ目下ノ大問題ナリ

牛莊港ハ「ダルニー」築港ノ爲メ繁榮ヲ奏ヘル、恐ナキハ既ニ牛莊ノ項ニ於テ陳述シタルカ如シ若シ又將來鴨綠江ノ下流ニ通商港ヲ開キタリト假定センカ同江ノ流域ニ漲ル地方ニ對スル貨物ノ集散ハ必ス河流ニ由リテ行ハル、コト恰モ奉天省西部ノ貨物集散カ遼河ニ由リテ行ハル、ト同一ニシテ奉天省一帯ノ貨物ハ「ダルニー」ヲ咽喉トシテ東清鐵道ニ由リ集散サル、モノ蓋シ稀ナル可シ世人或ハ云ハン「ダルニー」ハ將來自由港トナスノ目的ナルニ由リ同港ヨリ吞吐セラル、貨物ハ税關ノ徵收ヲ免レ他ノ貿易港ニ對シ優ニ勝ヲ制スルコトヲ得ント然レトモ「ダルニー」ノ自由港タルカ故ニ貨物ノ生産又ハ消費地タル滿州カ自由區域ニ非サルヲ如何セン清國ハ將來露國カ滿州還付ト同時ニ各停車場附近ニ税關ヲ設立シ關稅線ヲ劃リテ嚴ニ貿易ヲ監視シ密商ヲ防遏スルヤ殆ント疑ヲ容ル可ラサルナリ又奉天省以北ニ於ケル貨物ノ集散ハ

如何黑龍江ノ支流タル混同江ハ伯都奈ニ至ル迄「ハバロス」ヨリ六百四十有余哩ノ間淺底漁船ノ航行ヲ妨グズ混同江ノ支流松花江ハ吉林府ニ至ル迄漁船及支那船ノ航行自由ニシテ混同江ノ他ノ支流タル嫩江ハ齊々哈爾濱ニ至ル迄大形支那船ノ航行ヲ容レ小形船舶ハ其上流黑爾根迄遡ルコトヲ得又黑龍省ノ西方ニハ黑龍江ノ支流タル亞爾巧河アリテ支那船ハ之レヲ遡リ四百六十餘哩ニ達スルヲ得同省ノ東部ニハ烏蘇金河アリテ其上流尼滿市ニ至ル迄二百五十有余哩ノ間漁船ノ往復絶ヘサルノミナラス其上流又ハ支流ニハ大小ノ支那船往復頻繁ナリト云フ而シテ吉林、黑龍ノ兩省ハ山脈多ク都市ハ概シ此等ノ河流ニ沿テ建築セラレ耕作地ハ其流域ニ頻スルヲ以テ貨物ノ集散ハ河流ノ助ケヲ借ルコト多シ由テ黑龍省ノ貨物ハ混同港ノ支流タル胡原哈河、香河、呼蘭河ヨリ混江ノ東流ヲ遡リ嫩江ヲ下リ來ルモノト共ニ松花江ニ由リテ吉林府ニ集マリ又ハ其支流タル伊通河ニ由リテ長春府ニ集マリ陸路遼河ノ上流ニ出ルヲ以テ東清鐵道ニ由リテ分配セララル區域ハ必ス陝隘ナル可シ果シテ東清鐵道カ滿州ニ於ケル貨物ノ集散權ヲ握ルコトヲ得ストセハ同鐵道カ「ダルニー」港ニ及ニス影響モ亦實ニ薄弱ト云ハサル可ラス然レトモ西伯利亞鐵道ハ歐亞ヲ連續シ西伯利亞ノ生命ヲ繫ク唯一ノ脈管ナルカ故ニ輕々ニ看過ス可ラス西伯利亞地方ハ該鐵道ノ爲メニ發達ヲ促進シ商業愈繁榮スルニ至ラハ其需要ト供給ハ又該鐵道ノ助ケヲ借ラサル可ラサル而シテ其起點ニ位スル「ダルニー」モ亦其時ヲ俟テ發達ス可キヤ論ヲ俟タサルナラ然リト雖モ「ダルニー」ノ發達ハ獨リ露領亞細亞ノ興廢ノミニ關スルニ非スシテ西伯利亞鐵道カ歐亞間ニ貨物運搬權ヲ握ルト否トハ亦同港ノ盛衰ニ大關係ヲ有セリ無論該鐵道ハ歐亞間ノ最短道路ナルヲ以テ郵便ハ必ス此道路ニ由ルヲ便利ナリトスルモ貨物ノ運賃ハ果シテ船舶ト競争スルヲ得ルヤ假令船舶ト運賃ノ競争ヲ爲スコトヲ得ストスルモ「モスコ」又ハ「サラトウ」等ノ如キ歐洲内ニ在リテ海岸ヲ去ルコト遠隔ナル都市ニ於テハ船便ヲ借ランヨリハ寧ロ鐵道便ニ由ル方運賃ヲ節シ且貨物ノ運搬ヲ迅速ニナスノ利益アリテ是等ノ地方ニ集散スル貨物ハ或ハ「ダルニー」港ヲ經過スルニ至リ之レカ爲メ同港ノ發達ヲ促スコトナキニモ非サル可シ現ニ漢口附近ヨリ露國ニ輸入スル紅茶ハ鐵道會社ト特約ヲ結ビ運賃ノ割引ヲ爲シ該鐵道ニ由リテ運輸スルノ契約成立シ前ニ述ヘタルカ如ク目下波止場上ニ建築シツ、アル上屋ハ該紅茶ノ

貯藏場ナリト云フ又旅客ハ今後果シテ此通路ニ由ル可キヤレ一ノ疑問ニシテ茲ニ斷言スルヲ得サレトモ歸スル所旅行ノ目的ニ由ルナル可シ例ハ戰事又ハ商事等ノ如キ迅速ヲ要スル事項ニ關スル旅客ハ或ハ此道ニ由ルナランモ遊覽等ノ如キ愉快ヲ目的トスル旅客ハ此道ニ由ルモノ或ハ揚ナカラン如何トナレハ人ノ感情ナルモノハ單調ヲ破ルノ度數多キ程益々愉快ヲ感スルコト多キヲ以テ毎日繰々タル車輪ノ響キ茫々タル平野ヲ眺メテ西伯利亞ヲ過キンヨリモ「スエス」運河ヲ經過シ紅海ノ夕陽ニ「イスレール」ノ古事ヲ想ヒ東洋ノ文明ヲ生シタル印度ノ風物ヲ探ルノ愉快ニ如カサレハナリ要スルニ「ダレニ」港ノ將來ハ實ニ多量ナルヘキモ其發達ハ急ニ望ム可ラサルナリ

第八、芝罘

芝罘ハ土人之ヲ烟臺ト稱シ一千八百五十八年天津條約ノ結果ニ由リ一千八百六十三年ニ開港セラレタル處ナリ地ハ渤海灣頭ニ位シ昔時ハ一漁村ナリシカ南北兩灣ノ交通頻繁ナルニ從ヒ支那船ノ寄航スルモノ多ク人口次第ニ増殖シツ、アリシカ其後外國貿易ヲ開始セラレシヨリ以來上海以南及我國ヨリ天津及牛莊ニ向テ航行スル汽船ハ概テ當港ニ寄港スルニ至リ商業益繁盛ニ赴キ目下人口三萬ヲ以テ數フルニ至レリ

當港ハ山東省唯一ノ開港場ニシテ省内ニ於ケル貨物ノ集散權ハ恰モ他ノ開港ニ於ケルカ如ク當港ノ掌握スル所ナルカ如キモ事實ハ大ニ之レニ反セリ如何トナレハ山東省ハ山岳間陵起伏シテ清國最良ノ交通機關トモ稱ス可キ河川ハ概テ乾涸シ稀ニ水アルモノハ水流急激ニシテ舟楫ノ便アルモノ尠ナク僅ニ黃河及大運河ニ接スル一帶ノ地方ノミ土地平坦ナリ是ヲ以テ當省内ニ於テ貨物ヲ運搬スルニハ荷車又ハ馬背ニ由ラサル可ラス然ルニ道路險惡ニシテ運搬ニ困難ナルノミナラス大雨ノ候ニ至レハ地質疎鬆ナルカ故ニ道路ハ泥濘深ク且黃河ニ漲スル平坦ノ地方ハ土地低ク且漏洩ニシテ沼澤ニ墮スルコトアリテ一ケ年中七八、九ノ三月月間ハ雨多クシテ運輸ノ途絶ユト云フ由テ霖雨ノ候ニ至レハ運河ノ貫通アル地方ハ大運河ニ由リ鎮江ヨリ貨物ヲ集散シ黃河ニ漲スル地方ハ河流ニ由リ直隸省ヨリ需要供給ヲ補テ獨リ小清河ハ舟楫ノ便アルニ由リ同河ノ兩岸ニ於ケル地方ニ對シテノミ芝罘ヨリ支那船ニ由リ貨物ヲ集散ヲ爲スト云フ此ノ如ク貨物運搬ノ

區域狹少ナルニモ關セス當港カ今日ノ發達ヲ來シタル所以ハ對岸ニ遼東半島ヲ控ヘ且山海關及錦州附近ト交通ノ便宜シクシテ此等ノ地方ニテ消費スル物品ハ多クハ當港ヨリ分配シ就中鴨綠江ノ下流ニ沿ヒタル大東灣ニ輸入スル貨物ハ概テ當地ヨリ供給セリ稅關年表ニ由レハ昨年當港ヨリ同地ニ向テ發送シタル貨物ハ價格ニテ參拾萬兩及貨幣五拾有餘萬兩ナレトモ右ハ正當ノ手數ヲ經テ稅關ヲ通過シタル貨物ノミニシテ該統計ニ漏タルモノモ亦巨多ナラン當地在留商人等ノ云フ所ニ由レハ同地ニ向テ發送スル貨物ハ毎年壹百萬兩ヲ下ラズト云フ然ルニ遼東半島ニ於ケル「ダレニ」ノ築港終リ倉庫及金融機關備ハリ清國商人等漸々移住スルニ至ラハ當港ヨリ大孤山及大東灣地方ヘ對スル貿易ハ該港ノ爲メ益食セラレ又錦州方面ニ對スル貿易ハ秦王島ノ發達スルニ從ヒ漸々同島ノ爲メ侵奪セラレ又山東省ニ於ケル内地貿易及工業ノ中心ト稱スル濰縣、昌邑、青州、博山、周村、莒州及沂州等ニ對スル貨物集散ノ起點ハ膠州灣ニ轉シ是迄南清ヨリ芝罘ニ來リタル船舶ハ青島ノ港灣改良竣工シ商工機關ノ整備スルニ從ヒ漸々同島ニ向ヒ前記ノ諸都府ニ分配スル貨物ハ鐵道便ニ由ルニ至ラン假令遠カニ鐵道便ヲ利用スルニ至ラズトシテモ沂州、濰縣及青州地方ニハ芝罘ノ沿岸ヨリモ寧口同島ヨリ交通スル方距離近ケレハナリ加フルニ山東角ハ遠ク海中ニ突出シテ冬期ハ風波荒ク支那船ノ航海ニ困難ナルカ故ニ西曆一千二百七十八年ニ膠州灣ニ注ツ沽河ノ上流ヲ開鑿シ渤海灣ニ注シ膠來河ノ上流ト連絡シ且兩河ヲ浚深シテ運河トナシ八個ノ水閘ヲ設ケ渤海灣ノ方面ニ運輸スル貨物ハ一先ツ膠州灣ニ運ヒ同灣底ニ位スル塔埠頭ニテ解船ニ移シ該運河ヲ通過シ反對ノ運河口ニ位スル海澮口ニテ再支那船ニ積載シ小清河附近及其他渤海灣沿岸ノ地方ニ分配セシモ該運河ハ其後修繕費ノ重キニ堪ヘス一千二百八十七年ニ至リ自然ニ土砂ニ埋メラレ交通遮斷トナリ再明朝ノ初メニ開鑿セシモ成祖帝十三年ニ至リ又埋アリ其後一千五百卅六年及一千五百七十七年ノ兩度開鑿ヲ企テタルモ遂ニ成工ニ至ラズシテ中止セタル等ノ例ヲ以テ考フルモ若シ膠州灣頭ニ商業及運輸機關ヲ備フルニ至ラハ南清ヨリ來ル船舶ハ山東角ヲ迂回スレ危險ヲ避ケテ同灣ニ集マルヤ疑ナシ果シテ然ラハ青島築港ノ爲メ當港ニ及ホス影響又尠ナカラサル可シ故ニ將來當港ヨリ貨物ノ集散ヲ爲ス地方ハ山東省ノ北部ニ當レル渤海灣沿岸地方、小清河ノ兩岸及黃河ノ北岸ニ位スル直隸省ノ南部ニシテ舟楫

ヲ通スル河流ニ瀕スル地方ニ限ラル、ニ至ル可シ而シテ濟南府附近ニ就テハ未ダ斷言スルヲ得サレトモ或ハ芝罘ノ分配區域トナルヤモ計ル可ラス如何トナレハ目下支那船カ小清河ヲ遡リ得ヘキ里程ハ六十七哩ニシテ索罈ニ達シ其所ニシテ貨物ヲ陸揚シ陸路十七哩ヲ經テ周村ニ達ス周村ハ石炭ノ產地タル博山ニ近シ且其附近ニ産スル柞蠶糸及繭軸ノ中央市場ニシテ一ヶ年ノ貨物集積額ハ千五百萬兩ニ達スト云フ該河ト黄河ノ間ニ新清河アリテ源ヲ濟南府ノ傍ヲナル湖ヨリ發シ高苑及博興ノ兩市街ヲ貫流シ運河ヲ經テ渤海灣ニ注キ淺底ノ解船ハ河口ヨリ濟南府ニ至ル迄舟行ヲ妨ケスト云フ又或ル説ニ由レハ濟南府ヲ去ルコト凡十哩ノ所ニ至ル迄航行スルコトヲ得ト右兩説何レニ由ルモ濟南府地方ニ貨物ヲ運輸スルニハ膠州灣ヨリ汽車便ニ由ラシヨリモ從前ノ通り河流ニ由ル方運賃低廉ナルカ如シ而シテ濟南府ヨリ大運河ノ距離ハ大凡七八十哩ナルヲ以テ同府ニ輸入スル貨物ノ一部分ハ或ハ河流ヲ利用シ或ハ陸路大運河ノ方向ニ送リ該運河ノ助ケヲ借リテ分配セラレ、ニ至ル可シ前陳ノ事項ヲ綜合シテ將來官港貿易ノ消長ヲトスルニ全ク望ナキニ非スト雖モ膠州灣及大運河ノ發達ニ伴ヒ不利ノ影響ヲ蒙ルコト尠ナカラサルノ事ナラス秦王島カ北清ノ一大貿易港トナル曉ニ至ラハ當港ノ貿易ハ遂ニ一小區域ニ制限セラレ、ニ至ル可シ

(二) 輸出入貿易

過去五ヶ年間ニ於ケル内外國品ノ輸出入額左ノ如シ

年次	輸入額	輸出額	合計
千八百九十七年	一五,三九六,四四兩	六,七五七,三三兩	二二,一五三,七七兩
千八百九十八年	一九,六四四,三五兩	七,六三三,三三兩	二七,二七七,六八兩
千八百九十九年	一九,四〇一,〇九兩	一〇,一七五,七九兩	二九,五七六,八八兩
千九百年	一七,〇〇九,七三兩	一〇,四〇九,七四兩	二七,四一九,四七兩
千九百一年	二八,〇六六,三三兩	一一,七九一,〇〇兩	三九,八五七,三三兩

更ニ外國品總輸入額ニ對スル日本品輸入額ノ割合及外國へ總輸出額ニ對スル日本へ輸出額ノ割合ヲ掲表スルトキハ左ノ如シ

年次	外國品總輸入額	日本品輸入額	割合	外國へ總輸出額	日本へ輸出額	割合
千八百九十七年	三六,八五〇,〇五兩	一,二九六,六四兩	三・六	一,三四七,七三兩	一,二四〇,〇三兩	二二・二
千八百九十八年	六二,八三三,七六兩	三,五七二,四七兩	五・七	一,六四三,九七兩	三,三三六,八七兩	二〇・九
千八百九十九年	六五,九九七,七一兩	三,八五五,九三兩	五・九	一,九六六,〇六兩	五,九二八,六四兩	二九・七
千九百年	四七,七五五,五四兩	二,〇八八,三〇兩	四・三	一,九四四,六一兩	六,四四三,三三兩	三二・六
千九百一年	六六,〇六〇,六一兩	五,三〇二,五三兩	五・四	二,六三三,七六兩	八,三〇三,三三兩	三〇・八

前表ニ由レハ本港ハ我國ト貿易上ノ關係密接ニシテ輸入品ノ殆ント半額ハ我國ノ製産品ニシテ我國ニ向テ輸出スル貨物モ亦年々増加シ近年ニ至リテハ三分一強ニ及ヘリ而シテ輸出入品ノ重ナルモノヲ掲ケレハ左ノ如シ

(甲) 輸出品

品名	千八百九十七年	千八百九十八年	千八百九十九年	千九百年	千九百一年
柞蠶糸	一,一〇五,三三〇兩	一,五八六,九〇〇兩	一,七六九,四〇〇兩	一,〇三三,三三六兩	一,七〇二,二七七兩
桑蠶糸	五三,七七八兩	五五,六六四兩	五三,七九四〇	一,一七五,〇八一	一,〇五〇,二九〇
繭 軸	三三,八〇八八	三三,〇七〇〇	四八,八〇〇〇	七六,六一三三	八三三,〇〇〇
麥稈良田	一,五五五,八三八	一,七五七,七七七	一,二五六,六六七	一,六四四,五七〇	一,五五六,三三三





ル所抄ナカラサルヘ

豆類ハ牛莊ニ産スルモノト異ナルコト無キヲ以テ茲ニ贅セズ

鶏卵ハ山東省各地ニ産シ税關通過ノ平均價格左ノ如シ

鶏卵一百個ニ付	千八百九十七年	千八百九十八年	千八百九十九年	千九百年	千九百一年
	兩 〇五〇四	兩 〇五二二	兩 〇六六七	兩 〇六〇四	兩 〇六〇三

(乙) 輸入品

本港ニ輸入スル物品ノ内我國ノ生産及工藝品ト關係アルモノヲ抜萃シテ其消長ヲ示ストキハ左ノ如シ

生金布	千八百九十七年	千八百九十八年	千八百九十九年	千九百年	千九百一年
	六九九九兩	六四九四七兩	五九四四三兩	五三二二兩	六六〇二兩
天竺布	日本製	印度製	其他		
	六〇八七七	三二七	一〇八五三	八三六四	二六八三三
雲縲布	英國製	米國製	印度製	其他	
	三〇七三	四八八六七七	五八三〇	三三〇〇	六六六六
手巾	日本製	其他			
	三三三〇七	三三三〇七	九六八	三三三三	六四三三
浴巾	日本製	其他			
	三三三〇七	三三三〇七	三三三〇	三三三三	三三三三
綿	日本製	其他			
	三三三〇七	三三三〇七	三三三〇	三三三三	三三三三
糸	英國製	印度製			
	三三三〇七	三三三〇七	三三三〇	三三三三	三三三三
真鍮鈕	日本製	其他			
	三三三〇七	三三三〇七	三三三〇	三三三三	三三三三
珍柄鈕	日本製	其他			
	三三三〇七	三三三〇七	三三三〇	三三三三	三三三三
紙卷煙	日本製	其他			
	三三三〇七	三三三〇七	三三三〇	三三三三	三三三三
時計及懷中時計	日本製	其他			
	三三三〇七	三三三〇七	三三三〇	三三三三	三三三三

米國製	千八百九十七年	千八百九十八年	千八百九十九年	千九百年	千九百一年
	一五五六六〇	一五七三三	一〇九一	一三三三	二二二二
印度製	日本製	其他			
	三三三〇七	三三三〇七	三三三〇	三三三三	三三三三
手巾	日本製	其他			
	三三三〇七	三三三〇七	三三三〇	三三三三	三三三三
浴巾	日本製	其他			
	三三三〇七	三三三〇七	三三三〇	三三三三	三三三三
綿	日本製	其他			
	三三三〇七	三三三〇七	三三三〇	三三三三	三三三三
糸	英國製	印度製			
	三三三〇七	三三三〇七	三三三〇	三三三三	三三三三
真鍮鈕	日本製	其他			
	三三三〇七	三三三〇七	三三三〇	三三三三	三三三三
珍柄鈕	日本製	其他			
	三三三〇七	三三三〇七	三三三〇	三三三三	三三三三
紙卷煙	日本製	其他			
	三三三〇七	三三三〇七	三三三〇	三三三三	三三三三
時計及懷中時計	日本製	其他			
	三三三〇七	三三三〇七	三三三〇	三三三三	三三三三



膠州灣ハ世人カ知ル如ク清國ノ暴民カ獨逸宣教師二名殺害ノ要價トシテ一千八百九十年獨逸ノ爲メ占領セラレ北京條約ニ由リ九十九年間租借ヲ許シタル所ナリ灣内圓形ニシテ直徑凡十五哩アリ之レニ注ケル五個ノ河流ハ平常乾涸シテ水ヲ見ルコト稀ナレトモ大雨ノ候ニ至レハ急流奔激土砂ヲ洗ヒ來リテ灣内ニ注クヲ以テ西南北三方ノ沿岸ハ泥濘ニ非レハ砂ニシテ海底淺ク船舶ヲ近ク可ラス故ニ膠州府ニ輸入スル貨物ハ從來支那船ニテ陸地ヲ去ルコト六哩ノ海上ニ碇泊シ淺底舁船ニ移シ塔埠頭ニ陸揚ヲ爲シ車馬ニ由リ膠州ニ運搬セリ塔埠頭ハ雲墨河ト沽河ト會流スル所ニ位シ湖州府ヲ去ルコト六哩余ニシテ倉庫等ノ設置アリト云フ而シテ即墨市ニ輸入スル貨物ヲ積載シタル船舶ハ滄口又ハ女姑ノ沖合ニ碇泊シ舁船ニテ貨物ヲ陸揚シ馬車ニテ運輸スルコト膠州府ニ輸入スル貨物ニ於ケルカ如シ滄口ハ女姑ノ南方四哩ノ處ニアリテ共ニ即墨ヲ去ルコト十三哩餘アリ此ノ如ク灣内ハ淺州ニシテ船舶ノ碇泊ニ便ナラズト雖モ只灣ノ東南ニ當リ西方ニ向テ長ク突出シタル岬アリ其兩岸海水深クシテ大船巨舶ヲ繫留スルニ足リ只岬ノ南方ニ碇泊スル船舶ハ北風ヲ防キ同北方ニ碇泊スル船舶ハ南方ヨリ寄セ來ル黃海ノ波濤ヲ防グコトヲ得ルノ便アリ此岬コソ獨逸海軍ノ根據地トシテ且一大商港トシテ東洋ニ雄飛セントスル大望ヲ抱ケル青島ナリ

青島ハ内地ノ市場ヨリ陸路遠ク交通不便ナリシヲ以テ寂寥ナル一漁村タルニ過キサリシカ獨逸ノ占領以來大ニ面目ヲ一新シ丘陵ヲ平ラケ道路ヲ作り土木工事ヲ起シ其他電燈電話水道及植林等ノ事業ニ至ルマテ同時ニ起工シ若々其歩ヲ進メ最早宏壯美麗ナル官衙「ホテル」、住家、倉庫續々建築セラレ遠望スレハ恰モ歐洲ノ港灣ヲ望ムカ如シ目下同地ニ家屋ヲ建築セントスルモノハ先少設計圖ヲ工事監督部ニ提出シ其許可ヲ受ケサル可ラス監督部ニテハ設計圖ヲ精査シテ市街ノ体面ヲ損スルコトナク且總テノ點ニ於テ適當ト認ムルトキハ之レニ許可ヲ與ヘ若シ不完全ノ箇所アレハ設計ノ變更ヲ命ジ建築落成ノ上ハ其構造ヲ設計圖ニ照シテ檢査ヲ爲スト云フ又家屋建築ノ敷地ヲ買入レントスルモノハ當該官衙ニ出願シ購入ノ手數ヲ了シタル後必ス一ケ年以内ニ家屋ヲ建築セサル可ラス若シ之レヲ怠ル時ハ該敷地ハ官衙ニ收容スト云フ而シテ獨逸カ青島經營前ニ同島ニ住居シタル支那民ヲ他ニ移ス爲メ同島ヨリ數哩ヲ隔テタル南地ニ適當ナル家屋ヲ新築

シ下水工事ヲ施シ且廣闊ナル道路ヲ設ケ期限ヲ付シテ此所ニ移轉ヲ命ジ日限内ニ異儀ナク移轉シタルモノニハ相當ノ移轉料ヲ交付セシニ由リ支那人等ハ從前ノ家屋ヨリ一層美麗清潔ニシテ且健康ニ適シタル家屋ニ移轉スルコトヲ喜テ立退キタルヲ以テ工事上困難ヲ訴フルコト無カリシト、獨逸カ民心ヲ收攬スルニ意ヲ用ヒタルコトハ露國カ大連灣ニ施シタル掠奪手段トハ霄壤ノ差アリト説ク者アリ或ハ然ラン乎

青島ハ陸地ニ於ケル諸般ノ經營進歩シツ、アルノミナラス船舶ニ良好ノ錨地ヲ與フル爲メニニヶ所ニ港ノ築造ヲ企テ最早沿海通航船ノ碇泊ニ充ツヘキ部分ハ既ニ竣工シ大洋航行船ノ繫留ニ充ツ可キ部分ハ同島ノ北方ニ當リ目下築造中ニテ其設計タルヤ灣内ニ起ル風波ヲ防カンカ爲メニ鈎形ノ防波堤ヲ築キ其内ニ並行シテ二條ノ突堤ヲ出シ其周圍ノ水深ヲ拾「メートル」ト爲シ堤上ニハ鐵道ヲ敷設シ山東鐵道ニ連絡セシメ且最新式ノ起重機ヲ備付シ一條ノ突堤ハ石炭船ノ繫留ニ充テ他ノ一ハ普通貨物積卸ニ充テ一千九百四年ヨリ一部ノ使用ヲ許ス豫定ニテ目下築造ヲ急ギン、アリ海上ニハ三個ノ淺瀬船ヲ浮ヘ土砂ノ浚深ニ忙ハシキカ如シ

獨逸ノ敷設ニ係ル山東鐵道ハ青島ヲ起點トシテ八十三「キロメートル」ヲ隔ツル膠州府ニ連絡シ南北兩線ニ分レ北線ハ高密、濰縣、昌樂、臨淄、長山、鄒平、章邱等ノ都市ヲ經テ濟南府ニ至リ南線ハ諸城、莒州及沂州ニ通シ北折シテ蒙陰、新泰及泰安府ヲ經テ南線ト濟南府ニ相會セリ而シテ濰縣迄ハ最早鐵道開通シ流車ノ速力ハ停車時間ヲ通算シテ一時間十八哩ナリト云フ濰縣ハ石炭ノ産地ニシテ目下開掘シタル炭坑ハ深サ百五十「メートル」炭層ノ厚サ三「メートル」アリテ炭質ハ有煙炭ナレトモ煙至テ少ナク且燃燒シタル時溶合シテ塊トナルコト無シト云フ且濰縣ハ其附近ニ於ケル貨物ノ中央市場ニシテ萊州府下ニ於ケル麥稈真田ノ中央市場ト稱スル沙河ニハ陸路一日ニシテ交通スルコトヲ得之レヲ芝罘ニ通スル路程四日ト比スルトキハ三日ヲ節約スルコトヲ得ヘシ青州ハ鐵道支線ヲ延長スル豫定地ニシテ臨朐縣内五井及野園ニ産スル黃絲ハ凡テ同州ニ集マリ一ケ年ノ産額貳百萬兩ヲ下ラスト云フ加フルニ同州ノ附近ニ位スル博山ハ有名ナル炭山ニシテ目下試掘中ノモノ數多アレハ鐵道ヲ連絡シ見ルハ遠キニ非サル可シ長山ハ蠶業ノ盛ナル周村ニ隣接セリ此等ノ地方ハ皆北

方鐵道線ノ運送スル所ニシテ南方線路ノ通過スル濱城及莒州ハ何レモ柞嶺ノ生産地ニシテ沂州、蒙陰、泰安ハ其質ノ黃  
 絲ヲ産シ新泰モ亦黃絲ノ產地ナレトモ品質前者ノ生産品ニ比スレハ稍劣レリト云フ從來山東省内ニ於ケル是等ノ産物ハ  
 概テ芝罘ニ集マリ同港ヨリ輸出セシモ清國人等々迷夢ヲ一掃シテ鐵道ノ利益ヲ悟ルニ至ラハ方向ヲ轉シテ青島ニ集マリ  
 來ルヤ蓋シ疑ヲ容ル可ラサルナリ試ミニ鐵道運賃ノ收入額ヲ調査セシニ昨年七月ハ壹兩余八月ハ參拾貳兩余九月ハ貳拾  
 九兩余十月ハ六百四拾五兩余十一月ハ三千六百五拾七兩余十二月ハ三千五百〇五兩余ニシテ月ニ由リ多少ノ消長アリト  
 雖モ大勢ハ鐵道ヲ利用スル方向ニ進ミツ、アルヤ明ナリ  
 營港ニ於ケル輸出入貿易額左ノ如シ

年次	輸入總價額		輸出總價額		合計
	外國品	内國品	外國品	内國品	
千八百九十九年	二九三三	一、〇八〇、〇〇〇	一、三二七、五七	八二二、五五	八八二、五七
千九百年	三、〇〇、〇〇	二、三三、〇〇	二、五三、五七	三、三三、〇〇	一、〇一、一、一
千九百一年	三、四九、〇〇	二、五九、五七	七、六九、〇〇	一、八三、七〇	二、七三、五〇〇
前表ニ由レハ輸入額ハ累年ニ倍余ノ増加ヲ來セリ而シテ輸入外國品ノ重ナルモノハ綿布類、綿糸、鐵釘、石炭、染料、燐寸、 鐵山機械、石油、鐵道材料、砂糖類ニシテ輸入内國品ノ重ナルモノハ寒天(日本品ナラン)麻、油類、紙類、米、砂糖、小麥及木 材等ナリ此内我國ノ貿易ニ關係アル貨物ヲ抜萃シテ輸入ノ消長ヲ示ストキハ左ノ如シ					
生金	日本製	其他	千八百九十九年	千九百年	千九百一年
	一、五八	一、五八	...	...	...

天竺布	日本製		其他	
	印度製	其他	日本製	其他
...	...	...	...	...
「シーチング」	日本製	其他	...	...
手巾(日本製)	...	...	...	...
浴巾(日本製)	...	...	...	...
綿「ブランケット」	日本製	其他	...	...
糸	日本製	英國製	印度製	其他
石炭	...	...	...	...
木軸燐寸	日本製	其他	...	...

獨清協商ノ結果ニ由リ青島ニハ清國ノ稅關ヲ設立シアレトモ獨逸ノ租借區域内ハ純然タル自由市ニシテ該區域内ニ消費

スル物品ニ對シテハ關稅ヲ課セス又該區域内ニテ製造シタルモノヲ輸出スルトキハ輸出稅ヲ免スル規定ニシテ租借區域外ニ輸入スル物品ニ對シテハ青島ニ設立シタル清國稅關ニテ輸入稅ヲ課シ且密商ヲ防遏スル爲メ租借區域ノ境界ニハ監視所ヲ設置シアリト云フ故ニ前表ニ掲クル物品ハ凡テ膠州灣ヲ經テ山東省内地ニ輸入シタルモノニシテ輸入額ノ消長及人民ノ嗜好ニ就テハ芝罘ノ項ニ陳述シタル所ト差異ナキニ由リ省署ス但シ石炭ハ近來初メ濰縣ニ近接セル張路隱トスル所ニテ發掘シタルモノヲ青島ニ運輸シ販賣ヲ初メタリ炭質ハ我國ノ若松炭ニ優リ價格ハ一噸拾三弗ナリ該石炭ノ市場ニ出テサル以前ハ日本炭ノ市價ハ八九兩ナリシ由ナルカ山東炭ノ一度市場ニ顯ハル、ヤ否ヤ獨國商人等ハ連合シテ同炭ノ販賣ヲ擴張スル手段トシテ日本炭ノ市價ヲ拾四弗ニナシタリト云フ

輸出品ノ重ナルモノハ豆類、豆油、豚毛、白朮、落花生豆、豆油及麥稈與田等ニテ野蠶系及繭紬等ハ未ダ當港ヲ經テ輸出スルモノ稀ナリ近來獨逸人間ニ豚毛ノ淨洗及種別ヲ爲ス工場ヲ設立セント計畫スル者アリト云フ該工場成立ノ曉ニ至レハ北清ニ於ケル豚毛ノ中央市場トナルナラン又麥稈與田ハ獨逸ニテ需要廣キヲ以テ芝罘ニ運搬スルモノヲ漸々當地ニ引キ付ケ當港ヨリ直輸出ヲ爲サントノ企アリト云ヘリ

大藏省鑑定官 山岡次郎  
大藏省鑑定官補 坂口武之助

長江沿岸視察復命書

總論

一、揚子江流域、世人ノ呼テ長江ト稱スルモノハ即揚子江ニシテ源ヲ世界ノ屋宇ト稱シ海拔二萬呎ニ垂ントスル西藏ノ高原ニ發シ二川ヲトシテ四川省ノ西部ヲ南下シ一金砂江ト稱シ雲南省ノ境ヲ越ヘ屈曲シテ東方ニ流レ他ノ一ナリ鴉片江ト會流セリ此二川コソ英佛勢力範圍ノ爭點ニシテ英ノ揚子江流域論ヲ說クヤ金砂江ヲ以テ揚子江ノ本源トナシ佛國ハ之レニ反對シテ曰ク鴉片江ハ俗ニ呼テ大江ト稱セリ大江ハ即揚子江ノ別名ニシテ清國人カ之レヲ本流トナセル所以ナリ而シテ金砂江ハ全ク揚子江ト源ヲ異ニシタル一河流ニシテ其末流カ揚子江ニ會合シタルニ過キズ故ニ該河ノ沿岸ハ揚子江ノ流域外ナルヲ以テ英ノ勢力範圍ニ屬ス可キモノニ非スト茲ニ其當否ヲ論スルノ必要ナキモ該二川ハ源ヲ殆ント同一ノ地方ニ發シタルヲ以テ共ニ揚子江ノ源泉ニシテ清國人等カ鴉片江ヲ大江ト稱シ揚子江ノ本源ト爲スハ地理學思想ニ乏キヨリ出タルモノト爲スノ說最穩當ナルカ如シ

金砂鴉片ノ兩川ハ會流シタル後四川省雲南省ノ境界線ニ沿ヒ彎曲シテ四川省ノ南部ヲ貫流シ北方ヨリ岷江沱江及嘉陵江等ノ支流ヲ集メ又南方ヨリ南廣、赤水、茶江及涪陵江(一名烏江)等ノ支流ヲ集メ水勢ヲ増シ湖北省ニ入り山峽ノ險ヲ過キ奔流激迅幾多ノ灘トナリ宜昌府ヲ過キ水勢漸ク緩ニシテ峽々南下シ湖南省ノ東北隅ニ觸レ湘江及沅江ノ水ヲ泄エテ一大水面ヲ形成シタル洞庭湖ノ溢流ト會合シ北曲シテ漢陽ニ至リ再漢水ト合シ水量増溢シテ河幅一哩以上ニ達シ江西省ノ北隅ヲ過キ贛江ヲ首メ省内大小ノ水流ヲ集メタル鄱陽湖ノ水ト湖口ニ會シ安徽省ヲ貫流シテ江蘇省ニ入り大運河ヲ横キリ十有餘哩ノ河幅ト變シ最後ニ黃浦江ノ水ヲ集メテ海ニ注シ全長凡四千餘哩水面凡七百五十餘方哩ヲ有シ其大ナルコト世界ノ大河中第三位ニ在リト稱スルモ通商上ノ便利ヨリ云ハ第一位ニ在リト云フモ決シテ過言ニ非サルナリ

一、揚子江ノ航行區域、清國四億有餘萬人ノ嗜好ヲ充タシ十八省ノ貨物集積ヲ圖滑ナラシメタルハ全ク黃河、揚子江及

西河ノ賜ト云ハサル可ラス黄河及西河ニ就テハ今茲ニ記セス只揚子江カ如何ニ貨物集散ニ便益ヲ與フルカヲ概説センニ  
該河ハ河口ヨリ漢口ニ至ルマテ凡六百哩間ハ夏期増水ノ時ニ際シテハ三十呎ノ吃水ヲ有スル船舶ハ容易ニ過ルコトヲ得  
可シ又冬期減水ノ時ニ於テモ十三三呎ノ吃水ヲ有スル船舶ハ航行ヲ妨グズ蓋シ水勢ノ強弱ニ由リテ河底ノ變遷常ナリ  
所謂「今日ノ瀾ハ明日ノ瀾トナル」カ如キコトアルヲ以テ熟練ノ航海業者ニ非レハ膠沙ノ憂アリト云フ而シテ漢口ヨリ  
上流宜昌府ニ至ルマテ三百五十哩間ハ吃水七呎以上ノ船舶ハ航行ニ困難ニシテ宜昌府ヨリ四川省ノ境界ニ至ル百哩間ハ  
河水急激ニシテ幾多ノ灘ヲ形造リ第一ノ灘ハ宜昌府ヨリ三哩ノ上流ニ在リテ水流ノ高低六呎乃至八呎ナルヲ以テ特ニ精  
造シタル船舶ニ非レハ航行スルコトヲ得サレトモ四川省ノ境ヲ越ユレハ重慶府ヲ經テ叙州ニ至ルマテ二百哩間ハ水面平  
カニシテ瀕船ノ航行ニ便利ナリト云フ故ニ途中灘ヲ過ルノ危険ナカラシメハ淺底ノ瀕船ハ河口ヨリ凡一千二百五十哩ヲ  
過リテ叙州ニ達スルコトヲ得可シ

一、漢口航路ノ瀕船、目下漢口ニ航行スル瀕船ハ定期船ト不定期船ト二種アリテ不定期船ニ屬スルモノ、一ハ我國ヨリ  
石炭ヲ搭載シ漢口ニ荷卸ヲ爲シ歸途黃石港ニテ大冶ノ鐵礦ヲ積載シテ歸航スルモノヲ首トシテ「ダンク」油ヲ搭載シテ  
來ル「セル」運輸會社ノ油槽船ト漢口ニ於ケル露國製茶會社ヨリ磚茶紅茶等ヲ積載センカ爲メ來ル露國ノ瀕船及米國箱入  
石油又ハ鐵道材料ヲ搭載シテ來ル船舶等ナリ千八百九十一年ニ漢口ニ入港シタル不定期船ヲ舉グレンハ「セル」會社所屬ノ  
瀕船五艘ニテ十六航海ヲ爲シ我國ノ瀕船ハ一艘ニテ四航海ヲ爲シテ蘆漢鐵道ノ枕木及鐵道材料ヲ搭載シテ來リ歸便ニ鐵石  
ヲ積載シ去レリ其他ハ埃國ノ瀕船一艘、米國ノ瀕船二艘及露國ノ瀕船等ナリ蓋シ漢口及九江ニ於ケル露國製茶會社製造  
ノ茶類ヲ輸出スル爲メ使用スル船舶ハ凡テ同國ノ國籍ニ屬スルモノニ限レルカ如シ又定期船ハ左ノ諸會社ニ屬スルモノ  
ナリ

(一) 招商局

清國人ノ所管ニシテ同治十三年ニ創立シ光緒元年ニ開業シ英名ヲ China Merchantile steam navigation company

ト稱セリ

(二) 太古洋行

英國人ノ所管ニシテ同治十年頃ノ創立ニ係リ英名ヲ Butterfield swire & Co. ト稱シ China navigation company ノ  
代理店ナリ

(三) 怡和洋行

英國ノ所管ニシテ光緒三年ノ創立ニ係リ英名ヲ Jardan Matheson & Co. ト稱シ Indo China steam navigation  
Co. ノ代理店ナリ

(四) 大阪商船公司

大阪商船會社ノ支店ニテ明治三十一年ヨリ航路ヲ開始セリ

(五) 鴻安公司

一名華昌公司ト稱シ英國人ノ所管ニシテ英名ヲ Graves & Co. ト稱シ光緒十年ヨリ航路ヲ開始セリ即 Austrian  
Lloyd's S. N. Co. ノ代理店ナリ

(六) 瑞記洋行

獨逸人ノ所管ニシテ光緒二十五年ノ創立ニ係リ原名ヲ Arnhold Kerlberg & Co. ト稱シ Hamburg American line ノ  
代理店ナリ

(七) 美最時洋行

獨逸人ノ所管ニシテ光緒二十六年ヨリ業務ヲ開始シ原名ヲ Merchants & Co. ト稱シ Norddeutschen Lloyd's Co. ノ  
代理店ナリ

(八) 麥遜洋行

英國人ノ所管ニシテ光緒二年ヨリ業務ヲ開始シ原名ヲ Macbrain & Co. ト稱セリ  
 是等諸會社ニ所屬セル船舶及其噸數ヲ擧クレンハ左ノ如シ

會社名	船名	登簿噸數	千分率
招商局	江裕	一、四九〇	〇・一五〇
	江寬	一、四五〇	
	江永	一、四九一	
	江孚	一、四六八	
太古洋行	四艘	五、八五九	〇・一五〇
	鄱陽	一、八九二	
	大通	一、八八二	
	安慶	一、七一九	
怡和洋行	三艘	五、四九三	〇・一七九
	吉和	一、九二四	
	元和	一、三三一	
	瑞和	一、九三一	
大阪商輪公司	三艘	五、一八六	〇・二六九
	大貞	一、六八一	
	大享	一、三九一	
	大和	一、三二五	

鴻安公司	計	三艘	四、三八七	〇・一四四
	長安	七八九		
	寶華	四三四		
	益利	五一九		
瑞記洋行	計	四艘	二、七三一	〇・〇八九
	瑞泰	一、一四五		
	瑞安	一、一四五		
	二艘	二、二九〇		
美最時洋行	計	三艘	三、四五〇	〇・一三二
	美大	一、一五〇		
	美利	一、一五〇		
	美順	一、一五〇		
麥邊洋行	計	二艘	一、三三四	〇・〇四三
	華利	六六一		
	計	二艘	六六三	
總計		二十四艘	三〇、七二〇	一・〇〇〇

該表ニ由レハ大阪商輪會社ハ噸數及噸數共ニ第四位ニ在リト雖モ船室ノ美麗ナルコト他會社ノ船舶ノ及フ所ニ非ス是等ノ諸會社ハ概ネ漢口及中經ノ各開港場ニ浮棧橋ヲ設ケ其極端ニ船殼ヲ繋留シテ倉庫ニ代用シ定期船ノ未ダ入港セサルニ

先チ輸出貨物ハ税關手數ヲ了シテ該船發ニ積載シ置キ定期船カ入港シテ各所屬ノ船發ニ横付ヲ爲シタル時之レニ船移ヲ爲シ又揚荷アル時モ同様該船發ニ船卸ヲ爲シ本船出港後ニ徐々税關手數ヲ爲スモノニテ之レカ爲メ船泊ノ碇泊時間ヲ短縮シ通商上ノ敏活ヲ計ル上ニ於テ利益甚ナカラス而シテ船發ノ大ナルモノニハ税關検査官吏自ラ出張シテ輸出入貨物ヲ検査スルコトアルヲ以テ豫メ該官吏ノ爲メ備ヘタル事務室アリ我商船會社モ南京蕪湖及漢口ニ船發付ノ棧橋ヲ既設セリ追々他港ニモ之レヲ設クルノ豫定ナリト云フ

一、漢口及宜昌間ニ定期航路ヲ開始セル會社及所屬船名、漢口及宜昌間ニ定期航海ヲ開始セル會社ハ五會社ニテ其所屬船及噸數左ノ如シ

會社名	船名	登簿噸數	千分率
招商局	快利	八七九	
	固陵	三五〇	
計		一二二九	〇・一五三
太古洋行(洞庭)	一號	一、二六四	
	二號	一、二六四	
計		二、五二八	〇・二五八
怡和洋行	和江	一、三五四	
	昌和	六九六	
計		二、〇五〇	〇・二五五
大阪商輪公司	大元	一、〇五〇	
	大吉	一、二八七	
計		二、三三七	〇・二九一

美最時洋行(美有)

計	一號	一、一五〇	
總計	八艘	八、〇三〇	〇・一四三

右兩航路ニ於ケル各會社所屬ノ船數及噸數ヲ合計スレハ左ノ如シ

會社名	船數	登簿噸數	千分率
招商局	六	七、〇八八	〇・一八三
太古洋行	四	六、七五七	〇・一七四
怡和洋行	五	七、二三六	〇・一八七
大阪商輪公司	五	六、七二四	〇・一七四
鴻安公司	四	二、七三一	〇・〇七〇
美最時洋行	四	四、六〇〇	〇・一一九
瑞記洋行	二	二、二九〇	〇・〇五九
麥邊洋行	二	一、三二四	〇・〇三四
總計	三三	三八、七五〇	一・〇〇〇

更ニ之レヲ國別ニ合算シテ其比例ヲ示ストキハ左ノ如シ

國別	隻數	登簿噸數	千分率
英國	一五	一八、〇四八	〇・四六六
獨逸	六	六、八九〇	〇・一七八
清國	六	七、〇八八	〇・一八三



計

三二

三八、七五〇

一〇〇〇

一、各派船會社ノ運賃割合、各派船會社ノ運賃ハ一定ノ表ニ由リテ支拂フモノナレトモ一度收入シタル後各會社ハ一割乃至二割五分ノ割戻金ヲ荷主ニ與フルヲ以テ實際ノ運賃ヲ知ルコト困難ナリ例ヘハ招商局太古洋行及怡和洋行ノ如キ數十年間業務ヲ營ミ社會ノ信用厚キ會社ノ運賃ハ比較的高率ニシテ新設會社ハ是等ノ會社ト競争スルニハ勢ヒ割戻金ヲ多ク與ヘサル可ラス又鴻安洋行及麥邊洋行ノ所屬船ノ如キ小形派船ハ割戻金ノ率ヲ高クセサレハ積荷ヲ得ルコト難カル可シ又獨逸人ノ經營ニ係ル美最時及瑞記ノ二洋行ハ表面運賃ノ率ヲ低カラシメ之レニ加フルニ割戻金モ多キカ故ニ運賃最低ナリト云フ之レ畢竟創立ノ日尙ホ淺クシテ止ムヲ得サルニ出ツト雖モ獨逸人ノ企業心ニ富ミ且如何ニ航海事業ノ擴張ニ熱心ナルカチ察スルニ足ル可シ前記ノ如キ事情ヨリ運賃ニ高低ノ差ヲ生スルノミナラス輸出荷ニ比例シテ出港船舶ノ多寡等ヨリ起ル種々ノ原因ニ制セラレ變動常ナシト雖モ要スルニ招商、怡和及太古三會社ノ運賃ヲ最高トシ商船會社之レニ次キ鴻安及麥邊ノ二會社又之レニ次キ美最時及瑞記二會社ノ運賃最低ナリト云フ

一、四川省内楊子江ノ支流及航行區域、目下楊子江派船航路ノ最終點ハ宜昌府ニシテ之レヨリ上流百哩間ハ急流ニ妨ケラレ之レニ打勝ツト頗ル困難ナレトモ一度四川省ノ境ヲ越ヘンカ既ニ述ヘタルカ如ク水面平カニシテ叙州ニ至ル二百哩間ハ航行容易ナルノミナラス其支流タル派江、嘉陵江及涪陵江ハ長サ何レモ一千哩以上アリテ同省ノ首府成都ハ派江ノ水流ニ由リテ貨物ヲ集散シ嘉陵江ハ涪州及照化府ニ至ルマテ舟楫ノ便アリテ溢水ノ時ニ際シテハ陝西省洛陽ニ至ルマテ小舟ヲ通スト云フ又烏江ニ於テモ淺底ノ船ハ遡リテ貴州省思南府ニ達スルコトヲ得可シ其他沱江、綦江及赤水等ノ支流何レモ舟楫ノ便アリ且四川省ハ清國ノ富源トシテ夙ニ世人ノ知ル所ナルヲ以テ此地方ニ航海事業ヲ擴張シ他國ニ先ンシテ自國ノ國旗ヲ懸スハ直接間接ニ利益スルコト勘ナカラサル可キモ各國未ダ此處ニ手ヲ下サ、ル所以ハ鐵工所ト信賴ス可キ金融機關ノ設置ナキカ爲メナリ若シ一朝此地方ニ鐵工所ノ設置アランカ一々危險ヲ冒シ且空シク時日ヲ費シテ修

繕ノ爲メ汽船ヲ上海ニ送ルノ必要ナキヲ以テ各國ハ競テ此處ニ航路ヲ擴張スルニ至ル可シ目下叙州又ハ重慶府等ニ鐵工所ヲ設クルハ材料ノ運搬ニ困難ヲ感ス可キモ將來清國ノ鐵道事業ハ着々歩ヲ進メ西安ヨリ渭水ノ谷ヲ沿フテ嘉陵江ノ上流ニ出テ該河畔ヨリ線路ヲ重慶府ニ延長シ又ハ漢陽ヨリ楊子江ノ流ニ沿フテ線路ヲ重慶府ニ延長スルニ非ンハ佛國ノ計畫ニ係ル雲南鐵道ヲ延長シテ叙州ニ至ラシムルハ遠キニ非サル可シ今ヤ企業家ハ此形勢ヲ利用シテ他國ニ先ンシテ此地方ニ根據地ヲ得ルノ計畫ナカル可ラス

一、湖南及湖北兩省ノ三支流、湖南湖北兩省ニ於テハ漢水、沅江及湘江ノ三支流アリテ沅江ヲ除クノ外何レモ長サ一千哩ニ達セリ漢水ハ漢口ノ西北部地方即陝西甘肅兩省ニ對スル貨物分配ノ通路ニシテ同港ニ輸入スル貨物ノ凡三分一ハ此通路ニ由リテ西安府及蘭州府ニ向テ輸送セラルト云フ

一、漢水ノ航路、漢水ハ漢陽府ヲ去ル五百哩ノ上流ニ位スル老河口ト稱スル所ニテ夏時増水ノ時ハ水深四呎冬期ハ二呎内外ナルヲ以テ民船ハ容易ニ遡達スルコトヲ得可シ然シ春冬減水ノ頃ニ際シテハ大形ノ民船ハ吃水三呎乃至四呎ヲ有スルヲ以テ樊城以北ニ遡ルコトヲ得サルニ由リ積載貨物ハ小形民船ニ轉載シテ上流地方ニ運輸スル習慣ニテ吃水一二呎ヲ有スル民船ハ老河口ヨリ西方凡二百五十哩ヲ去ル漢中府マテ又北方ハ凡二百四十哩ヲ去ル龍駒塞マテ遡ルコトヲ得可シ而シテ運賃ハ漢口ヨリ老河口マテ二百擔積民船一艘ニテ普通百二十五弗内外ナレトモ河水ノ増減船舶ノ多寡等ニ由リ一定ノモノニ非サルナリ老河口ハ人口十四萬内外ヲ有スル市街ニテ途中樊城(人口凡十萬)及襄陽(人口凡四萬)等ヲ經テ漢口ヨリ日數凡ソ四五週間ニテ達スルコトヲ得可シ目下漢水ノ下流ニ航路ヲ開キタル汽艇二十三艘アリテ其内重ナルモノハ春和公司所有ノ平安、紫雲、飛雲及寶源ノ四艘トス此等汽艇ノ航行區域ハ漢口ヨリ仙桃鎮、蔡甸ヲ經テ漢川ニ至ルマテ約百哩間トス

一、湘江ノ水路、運河及津醴鐵道、湘江ハ湖南省ノ中央ヲ貫流スル大河ニシテ其上流ハ廣西省内西河ノ支流ナル桂江ノ上流ト運河ヲ開鑿シテ連絡ヲ通シ同省ノ首府桂林府ハ桂江ノ上流カ運河ト連接スル所ニ在リ故ニ湘江ハ湖南省ノ貨物集



他ナシ古來各地間ノ交通ハ主トシテ江河ノ助ケヲ籍リタルニ依ラスンハアラス故ニ陸路ハ次第ニ荒廢シテ大道ト稱スル所スラ車馬ノ交通甚シク困難ヲ感スト云フ之レニ反シテ江河ノ流域ハ大小ノ運河恰モ蛛網ノ如ク縱橫連通シ水路交通ノ頻繁ナルコト世界中清國ニ及フ所ナク之レニ使用スル大小數萬ノ船舶ハ貨物ノ集散權ヲ壟斷シタリシモ長江ニ汽船ノ航路ヲ開始シ其數ノ増加スルニ從ヒ民船ハ殆ント其優劣ニ堪ヘサルモノ、如ク漸次其影ヲ滅シテ内河ニ潛伏スルニ至レリ内河航路ニ關シテモ汽艇ノ航行ヲ開始シタル部分ニ於テハ從來ノ船具ニテハ緩慢ニ堪ヘスシテ曳船ニ依賴シ又汽艇ニ便乘スル乘客ノ數日ヲ追フテ多キヲ加フルニ至レルハ畢竟生活ノ程度低ク隨テ勞銀低廉ニシテ時間ノ空費ヲ厭ハサリレ時代ハ既ニ去リテ航海上ニ革命ヲ爲ス可キ時代到着セシ確兆ナルヲ以テ我國ハ大ニ茲ニ注目シ清國內河航路ノ擴張ヲ計ラサル可ラス之レヲ開始スルニ先チ最必要ナルハ水路ノ探險ナリ之レ決シテ容易ノ業ニ非スト雖モ十八世紀ノ初メニ當リ「ゼシユイト」教徒カ十八省ヲ首トシテ滿州西藏ヲ探險シ清國ノ全圖ヲ完成セシニ比スレハ其難易同一ノ論ニ非サルナリ將來我國ノ汽艇カ内河航路ヲ壟斷スルニ至ラハ我生產品モ亦國旗ニ從ヒテ内地ノ市場ニ進入スルニ至ル可ク

一、揚子江ノ流域ニ濱スル都市、揚子江ノ本流及其支流ニ臨ム都市ハ其數一百有餘ニシテ此内既ニ開港セラレタルモノ上海(人口六十二萬)、鎮江(人口十四萬)、南京(人口三十萬)、蕪湖(人口九萬二千餘人)、九江(人口六萬二千餘人)、漢口(人口八十五萬人)、岳州(人口二萬人)、沙市(人口七萬三千人)、宜昌(人口三萬五千人)及重慶府(人口三十萬人)ノ十ヶ所ニシテ其人口總計凡二百五十萬人ニ垂ントシ該開港場ノ内上海及岳州ノ外何レモ揚子江ノ本流ニ沿ヒ上海ハ其支流タル黃浦江ニ臨ミ吳淞口ヲ去ルコト十二哩ノ上流ニ在リ吳淞口ハ黃浦江ノ揚子江ニ注入スル所ニシテ兩江ヨリ流レ來ル泥濘自然ニ淮積シテ暗州ヲ形クシ其深サ河水ノ乾涸、潮水ノ干滿、風力ノ強弱等ニ由リ同一ナラサレトモ大凡十六呎乃至二十四呎ナルヲ以テ大船ノ出入ニ便ナラス之レカ爲メ上海ノ貿易ニ一大障害ヲ與フルヲ以テ浚深ノ計畫アレトモ未ダ實行ニ至ラズ岳州ハ洞庭湖畔ニ在リ開港ノ日尙ホ淺キヲ以テ貿易額他港ニ及ハサルモ背後ニ湖南ノ富源ヲ控ユルヲ以テ將來有望ノ地タルヤ疑ヲ容ル可ラサルナリ其他昨年締結ノ英清條約ニ由リ開カレタル三市街アリ第一ハ安徽省ノ首府安慶府ニシテ

九江ト蕪湖トノ中間ニ位シ揚子江ノ支流ニ沿ヒ同省ニ於ケル貨物集散點トシテ好適ノ地タリ第二ハ湖南省ノ首府長沙府ニシテ我湖南瀛船會社ノ航路ヲ開始セントセル所ナリ第三ハ四川省萬縣ニシテ宜昌府ノ上流凡百三四十哩ノ處ニ在リ沿岸水深クシテ船舶ノ繫留ニ便ナリト云フ同地ハ綿布工業ノ盛ナル地ニシテ紡績ホノ消費額多ナリト云ヘハ我國ト貿易上ノ關係密接ナル所ナルヲ以テ新業ニ志アルモノハ必ス視察ヲ遂ケ將來ノ計畫ヲ爲ス可キナリ

一、長江流域ノ人口、長江ノ流域ニ沿フテ住居スル人民ハ其數一億萬ニ下ラスシテ其本流及支流ニ由リ貨物ヲ集散セラル可キ區域ハ大凡四川省ノ五分、四、雲南省ノ十分、一、湖北全省貴州省ノ二分、一、湖南省ノ五分、四、江西省ノ三分、二、甘肅省ノ五分、一、陝西省ノ二分、一、河南省ノ二分、一、安徽省ノ五分、四、江蘇全省浙江省ノ二分、一ニシテ該區域ノ人口二億有餘萬人ニシテ支那本部即十八省ノ人口ニ比シ大凡三分、一ニ相當シ之レヲ他國ノ人口ニ比スレハ露國ノ二倍、合衆國ノ二倍半餘、獨逸ノ三倍半餘、埃國ノ四倍餘、日本又ハ英國ノ四倍半餘、佛國ノ五倍餘及伊國ノ六倍餘ニ相當セリ長江ノ集散區域ニハ此ノ如ク驚ク可キ多數人民ノ住居スルアリト雖モ民度未ダ低キヲ以テ輸出入品ノ額至テ少シ

輸入額

漢口	岳州	沙市	宜昌	重慶
千八百九十七年	千八百九十八年	千八百九十九年	千九百年	千九百一年
八四三、九七七	七九六、六八二	一、〇七五、一七六	一、三九七、〇八一	一、五八八、四九六
六、五七〇、〇一一	四、〇二二、二一一	一、五九七、七三七	五、六一一、一七九	一、一〇〇、〇一六
四、八四八、八	三、三七八	七、二五一	三、三三三、八三六	五、五七三、三三三
.....	.....	.....	七、六九七	一、〇一〇、〇〇〇
一、六七一、三三一	一、六〇一、九七一	二、二六六、八七七	一、六七四、三三六	二、五八五、五五五
.....	.....	.....	.....	一、〇〇、〇〇〇
.....	.....	.....	.....	一、〇〇、〇〇〇
.....	.....	.....	.....	.....

省	千八百九十七年	千八百九十八年	千八百九十九年	千九百年	千九百一年	平均
九江	六五三,三二一	六八五,七八三	七九四,四七一	七〇〇,一〇一	八三六,八五六	七三一,五〇五
蕪湖	三七〇,〇七一	三九三,四二〇	六四九,六六八	五九七,六四三	五八五,二四〇	五二七,六六六
南京	.....	.....	六二九,三三三	一四三,九七〇	一七九,六四六	一三六,二一六
鎮江	三三二,八四九	三三六,八八四	一四九,五八二	一三六,五三三	一六三,七一五	一五〇,一七四
上海	三二,七五五	二九四,六五〇	三八八,三九五	三六七,六一二	四六四,三三七	三六〇,五三七
合計	八一五,六一四	七七三,〇〇一	一〇五,三七七	九六,七六八	一四六,〇三〇	九七,〇〇五
全輸入額	一〇四,四四三	二七六,九七五	二〇〇,〇七二	三三三,二八八	二〇〇,七三三	二四一,九七五
全輸入額ニ對スル比例	四〇	三六	三七	四三	四〇	四〇
輸出額	千八百九十七年	千八百九十八年	千八百九十九年	千九百年	千九百一年	平均
重慶	六五三,三五八	五八八,七七一	八八三,七五五	六九四,〇七	六二四,九七六	六三三,六六一
宜昌	四三三,九八〇	五〇〇,四三三	六三三,八一〇	六九八,八八八	八五六,三三八	六六八,五四
沙市	一〇三,三三〇	九八,八八	一五九,六六	一七,七九	三三,九八	一〇,六一
岳州	.....	.....	.....	.....	.....	一五,三二
漢口	二四四,〇六二	三〇九,五七一	三六四,三九五	三三〇,六九六	二九三,七三四	三〇〇,七〇六
九江	七〇〇,五七六	八七,七六〇	九〇,四一〇	八〇,六一	七五,八五三	七六,八〇七
蕪湖	三三三,三三三	四〇七,〇八一	一〇六,八三三	九七,四四一	五五,六八五	六六,三七六
南京	.....	.....	一五,四四三	一七,〇二四	三二,一五七	一〇,九八五
鎮江	五〇,六七三	四二,二四三	三九,五五五	四〇,六二〇	五〇,三三三	四三,三七八

上海 五九,一六,三七六 四七,九八,〇二五 七〇,八三,三四四 五〇,三三,七三六 六二,五三,〇一一 五八,一五,三三九

合計 一〇四,四四三,〇〇〇 一〇一,四八八,六六一 一二一,九〇八,八七五 一二三,七三四,三〇四 一三三,〇五五,五五五 一二七,四四〇,六三六

全輸出額 三二七,三三〇,〇〇〇 三三〇,三三三,三三三 三二五,一三三,三三三 三三三,三三三,三三三 三三三,三三三,三三三 三二五,三三三,三三三

對スル比例 四七 四五 四八 四九 四六 四七

前表ニ由レハ長江沿岸ノ輸出入額ハ輸入ニ於テハ全額ノ四割輸出ニ於テハ全額ノ四割七分ニシテ之レヲ集散區域内ノ豫定人口ニ配當スルトキハ輸入額ハ一人ニ付四夕七分九厘輸出額ハ五夕八分八厘ニ相當セリ又更ニ清國ノ全輸入額ヲ人口ニ配當シ之レヲ各國ノ輸入額ニ對スル人頭割ト比較スルトキハ左ノ如ク

一、各國ノ輸入額ニ對スル人頭割

國名	人口	輸入ノ年	輸入額	人頭割
墨西哥	一三,四五五,四六一	一三〇一	五,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇	四,一〇〇
佛蘭西	三六,八七一,三三三	一三〇〇	一,一八三,〇〇〇,〇〇〇	四,一〇〇
獨逸	五三,三三三,〇〇〇	一三〇〇	二,二二二,〇〇〇,〇〇〇	四,一〇〇
瑞典	五,三三三,〇〇〇	一三〇〇	一,一八三,〇〇〇,〇〇〇	四,一〇〇
諾威	二,三三三,〇〇〇	一三〇〇	一,一八三,〇〇〇,〇〇〇	四,一〇〇
丁抹	二,三三三,〇〇〇	一三〇〇	一,一八三,〇〇〇,〇〇〇	四,一〇〇
大貌利頓	二,三三三,〇〇〇	一三〇〇	一,一八三,〇〇〇,〇〇〇	四,一〇〇
白耳義	六,八八八,〇〇〇	一三〇〇	二,二二二,〇〇〇,〇〇〇	四,一〇〇
瑞西	三三,三三三,〇〇〇	一三〇〇	一,一八三,〇〇〇,〇〇〇	四,一〇〇
和蘭	五,三三三,〇〇〇	一三〇〇	一,一八三,〇〇〇,〇〇〇	四,一〇〇
國名	人口	輸入ノ年	輸入額	人頭割

葡 萄 牙	8,200,000	1,200	12,375,000	1,500
合 衆 國	7,335,000	1,201	12,375,000	1,500
伊 太 利	3,100,000	1,200	5,750,000	1,000
西 班 牙	1,800,000	1,200	3,400,000	1,200
埃 地 利 亞 匈 牙 利	4,701,300	1,200	8,500,000	1,200
巴 西	1,700,000	1,200	2,500,000	1,200
土 耳 其	2,330,000	1,200	2,600,000	1,200
日 本	4,550,000	1,201	7,250,000	1,200
露 西 亞	10,150,000	1,201	20,150,000	5,700
清 國	23,800,000	1,201	40,700,000	1,000
		1,200	101,500,000	0,500

一、日清兩國ニ於テ輸入額増加ノ比例并ニ長江沿岸各江津場ニ於ケル我商人ノ情態、前表ニ由レハ清國ハ千八百九十年ニ於テ人口一ニ對シ輸入額五拾錢ニシテ我明治十二年頃ト同一ナリシカ千九百一年ニ至リ壹圓ニ膨脹シ我明治二十年頃ト同一額トナレリ即清國ハ十ヶ年ニ二倍ノ膨脹ヲ爲シ我國ノ輸入額ハ明治二十年ヨリ起算スレハ六ヶ年ニ二倍ノ十六ヶ年ニ六倍セリ是ヲ以テ看レハ清國ノ貿易額モ内地ノ開發スルニ從ヒ益々昂進ス可キコト明ナルヲ以テ我貿易業者ハ眼前ノ小利ニ眩セス遠大ノ計畫ヲ立テ世界ノ一大市場ニ對シテ我商權ヲ擴張セサル可ラス清國ハ由來我國ト關係深ク風俗習慣等ニ至ルマテ相類似セルニモ係ハラス商權發微シテ振ハス常ニ不景氣ヲ啣テ空シク幸運ノ到ルヲ待テツ、アル間ニ市場ハ歐米品ニ奪ハレ我商品ハ益々悲境ニ沈淪稍モスレハ市場ヨリ驅逐セラレントスル所以ハ他ナシ我國ノ商人等カ

(一)進取ノ氣性ニ乏シキ事  
(二)小成ニ安スル事  
(三)團結心ニ乏シキ事  
(四)商業上ノ德義ヲ重セサル事  
(五)投機的虛榮心ニ驅ラル、事  
(六)耐忍力ニ乏シキ事  
(七)獨立自營心ニ乏シキ事  
(八)企業心ニ乏シキ事  
(九)資本ニ乏シキ事  
(十)商品ノ研究ヲ怠ル事

等ニ基因セスンハアラス上海ノ如キ本邦人ノ居留スルモノ二千八二垂ントスレトモ歐米人ト軒ヲ並ヘテ商業ヲ營ミ普ク信用アル商店ハ十指ヲ屈スルニ足ラス他ハ雜貨ノ小賣ヲ爲シテ糊口ヲ補ヒ又ハ不生産的ノ料理屋兼賣者屋等ヲ開キテ凡夫ヲ迷ハシ暴利ヲ貪ルモノニ非レハ洋妾トナツテ出世ヲ街フ醜業婦等ニシテ昔ハ三大鎮ノ一ト稱セラレ今ハ天下ノ一大市場ヲラントスル漢口ニ於テヌラ大阪商船會社ノ支店及三井物産會社ノ出張店ノ外本邦人ノ開キタル商店トシテ見ル可キモノナク昨年迄ハ東肥洋行ノ支店アリテ日本雜貨ノ取繼及小賣等ヲ營ミシモ本年一月二日燒失セシヨリ以來日本貨物ニ關スル貿易權ハ概テ清國人ノ手裡ニ歸セリ九江港ニハ快安洋行ト稱スル本邦人商店一軒アリテ數多ノ民船ヲ借り入レ内地ニ向ケ貨物ノ運漕ヲ爲シ條約ヲ楯トシテ釐金稅ヲ免レ之レニ由リテ口錢ヲ取ルノ業務ヲ營メリ鎮江及南京ニハ本邦人ノ開キタル商店ナク蕪湖ニハ一軒ノ雜貨店アト云フ又蘇州ニハ我專管居留地内ニ日本人ノ雜貨店一軒アレトモ之レカ賣上ケノ利益ノミニテハ翁媪兩人ノ生活ニヌラ困難ナルヲ以テ傍ラ旅人宿ヲ兼業セリ杭州ニモ旅人宿ヲ兼業セル一軒

ノ雜貨店アリテ店頭ニ飲食物、手巾、石鹼、化粧品等ヲ陳列シアレトモ同地稅關長秘書官ノ語ル所ニ由レハ開店以來一回モ稅關ニ輸入申告書ヲ提出シタルコト無シト云フ如斯微々タル商業ヲ爲スハ本邦人ト清國人トノミニ限レ如ク其結果本邦人及清國人ノ取扱ニ關ハル商品ハ概ネ稅關ニテ開查セラレ嚴重ニ檢査ヲ執行セラル、ノミナラス正當ノ價格ヲ申告スルモノ少ナキニ由リ申告價格ハ凡テ虛偽ノモノト看做サレ市價ヲ基礎トシテ算定シタル評價價格ヲ付セテ時間ヲ空費シタル上商品ヲ競争者ニ見ラレ間接ニ不利益ヲ招クノミナラズ往々評價ノ誤リヨリ生ズル過當ノ税金ヲ負擔スルコトアリ又假令稅關ハ無事ニ通過シタル場合ニ於テモ見本ト異ナリタル物品ヲ送リテ顧客ノ意ヲ害シ甚シキハ取引ノ拒絕ヲ受ケ果テハ投ケ賣リヲ爲スコトアリ或ハ契約ノ時機ヲ誤リ或ハ粗製濫造品ヲ賣イテ信用ヲ失墜スルモノアリ此等ハ商業的德義ノ欠缺ヨリ起ルモノニテ一朝一夕之レカ矯正ヲ爲スハ至難ノ業ナレトモ當業者ハ自ラ顧ミテ將來謹慎ノ態度ヲ守リ教育家ハ德性ノ涵養ニ勉メサル可ラス又我國ノ商人ハ鎖港ノ夢未ダ醒メサルノ故カ將タ廣ク世界ノ事情ニ通セサルノ故カ端下金ヲ蓄フレハ財產家ヲ氣取り別莊ノ午睡ニ目ノ關ルヲ知ラス一衣帶水ヲ隔ツル對岸ニハ世界ノ一大市場ヲ控ヘナカラ之レヲ歐米人ノ跳梁ニ委スルハ全ク進取ノ氣性ニ乏シクシテ小成ニ安スル所以ナリ間ニハ囊裡ニ銀錢一文モ有セサル輩カ一擲千金ヲ夢ミ虛榮心ニ驅ラレテ渡清スルモノアリト雖モ彼等ハ耐忍力ニ乏シク且一定ノ胸算ナク失敗ニ失敗ヲ重テ遂ニハ無賴漢トナリテ正業ヲ營ムモノ、業務ヲ妨害スルモノアリ稀ニハ戰雲ノ間ニ奔走シ僥倖ニシテ數千金ヲ得レハ忽チ放蕩ニ耽リ幾月ナラスシテ財產ヲ蕩盡シ投機心ノ奴隸トナリ常ニ戰亂ヲ夢ミテ正業ニ就クヲ厭ヒ我商業者ノ名望ヲ失墜スルカ如キ舉動ヲ演スルモノアリ紳士紳商ト稱セラル、輩スラ獨立自營ノ志ニ乏シク一縷ノ視察談一篇ノ報告書ニ信賴シ甚シキニ至リテハ清國奸商等ニ欺罔セラレ清國ノ事情ヲ明ニセスシテ商品ヲ製作販賣スルカ故ニ同業者間ニ於テヌラ相互ニ商品ニ一定ノ價格ヲ付シ一致シテ敵ニ當ルノ法ヲ設ケス個々業務ヲ營ミ或ハ規約ヲ破リテ拔ケ賣リテ爲レ敵ヲシテ其結果止ムヲ得ズ品質ヲ下シ恰モ自殺的ノ商品ヲ製作販賣スル等凡テ對清國貿易不振ノ原因ダラサルハナシ

之レヲ歐米人等カ業務ヲ清國ニ開始スルニ先チ數ヶ年間宣教師等ノ如キ内地ノ事情ニ通スルモノ、報告ニ由リ緻密ニ風俗習慣等ヲ調査シ遂ニ身ヲ挺シテ異域ニ入り或ハ見本ヲ齎シテ之レヲ示シ或ハ永遠ノ利益ヲ圖ル爲メ眼前ノ小利ヲ犧牲ニ供シ商品ヲ競賣ニ付シテ人民ノ嗜好ヲ探リ或ハ競争者ヲ排除センカ爲メ同業者ハ相同盟シテ一時ノ損失ヲ顧ミス商品ノ投資ヲ爲シ敵手ノ破ル、ヲ待チ徐々ニ價格ヲ恢復シ市場ヲ擴張シテ漸々ニ利益ヲ圖ル等刻苦勤勉數十年ノ霜雪ヲ積ミテ大成ヲ期スルト清國商人等カ巨萬ノ財ヲ蓄ヘテ表面空シキカ如ク苟且ニモ安逸ヲ貪ラス旣衣旣食ニ甘シ營々トシテ業務ニ熱心ナルノミナラス團結心ニ富ミ日夜暇アレハ同業者ハ會館若クハ茶館等ニ會合シ策商計畫ニ餘念ナク一度契約ヲ結フコトアラシク固守シテ之レヲ破ルモノナク數萬ノ貸借モ口頭ニテ行ハレ外國貿易ニ練達シタル歐米人ヲシテ一步モ自己ノ商圏内ヲ犯サシメサルハ到底我商人ノ企テ及フ所ニ非ルナリ然ラハ如何ニシテ清國貿易ヲ振興スルヲ得可キヤトハ常ニ實業者カ焦思苦慮スル問題ニシテ幾多先進ノ士ニ由テ解決セラレ又經濟家ニ由テ布疋セラレ政府ハ間斷ナク視察員ヲ出シテ其報告ヲ公ニスルモ未ダ満足ノ効果ヲ奏セス實業者ヲシテ轉々歎聲ヲ發セシムルハ必スシモ此問題ノ至難ナルカ故ニ非スシテ實行スルモノナキカ爲メナリ如何ナル名論卓説モ之レヲ實行スルコト無ンハ空論トナリ清國貿易ノ隆盛ヲ見ルノ時代到ラサル可シ要スルニ一定ノ方針ヲ確立シ經濟界ノ狀態ニ應ジテ着々之レカ實行ヲ勉ムルニアルノミ一、清國貿易振興策、茲ニ參考ノ爲メ小官カ保持スル清國貿易振興策ヲ陳述スレハ左 如シ

(一) 商業學校ノ科程ニ清語ヲ加フ可シ

從來商業學校ニテ教授スル漢文ノ如キハ德育涵養ノ一助トナルコトアランモ商取引ニ就テハ恰モ埃及古代ノ象形文字ト同シク只字形ヲ記憶スルノミニテ對清貿易上實際之レヲ應用シテ意思ヲ通スルコト難ク結局貨重ノ時間ヲ空費シタルト頭チ疲シタル損失ヲ償フニ足ラサル可シ故ニ此ノ如ク時勢ニ適合セサル文學ヲ全廢之レニ代ユルニ清語科ヲ以テシ北清ニテ一般ニ行ハレ且官話トシテ各省ニ通スル北京語ヲ首トシテ上海語、漢口語、福州語、廣東語等ノ如キ實地商取引ニ必要ナル語學ヲ以テスルコト

(二)清國ノ商事ニ精通シタル者ヲ教師ニ聘用スルコト  
 商業學校ハ商事ニ關スル學理ヲ研究スルト共ニ實地商取引ノ方法及價例等ヲ合セテ研究ス可キハ夙トニ世人ノ知ル所ナリ然ルニ教師中實地商業ニ從事シテ清國ノ事情ニ精通スルモノ殆ント稀ナルヲ以テ其薰陶ヲ受ケタル子弟ハ概ネ議論ヲ好ミテ實際商業上ノ事情ニ疎キハ敢テ答ムルニ足ラサルナリ故ニ完全ノ商業家ヲ養成セント欲セハ教師ノ聘用ヲ忽ニス可ラス

(三)組合ノ組織ヲ鞏固ニスルコト

清國輸出品製作及販賣者ハ同業組合ヲ設ケ其基礎ヲ鞏固ニシ且清國ノ要港ニ代理店ヲ設ケ卸賣價格ヲ本邦ニ於ケル代理店ニ於ケルモノトナシ一ニシ如何ナル事情アルモ抜ケ賣等ヲ爲サスハ清國人等カ日本ニ來リテ物品ノ仕入ヲ爲スモノハ運賃手數料丈テ損失ヲ招クニ由リ遂ニ代理店ニテ仕入レテ爲スコト、ナリ清國トノ直接貿易權ハ本邦人ノ手裡ニ歸スルニ至ル可シ

(四)實業者ハ自ラ清國ノ市場ヲ視察スルコト

之レ最緊要ナル問題ニテ是迄清國ノ視察ヲ爲シ其事情ヲ報告スルモノハ領事ニ非レハ官吏ニシテ其報告事項ハ高論卓說滔々トシテ流水ノ如ク一見間然ス可キ點ナキモ借設經濟事情ハ此論說ヲ實地ニ行フ能ハサル場合多シ例ヘハ良質ノ物品ハ必ス需要者ノ嗜好ニ適スト云フモノアラン乎之レヲ否定スルモノアラサランモ其品質ト生産費ヲ連繫シテ評論スルモノナク稀レニ之レアリトスルモ實業家ニアラサルヲ以テ認識ニ陥リ易シ故ニ實業者ハ本邦ニ居テ能辯家ノ皮相的視察談ヲ聽キ「マコレ」的ノ論文ヲ讀マンヨリモ算盤ヲ片手ニ握リ清國市場ヲ視察スルニ如クハナシ其費用ノ如キハ船賃ト通譯者ノ賃錢等ノ如キ臨時費ヲ控除スレハ一日貳參圓ニテ事足ル可シ故ニ別莊ノ一軒代モアレハ清國四百餘州ヲ踏査シテ尙ホ餘リアラン

(五)各愛スル所ノ子弟ヲ出シテ清商ノ丁稚ヲシムルコト

露國海軍ノ今日アルハ彼得帝カ自ラ艦ヲ取テ造船廠工下ナリタルノ賜ナリ將來我商權ヲ清國ニ擴張セント欲セハ實業者ハ最愛ノ子弟ヲ清商ノ丁稚ヲシムルニ躊躇遠慮スルコト勿レ之レカ爲メ團結心、貯蓄心及耐忍力等ヲ養成シテ間接ニ利益ヲ得ルノミナラス一面ニハ清國ニ於ケル商業上ノ組織及商習慣等ヲ調和シ且金融ノ連絡ヲ通シテ商業上ニ企業上ニ容易ニ意志ヲ疎通シ清國ノ資本ヲ利用スルコトヲ得ル等幾多直接ノ利益モ亦尠ナカラサル可シ

(六)居留地外ニ清國人ト雜居シテ店舗ヲ開ク可シ

各港共ニ上海ノ如ク發達シテ清國商人等カ外國居留地ニ移住スルニ至レハ居留地外ニ雜居ノ必要ヲ認メスト雖モ漢口、蘇州及杭州ノ如キハ我專管居留地ノ設ケアルニモ關ラズ漢口ハ貧民窟、蘇州ハ人口稀薄、杭州ハ蓬萊族生シタル平野ニシテ一ノ人家ナク且城内ヨリ數哩ヲ隔テ新ノ如キ專管居留地内ニ店舗ヲ開クモ日本品ハ既ニ清商ノ店頭ニ陳列販賣セラレシ、アルヲ以テ遠キヲ隔テ、言語モ通シ難キ外國人ノ店ニ來ルモノアラサル可シ況ンヤ清國ノ婦女ハ足小サクシテ遠足ニ耐ヘサルカ故ニ可成近所ノ店ニテ物品ヲ購入スルヲ常トス加之清國人ハ土地ノ風俗習慣ヲ熟知シ生活ノ程度モ亦低キヲ以テ手數料ノ率ヲ低クシテ物品ヲ安價ニ販賣スルヲ以テ彼等ト競争セント欲セハ勢也店頭ヲ連テ卸店、小賣店及共同の小賣店即勸工場ノ如キモノヲ開キ可成低利ヲ以テ物品ヲ販賣シ卸店ニテ販賣スルモノハ既ニ述ヘタルカ如ク同業者組合員出張シテ卸賣價格ヲ本邦ニ於ケルト同一ニスルコト此レヲ實行スルニ就テハ居留地外ナルヲ以テ官民共同シテ之レニ當ルハ言ヲ缺カスト雖モ得可シハ國轉運主義ノ商策ニ依ルヲ可ナリトス

(七)清國稅關員ヘ日本品ノ價格ヲ知ラシムル方法ヲ探ルコト

清國稅關員等ハ概ネ歐米人ニシテ偶々日本人アレトモ米國ニテ教育セラレタルモノニ非スハ學生上リニテ日本品ノ價格ヲ知ルモノナキノミナラス檢査鑑定ノ任ニ當レルモノハ凡テ歐米人ニテ價格ノ基礎ヲ歐米品ニ採ルノ習慣アリテ往々不當ノ課稅ヲ受ケルコトアリ本邦人ノ輸入スル場合ニ不當ノ價格ヲ付セラレタル時ハ新條約ニ由リ訴願ヲ提起スルコトヲ得レトモ清國人カ本邦ノ貨物ヲ輸入スル場合ニ不當ノ鑑定ヲ受ケタル時ハ訴フル所ナク眼前ニ損失ヲ招クト雖モ忍テ

輸入ヲ爲シ且清國人等ハ官尊民卑ノ習慣性ヲ有スルヲ以テ稅官吏ヨリ暴々敷叱リ付ケラル、時ハ周章狼狽後日大事ノ起  
 ランコトヲ豫想シ恰モ贖罪金ヲ仕拂フ積リニテ適當ノ税金モ甘シテ仕拂フニ由リ鎖鍊ノ利ヲ爭フ商業場裡ニ於テ本邦唯  
 ノ蒙レル不利尠ナカラサルヲ以テ官民共同シテ(甲)稅關ニ成可多數ノ日本人ヲ採用セシムルコト(乙)清國貿易品製作販  
 賣組合ハ見本貼ヲ製シ又ハ見本品ヲ蒐集シ商業會議所等ヨリ時々稅關ニ送付スルコト(丙)各地ニテ發行ノ商事新聞等ヲ  
 蒐集シ之レヲ稅關ニ寄贈スル等ノ手段ヲ採テサル可ラス

(八) 清國ノ物産及競争品ノ研究ヲ爲スコト

清國人ハ地理的觀念ナキカ故ニ自國ノ物産并ニ各自ニ取扱フ商品ハ何地ニテ生産若クハ製造シタルモノナルヤ正確ニ之  
 レヲ知ルモノハ稀ニシテ假ハハ湖西陝ノ湖南省ヲ經テ漢口市場ニ出ツルモノハ凡テ湖南産ト稱シ貴州ノ產物カ湖南省ヲ  
 經テ出ツルモノハ湖南産ト稱スルカ如シ且輸入品ノ消費地モ南方又ハ北方等漠然ト其輸送スル方向ノミヲ知ルニ止マリ  
 内地ノ何レノ地方マテ轉送セラル、ヤ知レモノナキニ由リ本邦ノ商業組合又ハ團體員ハ清國ニ出張シテ清國製品ノ意匠  
 形狀物質等ヨリ生産若クハ製造ノ地方及本邦品ノ消費地ヲ調査シ其地ト直接貿易ヲ爲スノ方法ヲ講シ同時ニ外國製品カ  
 本邦製品ニ及ホス影響換育スレハ其品質ノ優劣又ハ市場ニ適不適ノ模様等ヲ比較的ニ研究シ其長ヲ採テ我短ヲ補ヒ品質  
 價格及技術等ノ點ニ於テ全ク外國品ト競争シ能ハサルモノアラハ之ニ對スル措置ヲ爲サ、ル可ラス

(九) 隊商組織ヲ爲シテ清國ノ内地ヲ跋渉シ我製品ヲ廣告スルコト

何レノ世ニカ暴民ナカラシヤ況ンヤ清國ノ内地ニハ完全ノ警察制度ナキヲ以テ往々危險ノコトアリテ湖南省ノ旅商カ貴  
 州省ニ阿片ヲ仕入レニ行ク時ノ如キハ五人乃至十人隊ヲ組ミテ護身器ヲ携帯スト云フ本邦ノ組合員又ハ商業團體ハ此法  
 ニ倣ヒ五人乃至十人隊ヲ組ミテ各代表スル組合ニテ製作販賣スル物品ノ見本ヲ携帶シテ内地ヲ旅行シ商品ノ廣告ヲ爲ス  
 ト同時ニ各地ノ市場、生活ノ程度、人民ノ風俗習慣嗜好及意匠等ヲ調査シ且本邦品ノ仕入方法例ハ最近ノ開港場ニ卸  
 店ヲ設ケタル場合ニハ内地ノ大市場ニ見本品ノ廣告及注文取繼ノ爲メ組合員ヲ駐在セシムルモ亦可ナリ

(十) 清國ニ工場ヲ設置スルコト

本項ハ最必要ノ問題ナルト同時ニ至難ノ問題ナリ湖北省ニハ張之洞ノ設置ニ保ル工場アリシカ不利益ノ結果廣東人ニ引  
 續ク蘇州ノ紡績所モ屢々業務中止ノ非運ニ遭遇シ杭州及上海ノ紡績所織布局等又困難ニ陥リタルコト幾度ナルカ知ラ  
 ス故ニ世人ハ清國ニ工場ヲ起スハ恰モ賭博ヲ爲スカ如キ考ヲ抱クモノ無キニ非スト雖モ之レ全ク清國ノ事情ニ適セサル  
 カ爲メナリ從來清國ニ於ケル工場ノ非運ニ陥リタルハ(一)役員等カ私利ヲノミ謀ルニ汲々スリシコト(二)工場ノ比例ニ  
 役員數多アリシコト(三)職工ノ指揮監督ニ慣レサルコト及(四)職工ノ遊惰ニシテ且工業ニ不熟練ナルコト等ニ基因セリ  
 一例ヲ擧グレハ上海華商製紙場ノ如キ日本人ノ管理ニ移リシヨリ以來相當ノ利益アリテ非運ニ挽回セリ殊ニ清國ノ職工  
 等ハ性質懶惰ナリト雖モ之レニ代ユルニ耐忍力ヲ有シ且外國人ノ制止ノ下ニハ能ク服從シテ業務ニ安シ勞録モ我國ニ比  
 スレハ稍低ク加之金利モ亦低キヲ以テ清國人等ト協同シテ低利ノ資本ヲ利用スルコトヲ得ハ利益一層多カル可シ但清國  
 ニ工業ヲ興スハ其原料ヲ同國ニ求メ得キモノニ限レリ例ハ綿布類、莫大小類、麻布類、絹布類、石鹼類、玻璃類、紙類等  
 ノ工場ノ如シ茲ニ清國ニ工場ヲ起スノ利益ヲ述レハ(甲)金銀比價ノ差ヲ利スルコト(乙)原料品ヲ安價ニ得ルノ利アルコ  
 ト(丙)製造品ノ運賃、關稅、手數料ヲ減スルコト(丁)勞銀ノ安キコト(戊)金利ノ安キコト等ニシテ其生産品ハ清國ノ市  
 場ニ供スルモノ、外印度地方及南洋等ニ輸送スルモノ、如キモ亦製作ノ利益アル可シ

第一、漢口

一、漢口ノ商業上ノ地位、漢口ハ揚子江ノ上流六百哩ノ所ニ在リ人口凡八十五萬ヲ有シ漢水ヲ挾テ漢陽府ト隣接シ長江  
 ヲ隔テ、武昌府ヲ臨ミ周圍ニハ清國ノ富源ト稱スル兩湖、江西、四川ノ諸省ヲ控ヘ世界ノ大帝國ニ於ケル貨物集散ノ中心  
 ニシテ北方ニハ既ニ若手ノ京漢鐵道アリテ河南省ヲ經テ北京ニ通セントシ南方ニハ米國ノ計畫鐵道アリテ廣東ヨリ湖  
 南省ヲ橫貫シテ當地ニ來ラントス又將來計畫セタル可キ鐵道モ亦必ス地理上及商策上ヨリ當地ヲ中心トナスカ然ラサル  
 ハ同地ヨリ南北ニ通スル兩幹線ト連絡セサル可ラス其曉ニ至レハ鐵水兩路ノ便ヲ籍リテ同階ハ益々發達シ其結果トシテ



上海ノ發達ニ影響ヲ及ボスコト抑ナカラス如何トナレハ上海へ輸入額ノ二割乃至二割三分ハ當港ニ向ケ再輸出  
 ヲ爲シツ、アルヲ以テ此等貨物ノ一部カ後日廣東ヨリ鐵道ニ由リテ同港ニ輸入スルニ至リ且上海ヨリ九江、岳州及重慶  
 ニ分配シツ、アル貨物ノ一部及英國條約ニ由リテ開カル可キ萬縣及長沙ニ輸入スル貨物カ鐵道便ヲ籍ルニ至ラハ上海ニ  
 輸入スル貨物ノ大凡四分一ヲ減スルニ至ル可シ又輸出貨物モ從來長江下リ或ハ北清地方ヨリ上海ニ輸送シツ、アリ  
 モ鐵道完成ノ後ハ其補クニ籍リテ河南、陝西及甘肅各省ノ貨物ハ漢口ニ集中シ四川、江西及兩湖ノ貨物ト共ニ廣東ニ出  
 ツルニ至ル可シ而シテ清國ノ内地ハ益々之レカ爲メ開發セラレ生産力増加シ同港ハ之レニ伴フテ繁榮ヲ來スヤ多言ヲ要  
 セサルナリ然ルニ本邦ノ商人等ハ清國ニ此ノ如キ有望ノ地アルヲ知ラサルカ否知テ而シテ之レニ着手セサルカ未ダ一  
 見ル可キ商店ナキノミナラス將來ノ經營ヲ爲サントスルモノナキハ實ニ痛嘆ノ至リナラスヤ之レニ反シテ英國居留地ニ  
 ハ大層高樓麗平トシテ軒ヲ並ヘ獨露ノ居留地又之レニ接シ經營ニ志リナク護岸工事ノ如キ殆ント間然スル所ナリ近來ニ  
 至リ白耳義モ亦專管居留地ヲ得ントテ京漢鐵道ノ漢口停車場ニ接近シテ土地ヲ買收シツ、アリト云フ然ルニ我專管居留  
 地トハ只名ノミニテ河岸ハ江河ノ浸食ニ委シ土壌崩壞シ土地ノ大部分然カモ河岸ニ沿ヒタル邊ハ概ネ外人ノ所有ニ歸  
 地面ハ英佛獨露ノ居留地經營ノ爲メ放逐サレタル貧民ノ蘆舎ニ充テサレ乞食ト流行病患者ノ巢窟ニシテ國家ヲ表章スル  
 國旗ヲ掲グ可キ本邦人ノ家屋トハ一軒モナシト雖モ位置ハ停車場ト各國居留地及土人街トノ中間ニ在リテ交通ノ要路  
 ニ當ルヲ以テ經營宜シキヲ得ハ製造所ヲ起スモ可ナリ況ンヤ漢口ノ市街ハ一面漢水ノ上流ニ向テ  
 擴張ヲ爲スト同時ニ又楊子江ノ下流ニ沿フテ擴張シツ、アルヲ以テ將來我居留地ハ市街ノ中心トナル可キ好位地ニアル  
 ナリ我居留地ヲ通過シ停車場ト土人街トヲ連繫スル電車鐵道等ノ如キ簡易ノ交通機關ヲ備フル如キハ我居留地經營上  
 欠ク可ラサル事業ノ一ナラン平免モ角經世家及事業家ハ閑ヲ得テ足テ長江沿岸ニ向ク可シ假令速ニ着手ス可キ事業ナキ  
 ニモセヨ洋々タル江河ノ水ハ百年ノ齡ヲ伸フルニ足リ茫々タル沃野ハ壯圖ヲ養フニ足ル可シ

一、漢口ニ於ケル工場、目下漢口ニ於ケル工場ハ燐寸製造所爲國人所管ノ磚茶製造所アリ燐寸製造所ハ參拾

萬兩ノ資本ヲ以テ設立シ職工凡千二百人ヲ使役シ一日平均四十二三萬箱ヲ製出スト云フ外箱ハ我國ニ於ケル如ク市内ノ  
 貧民窟ニ材料ヲ配付シテ出來高ニ付手數料ヲ交付スルモノニテ其方法我國ト稍々異ナルハ商標及藥品ニ至ルマテ外箱ノ  
 材料ト共ニ交付シ會社ニ戻リ來ルトキハ完成ノ箱ニナリ會社ニテハ之レハ只裝藥輸木ヲ請メルノミナリト云フ又磚茶製  
 造所ハ主トシテ原料ヲ江西省ヨリ輸入ス其方法ハ九江ニテ輸入稅ヲ支拂ヒ當港ニテハ擔保ヲ提供シテ假輸入ノ手數ヲ爲  
 シ製茶ヲ輸出シタルトキ再輸出ノ手數ヲ爲シテ義務ノ解除ヲ得ルモノトス再輸出ヲ爲ス製茶ハ毎年凡百貳拾萬兩ニシ  
 テ輸出スル各種ノ茶ハ八百萬兩乃至壹千貳百萬兩ナリ其他數ヶ所ノ蛋白質製造所アリ多クハ獨逸人ノ設立ニ係リ重モニ  
 家鴨卵ヲ原料トシテ使用ス其價格一個六七厘ニテ一千個ヲ消費シテ凡蛋白質八封度ト蛋黃五十九封度ヲ得ルト云フ之レ  
 ナ製スルニハ最初蛋黃ヨリ蛋白質ヲ分離シ之レヲ蒸餾製ノ淺キ盆ニ注キ熱ヲ與ヘテ蒸發セシメ薄片ニ製シ蛋黃ハ防腐劑  
 ナ加ヘテ樽詰トナシテ輸出スト云フ同港稅關長ノ語リシ處ニ由レハ近來獨逸ニテハ化學ヲ應用シテ蛋白質ヲ製スルニ至  
 リ價格低廉ニシテ卵白ト品質上差異ナキヲ以テ卵白ノ需要頓ニ減シ蛋黃製造者ハ損失ヲ來シ追々閉店スルモノアリト云  
 フ

一、漢陽府ノ工場、漢陽府ニハ製鐵所及兵器製造所アリテ何レモ張之洞ノ管理ニ屬シ製鐵所ハ一千八百九十二年ノ創立  
 ニ係リ翌年一月七日ヨリ業務ヲ開始シタルヨリ以來引續キ大冶鐵礦ヲ原料トシテ製鐵ニ從事シ「ベスマー」式溶鑪爐ニ基  
 ナ備ヘ現今曲鐵及京漢鐵道用ノ軌條ヲ製作シツ、アリシ、兵器製造所ハ原料ヲ獨逸ヨリ取り毎日平均新式小銃三十挺及  
 日經四十七「ミリ」又ハ五十七「ミリ」ノ野戰砲一挺宛ト「ニッケル」包被小銃彈及砲彈等ヲ製作シツ、アリ此兩工場ニ使用  
 スル原料ノ内小銃ノ臺木及石炭ハ我國ヨリ供給シツ、アリ

一、武昌府ノ工場、武昌府ニハ「アンチモニー」精煉所、鑄貨局、線糸局、製麻局、織布局及紡績所等アリ安質母尼ハ湖南ヨ  
 リ發掘シ民船ニテ運搬シ來ルモノヲ精煉スル所ニテ千九百年ニ七萬担翌千九百一年ニ五萬五千担ヲ精煉シタリト云フ鑄  
 貨局ハ湖北弗鐵、小鋼貨及銅貨ヲ鑄造スル所ニテ銅貨ノ原料ハ重モニ住友銅ヲ使用シ居タリ線糸局ハ湖北產ノ黃色蠶

元料トシテ使用シ二百鎊ヲ備ヘ職工ハ皆女子ニテ一日ノ賃錢小錢百文乃至三百文ナリト云フ而シテ上等繭ハ糸ノ長サ千五百呎内外アリテ一石ノ糸量凡七百匁ニシテ普通一百斤ノ糸ヲ得ルニハ乾燥繭三百六七十斤ヲ要シ乾燥繭一斤ノ價格ハ昨秋二百六十文乃至三百六十文ニテ買入メリト云フ同地ノ農務學堂ニテ飼養シタルモノハ成績好ク糸ノ長サ二千三百呎アリテ一石ノ糸量一貫一百匁内外ニテ得ルニハ乾燥繭二百三四十斤ニテ足リシニ由リ隨テ價格モ高ク一斤五百文ニテ買入レタルニ絲質及色澤等普通品ニ優レリト云フ湖北省ニ於ケル繭ノ主産地ハ河陽、漢川及嘉興等中心ニテ繭種ノ重ナルモノハ新圓、新長、踏桂、蓮心等ナリ新圓ハ我國ニテ大圓頭ト稱スルモノナリト云フ製麻局ハ麻布及絹麻交織布ヲ製スル爲メ貳拾萬兩ニテ獨國ヨリ機械ヲ購入シ未ダ全ク据付テ終ラズ箱入ノ儘屋內所々ニ放置シタリ据付タル部分ニテ試驗シタル成績ヲ見シニ麻皮ヨリ紡績シテ糸ニ製シ幅三十五六吋ノ織物ヲ製スル各種ノ機械ヲ備付シ湖南省ハ無限ニ苧麻ヲ産スルニ由リ製品ノ販路ヲ見出スコト得ハ將來有望ノ事業ナラン乎紡績所ハ鐘數四萬八千九百餘ヲ備ヘ原料ハ主トシテ湖北綿ヲ使用シ小官視察ノ當時ハ一萬五千鍾ヲ運轉シ居タリ織布局ハ機一千臺ヲ備ヘタルモ其内五百臺ヲ運轉シ一晝夜ニテ織出ス高ハ生金巾六百反ニテ縱橫共十四番ノ糸ヲ用ヒ上中下三等ニ分テ上等品ハ手障リ柔カニシテ色白ク地質厚クシテ頗ル美麗ナリ重ナル需要地ハ四川省ナリト云フ紡績所及織布局ハ何レモ男工ノミニテ其賃錢及製品ノ價格等詳シク質問シタルトモ要領ヲ得サリ

一、家族的工業、土人ノ家族的工業ノ重ナルモノハ漆器、錫器、銅器、黃銅器、吸煙器、爆竹、線香、絹絲系、緞、レ、ス、綿布、磚炭、靴、扇面、帽子、傘等ノ製造及染業等ナリ漆器ハ品質粗造ナレトモ堅固ニテ寄木ノ盆ハ同藩ノ特産ナリ錫器ハ重モノ佛具ニシテ銅器ハ厨具及家具類ナリ黃銅器及白銅器ハ吸煙器具最モ多ク絹絲系ハ湖北産ノ英糸ニテ製シ其製法ハ至テ古風ナレトモ最初ハ絲ヲ撚リテ三四尺周リノ縲ニ作り直徑二吋位ノ磨キタル竹竿ヲ横ヘ之レニ縲ヲ通シ竿ノ兩極端ヲ柱ニ固定シタル後一人ハ竹ニ滑ナシテ縲ヲ牽引シ糸ニ光澤ヲ付シ同時ニ二人ハ鐵皿ニ柄ヲ付シタルモノハ油ヲ注キ之レニ火ヲ點シテ縲ノ下ニ保チ糸毛ヲ燃クコト恰モ瓦斯機キノ工程ニ異ナラス斯クシテ製シタル絲ハ光澤アリテ頗ル

美麗ナリ緞、レ、スハ北清ノ視察ニモ述ヘタル如ク清國ニハ需要多ク廣東ヨリ輸入スルモノ多ケレトモ當地ニテモ所々ニ二三臺宛ノ機ヲ据ヘ織成スルヲ見ル其方法ハ絞引キヲ掛ケ一筋織ナリ綿布ハ所謂土布ニテ幅長サ共ニ一定スセ傘ハ紙製ニテ桐油ヲ塗リタルモノナリ染業ハ靛、淺黃及蒨黃ノ三種ニテ紺及淺黃ハ當地ノ附近ニテ耕作スル藍ヲ泥狀ニ製シタルモノヲ用ニ藍ハ北清ニテ産スルモノハ Indigo Polygonum ナレトモ當地ニ産スルモノハ Indigo Tinctoria ニテ之レヲ泥藍ニ製スルニハ石灰ヲ混スト云フ之レニテ紺染ヲ爲スニハ二三度布巾ヲ藍ニ入レテ乾シタル後水ニテ洗ヒ又染メ又洗ヒ深紺色ヲ呈スルマテ幾度トナク此工程ヲ探リ返ヌヲ以テ靛色ノ憂ナシ蒨黃染ハ染汁ヲ製シ之レヲ擔桶ニテ郊外ニ運ビ其處ニ深メ設ケタル直徑四尺高サ一尺五寸位ノ盤様ナル桶ニ入シ之レニテ染メタル布巾ハ傍ヲノ草場ニ擔ケテ干シ乾キタルモノハ又染メ此工程ヲ探リ返ヌトキハ布面ニハ自然ニ表裏ヲ生スルニ至リ然ルトキハ表面ヲ常ニ日光ニ曬シテ干シ水ニテ洗ヒ又染ムルコト紺染ニ於ケルカ如シ

一、漢口ニ出入ノ船舶數及噸數、當港ヘ出入ノ汽船ハ左表ニ示スカ如ク本邦ノ船舶ハ千八百九十九年ニ比シ千九百一年ハ噸數ニ於テ二倍ノ増加ヲ爲シ英ハ年々僅クニ増加シテ、アリ獨ハ千八百九十七年以降五ヶ年間ニ毎年前年ニ比シ噸數及噸數ニ於テ二倍餘ノ増加ヲ爲シテ、アリ獨國カ大西洋方面ヨリ極東ニ至ルマテ銳意航海事業ヲ擴張シテ、アルテ證スルニ足ル可シ

出入汽船五ヶ年間對照表

國名	千八百九十七年	千八百九十八年	千八百九十九年	千九百年	千九百一年
日本	船數 噸數	船數 噸數	船數 噸數	船數 噸數	船數 噸數
英國	六六六 一〇九四五	一四四 一六二六	二九 一三三三	三三 一三〇三	三六 一三〇〇
獨逸	二 二八八	七 四六四	二五 一三三六	二五 一三〇三	四九 一三〇〇

海國 四六六〇八 四八 四三、九三三 五八 四四、四九六 五八 四三、四四一 五八 四三、四四一 五八 四三、四四一 五八 四三、四四一

其他 二五 五、五三三 二五 四、六五四 二五 六、四三三 二五 五、五三三 二五 六、四三三 二五 五、五三三 二五 六、四三三

計 一四一、一六〇、五三三 一、五九七、一六七、三六〇 二、三三四、一七九、〇四一 二、三三四、二、一〇、七三三 二、三三八、二、四六、七三三

一、漢口重要輸入品、本港ニ輸入スル物品ノ内我國ノ生産者クハ製造品ト關係チ有スル物品ヲ拔萃シテ五ヶ年間ノ輸入額ヲ對照スルトキハ左ノ如シ

品名	千八百九十七年	千八百九十八年	千八百九十九年	千九百年	千九百一年
生金	六六、四八一	七六、八二五	五八、九九九	七五、五九六	八七、五三三
天竺布	一三、九六〇	七、七五五	一四、〇〇四	一〇、一八〇	五、五三三
雲齊布	三、三三三	一、〇八〇	一、四四四	一、一五五	八、八八〇
英米	一、七、七〇〇	一、八、九三三	一、三、一七〇	一、四、二五〇	一、八、三三〇
英米	六、四三三	八、四三三	九、〇六六	八、四三三	一〇、〇二八
日米	三、〇三〇	一、四、四〇〇	三、一〇〇	三、六七五	三、〇〇〇
蘭米	.....	.....	.....	.....	.....
日米	.....	.....	.....	.....	.....
綿織	一、九、二五五	一、三、〇八八	一、二、九三三	五、七五五	三、三三三
綿手巾	五、八八五	四、一七〇	六、四四四	五、三三三	六、〇一五
浴巾	五、〇七五	三、〇〇四	三、九〇六	三、三三三	三、〇〇四
綿「フランネル」	.....	.....	.....	.....	.....

品名	千八百九十七年	千八百九十八年	千八百九十九年	千九百年	千九百一年
日本綿布	.....	.....	.....	.....	.....
綿縮	七、六七	四、七一一	三、五一一	三、五一一	三、五一一
綿「フランネル」	二、五八八	四、〇	.....	.....	.....
綿紡績糸	一、七、〇八八	一、三、三三三	一、三、三三三	二、二、〇〇〇	四、三三三
日本絹織交織布	四、〇三〇	三、四六六	三、四六六	三、四六六	三、四六六
海參	.....	.....	.....	.....	.....
鈕釦	三、三三三	六、六六六	三、三三三	三、三三三	三、三三三
樟腦	一、〇	一、一	一、一	一、一	一、一
「セメント」	八、二八八	五、八八八	五、八八八	五、八八八	五、八八八
乾煙	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇
時計類	八、三三三	八、三三三	八、三三三	八、三三三	八、三三三
石炭	一、四四四	一、四四四	一、四四四	一、四四四	一、四四四
貝柱	一、四四四	一、四四四	一、四四四	一、四四四	一、四四四
錫	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三



料ニ使用スルヲ以テ選色スルコト無ク且地質堅固ナルモノハ將來大ニ望ミアリ其精柄及地合等ハ需要地ニ由リ異ナルヲ以テ營業者ハ自ラ其地方ニ就キ調査スルヲ要ス

綿糸、綿糸ハ印度製ニ比シ日本製品ノ増加著シキハ北清ト相異ナリタル現象ナリ之レ畢竟北清ノ都ニ多言ヲ費セシ如ク氣候ノ暖ナル地方ニハ薄地ノ綿布ヲ要スルニ由リ比較的細キ糸ノ需要多キ所以ナリ殊ニ清國人ノ如ク頑迷ニシテ移變チ好マサル性情ノ者ニ對シテハ常ニ先入主トナルヲ以テ一度或ル商標ヲ有スル品ヲ用井成蹟好カリシ場合ニハ他ヲ顧ミサルノミナラス一層優等ノ品市場ニ顯ハル、モ之レカ誠驗ヲ爲サントスル考スラ起サスシテ常ニ同一商標ニ甘スルノ慣習ナルヲ以テ製造家ハ大ニ此點ニ注意シ當初信用ヲ得キ品ヲ製作スルト同時ニ常ニ其品質ヲ下スコト無クシハ顧客ヲ永遠ニ繫キ市場ヲ擴張スルコトヲ得可シ

海産物、鮑、海參、乾蝦、貝柱、鰯、淡菜、蝦及鱈鱈等ノ如キ海産物ノ輸入額増加セサルハ需要増加セサルニ非スシテ内地交通ノ便開ケルト共ニ需要益々昂進ス可キモ此ノ如キ天然物ハ新ニ漁場ヲ發見スルニ非レハ供給ニ制限セラル、ヲ以テ輸入額増加セスレテ價格ハ次第ニ昂進シ之レカ爲メ需要ヲ制限セラル、ニ至ル可シ故ニ重要ノ貿易品トシテ數フルノ價值ナシ

鈕釦、鈕釦ハ我國ノ重要輸出品ナレトモ獨逸品ノ爲メ次第ニ市場ヲ奪ハレントスルノ傾向アルハ恰モ北清市場ニ於ケルト同一ナリ獨逸ハ獨特ノ學理ヲ應用シ意匠ヲ凝ラシテ製作シ益々出テ、益々珍奇ナルヲ以テ需要漸々増加セリ畢竟本品ノ如キ實用ト裝飾トノ二ツヲ兼スルモノハ獨逸品ノ例ニ倣ヒ從來ノ物品ト共ニ新意匠ノ品ヲ製作セサル可ク「レース」、「リボン」及香水、「レース」、「リボン」及香水ハ奢侈品ニシテ民度ノ進歩ト共ニ需要ヲ増加ス可キニ由リ今日ヨリ其製造ヲ獎勵セハ輸出重要品ノ一トナル可シ

燐寸、寸ハ我製品歐州産ノ輸入ヲ殆ント厭倒シタルモ燐寸製品ノ爲メ輸入額増加セス將來此種ノ製造所數多起ルニ至ラハ我國ノ製品ハ一大打撃ヲ受ク可キニ由リ燐寸製造家ハ清國ニ於テ軸木ノ供給地ヲ調査シ若シ我國ノ軸木ナクン

ハ清國製造業ノ發達ヲ爲ス能ハストセハ我國モ亦軸木豐富ナリト云フニ非サルニ由リ同業者組合ヲ設ケ軸木ノ買ヒ占メヲ爲シテ清國輸出ヲ杜絶セシムルカ然ラサレハ競争シ得キ點ヲ價格ヲ高ムルモ亦商策上必要ノ方法ナランカ乎紙、紙ハ將來有望ノ貿易品ニテ教育制度ノ普及ト共ニ教科書印刷ノ原料等ニ多額ノ需要アル可シ殊ニ清國ニテハ清國文字ヲ筆記シ若クハ印刷シタル紙屑ハ惜字箱ナルモノヲ設ケ之レニ投シテ燒棄シ決シテ澱返シ等ヲ爲サ、ルニ由リ需要多カル可シ然リモナラス清國ニテ紙ヲ製スルニ Katsin Papyrofera ノ屬 Brous sonella Papyrofera ノ内皮、藪又ハ竹子原料トシ就中竹ト製トノ二種ヲ原料トナスモノ多シ茲ニ簡略ニ其製法ヲ述レハ「コンソリート」ニテ製シタル水溜メノ中ニ石灰ヲ入レ之レニ割竹及藪ヲ浸シ紙ノ色合ニ應シテ數ヶ月若クハ數年間放置シ晒白シタル後石製ノ轉碎器ニテ碎キ得ル纖維ヲ以テ紙ヲ製スルコト從來我國ニテ行ハレタル澱紙法ニ同シ故ニ純白ノ紙ヲ製スルニハ二ヶ年モ費サ、ル可ラサルニ由リ機械製ト持抗スルコト能ハサル可シ

昆布、昆布ハ海産物中最有望ナル貿易品ニテ供給モ亦饒多ナルニ由リ市場ハ内地ノ開發ト共ニ擴張ス可シ芝罘ニテハ露國品ノ競争アレトモ當港ハ日本産ノ獨占市場タルカ如キ觀アルニ由リ一層製法ニ注意シ競争品ノ侵入ヲ排除セサル可ラス石鹼ハ化粧及洗濯用共ニ本邦製品ノ輸入夥多ナレトモ何分本邦品ハ品質ニ於テ歐米ノ製品ト相隔ルコト遠キヲ以テ北清視察報告ニ述ヘタル如ク品ノ改良最モ必要ナリ

蝙蝠傘、蝙蝠傘ハ他國製品ヲ壓倒シテ進ミツ、アレトモ近來粗製ニ流レ小供傘ノ如キハ運搬中ニ破損ヲ來スモノアル趣キナレハ製造法ニ注意ヲ爲サ、ル可ラス

銃床用木片、ハ漢陽武器製作所ニ供給スル小銃ノ臺木ニテ其輸入額ノ多寡ニ由リ小銃製造高ヲトスルニ足ル可シ一、漢口重要輸出品、當港ノ主メレ輸出品ノ内我國ノ需要ニ供ス可キモノヲ掲ケ三ヶ年間ノ輸出額ヲ對照スレハ左ノ如シ

品名	千八百九十九年	千九百年	千九百一年
豆油精担	五五二六四	八三六四四	五五三三四
黑担	四九五六六	六四九四四	四九四〇九
綠担	一一八二五	一〇九二四	八五三七七
黃担	八〇八三三	一二七五七	五三六六六
其他担	四七六七	一三三六一	一一〇六一
豚毛担	六六九三	一一九六〇	一三〇八九
生綿担	四六六九	三三三九	二七〇六八
生卵個	三三三三六	三三三三〇	一八三三三〇〇
苧麻布担	八五五	六七七	五八一
苧麻(粗)担	五九九	三三三	三三三
牛皮担	一五三三	一四三三	一四三三
甘卯担	一五三三	一四三三	一四三三
桐油担	一五三三	一四三三	一四三三
紅花担	一五三三	一四三三	一四三三
棉種子担	二〇〇九	一四三三	一四三三
胡麻子担	三三三三	三三三三	三三三三
白蠟担	一五三三	一四三三	一四三三

麻類、右諸品ノ内麻類ハ概テ英語ニテ China Grass 佛語ニテ Ranie ト稱スル Boemeria Nivea ノ纖維ニテ我國ニテ苧麻ト稱スルモノナリ

苧麻布、苧麻布ハ其纖維ニテ織リタルモノニテ英語ニテ Grass Cloth ト稱スルモノナリ該府品ハ湖北、湖南兩省至ル所ニ産シ長沙府及湘潭等ハ同品ノ工業最盛ナル地方ナリ

桐油、桐油ハ清國ニテ需要廣キノミナラス近來塗油ノ元料トシテ歐洲ニ輸出スル額夥多ナリ其主産地ハ四川省ニシテ清國市場ニテ白油ト稱スルモノハ一説ニ Elaeooccus 及 Jatropha ト稱スル植物ノ種子ヨリ搾取シタルモノトアリ其色比較的白ク且清淨ニシテ家具及窓ニ塗抹ス歐洲ニ輸出スルモノ之レナリ又臭油(Hsiayu)ト稱スルハ濃厚ニシテ暗黒色ヲ帯ビ船舶用ノセメント又ハ「パツター」ノ原料ニ供シ又ハ船舶及家屋ヲ塗ルニ供ス英國領事「カーシー」氏ハ其著書ニ原植物ヲ Aleurites Cordata ト記載シ又伊太利國ノ化學家「バルラチノ」氏ハ Elaeoocca Verrucosa 及 Elaeoocca Cordata ト記載セリ即我國ニテ罌子桐ト稱スルモノ、種類ニ屬ス清國ニテ産スルモノハ實ノ大サ杏核位ナリ我國ニテモ之レヲ廣ク栽培スルトキハ有利ノ輸出品タルノミナラス家屋船舶等ノ塗料ニ供シ防腐ノ功アラシ

白蠟、白蠟モ亦四川省ノ産ニシテ Ligustrum Lucidum ト稱スル植物ニ寄生スル白蠟蟲ヲ Fraxinus Chingensis ト稱スル蠟樹ニ移シ該小蟲ノ分泌ニ由リ生スルモノニテ同省主産物ノ一ナリ

油糟及豆類、豆油糟及豆類ハ從來牛莊ヨリ我國ニ輸入スル額多カリシカ近來當港ヨリ上海ヲ經テ輸送スルモノアリト云フ其種類及品質等滿州産ト大差ナキヲ以テ牛莊結氷中ハ當港ヨリ輸入スル方便利ナル可シ

一、漢口ヨリ貨物集散區域、當港ヨリ貨物集散區域ハ既ニ述ヘタルカ如ク廣大ニシテ綿布及毛布ノ三分一ハ西安及蘭州ニ向フト云フ當港ヨリ通過免狀ヲ受テテ内地ニ向テ貨物ヲ輸送セシ額左ノ如シ

地名	千八百九十七年	千八百九十八年	千八百九十九年	千九百年	千九百一年
湖北	一、八七三、六六	一、七三三、三三	一、四三三、三三	九六九、七七	七三三、三三

湖南	省	四三、八七三	四三、三三三	三〇、五二二	二六、七六六	二九、三〇〇
河南	省	七〇、三三三	六〇、九二六	六八、一三三	五七、二〇三	五八、九二六
四川	省	五五、四八〇	四五、六四七	四二、〇三三	三五、八二六	三六、二一一
貴州	省	七五、二二三	六五、三三〇	五〇、七四四	四八、八〇一	六四、五七五
陝西	省	五九、七三六	四九、七九七	七〇、六五九	四八、五六一	一三、二二五
廣西	省	一四、二五五	三三、八〇一	三三、八五七	一五、五三七	一八、九二〇
山西	省	一一、八五	……	四六	……	……
雲南	省	四三、三	一一、七一〇	三三	……	……
江西	省	一三	一六、二	二八、三六	二七、三九四	四、五五九
計		九〇、五六一	八八、〇三八	七三、五八八	五九、五〇四	六六、四七〇
全輸入額ニ對スル比例		一七、七三三	一六、〇九三	二二、六六三	一九、四三三	二二、六六三
全輸入額ニ對スル比例		五三	五四	三四	三〇	二六

一、厘金稅問題并ニ通貨免狀添付貨物減少ノ原因、前表ニ由レハ厘金稅ヲ免ル、爲メ通過免狀ヲ添付スル貨物ノ額ハ一千八百九十七年以降漸々減少スルノ傾向アルハ如何ナル原因ニ由レルヤ當港ノ如キ清國中央部ニ位スル貨物分配ノ中心點ニ於テ此ノ如キ現象ヲ呈スルハ大ニ研究ニ價スル問題ナルヘシ況ンヤ厘金稅ヲ全廢シテ輸入稅ヲ一割二分五厘ニ増加セントスル英國條約アリ又一面ニハ厘金稅全廢ハ可トスルモ輸入稅ヲ一割二分五厘ニ増加スルハ適當ナリ等ト目下世人ガ本問題ニ付キ研究ヲ爲シツ、アル時ニ於テオヤ小官ノ考フル所ニ由レハ此ノ如ク通過免狀ヲ受ク可キ貨物ノ減少スルハ清國地方官ノ履行壓伏手段ト優柔應變手段トノ兩極端ニ據レルモノナラント思考ス何チカ履行壓伏手段ト云フ曰ク通過免狀ヲ付シタル貨物ヲ積載スル船舶ハ厘金局ニテ嚴重ニ檢査シ積載貨物ヲ凡テ陸揚セシメ金巾及綿糸ノ如キ機械力ヲ籍

ヲスンハ再包裝シ能ハサルモノマテ總テ開査シ運送者ニ時日ノ損失ト物品損傷ノ責ヲ負ハシムルノミナラス場合ニ由リテハ開査セラレタル爲メ荷嵩ヲ増シ開査前ニ用ヒタルト同一ノ舟車ニテハ運搬シ能ハサルニ至ラシムルコトアリテ通過免狀ハ返テ禍ノ基トナルコトアルヲ以テ賄賂ヲ行ヒ厘金稅額ヲ減セシメテ之レヲ納付スルノ便利ニシテ且通過ノ迅速ナルニ如カサルヲ以テ自然ニ通過免狀ヲ受クルモノ、數減スルニ至レルナリ即チ貴州省向キノ貨物ニ對シテ通過免狀減シタルハ重モニ此原因ニ基クモノナル可シ優柔應變ノ手段ハ全ク之レニ反シテ通過免狀ヲ受クルモノ、數增加スルトキハ該免狀ヲ添付シタル貨物ノ取締ヲ嚴ニスルト同時ニ厘金ノ率ヲ引下ケ運送者ヲ誘フテ通過免狀ヲ受ケンヨリモ寧ロ厘金稅ヲ仕拂フノ有利ナルヲ悟ラシメ厘金ヲ仕拂フモノ、數增加スルニ至リテ厘金ノ稅率ヲ少シ宛高メテ收入ヲ増シ之レニ對シテ通過免狀ヲ受クルモノ增加スレバ再厘金ノ稅率ヲ引下ケル手段ヲ採ルモノニテ湖南湖北兩省ニ於テ通過免狀ノ減少スル傾向アルハ之レニ原因スルナル可シ而シテ壓伏主義ハ世界ノ大勢ニ逆ヒ優柔不斷ハ清國ノ慣用手段ナルヲ以テ交通機關ノ發達ト共ニ壓伏手段ハ漸々優柔應變ノ手段ト變シ遂ニハ輸入稅ノ半額ヲ仕拂ヒテ通過免狀ヲ添付シタル貨物ハ他ノ課稅ヲ免レテ仕向地ニ到達スルカ又ハ通過稅ヨリ低キ若クハ之レト同額ノ厘金稅ヲ仕拂ヒテ仕向地ニ到達スルカ此二途ニ出ツルニ至ルヘシ

第二、九江港

一、九江港ノ位置、九江ハ江西省ノ北隅ニ展開セル鄱陽湖ノ楊子江ニ通スル點ヨリ上流凡十五哩ノ所ニ在リ而シテ同省ノ河流ハ其中央ヲ貫流スル瀘江ヲ首トシテ凡テ鄱陽湖ニ注グヲ以テ同省内ニ於ケル貨物ノ集散ハ概シテ楊子江ヨリ鄱陽湖ヲ經テ幾多河川ノ便ニ由リテ行ハレツ、アリ當港ハ是等貨物集散ノ中心ニシテ漢口ニ定期航行スル船舶ハ凡テ此地ニ寄港スルヲ以テ貿易益々繁盛ニ赴キ一千九百年五月ニハ英國居留地ノ西方ニ當レル楊子江ノ上流ニ沿ヒタル河岸凡三百間ヲ居留地ニ編入セリ或ル獨逸人ハ之レト反對ノ北岸ニ油精製造所ヲ建造スル爲メ土地ヲ得ント運動シツ、アリト云フ「當港ハ此ノ如ク繁盛ニ赴キツ、アリト雖モ後日湖口ノ開港場トナルニ至ラハ當港ノ發達ヲ防ケラレ、虞アリ」

湖口ハ鄱陽湖ノ楊子江ニ通スル所ニ在リ風光明輝ナルノミナラス該湖水ヲ經テ出入スル貨物ノ集散點トシテ便利ナルコト當地ノ及フ所ニ非ス故ニ芝罘條約以來世人ノ注目スル所トナリ一千八百九十八年ノ楊子江章程ニモ船舶ノ寄港地トシテ明記セラレ一昨三十四年ノ末ニ英國ノ海關會社ハ船客取扱ヲ爲メ其支店ヲ此處ニ設クルニ至レルヲ以テ近キ將來ニ於テ開港セラレ、ニ至ル可シ

一、九江港ノ重要輸入品、當港ノ輸入貨物中我國ノ製造品ト關係ヲ有スル物品ハ概ネ左ノ如シ

品名	千八百九十七年	千八百九十八年	千八百九十九年	千九百年	千九百一年
生金	一七、三三三	一七、六六八	一七、三六〇	一八、三六八	一七、〇六六
英反	一、七五〇	一、七〇〇	三、一三三	三、八三三	三、三三三
雲布	三、三三〇	八、三三〇	一、〇三〇	九、〇三〇	九、〇三〇
天竺	六、七五〇	六、五〇〇	七、六〇〇	七、三〇〇	八、八三三
英反	三、七〇〇	三、七〇〇	三、七〇〇	三、七〇〇	三、七〇〇
米反	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三
手巾	四、八三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三
浴巾	六、八三三	五、〇三三	四、五〇三	四、五〇三	四、五〇三

品名	千八百九十七年	千八百九十八年	千八百九十九年	千九百年	千九百一年
綿「フランネル」	七、〇三三	六、二二二	六、三三三	七、三三三	一、五三三
織糸	一、三三〇	一、三三〇	一、三三〇	一、三三〇	一、三三〇
鈕釦	三、〇〇〇	六、三三三	六、三三三	六、三三三	六、三三三
時計	三、三三三	一、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三
玻璃	三、三三三	一、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三
「ラン」類	六、三三三	四、三三三	四、三三三	四、三三三	四、三三三
鏡	一〇、三三三	九、三三三	九、三三三	九、三三三	九、三三三
燐寸	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三	三、三三三
石	五、三三三	六、三三三	六、三三三	六、三三三	六、三三三
蠟	六、三三三	五、三三三	五、三三三	五、三三三	五、三三三
雲布	六、三三三	五、三三三	五、三三三	五、三三三	五、三三三



綿糸、綿糸モ一時本邦製品ノ輸入夥多ニシテ他國製品ヲ壓スルノ勢ヲ呈シタレトモ一千九百一年ニ至リ若シク輸入額ヲ減シタルハ印度糸ト上海糸ノ競争ノ爲メ一頓挫ヲ來シタルモノナランモ之レヲ以テ永久我製品ノ市場ニ敗ヲ取リタルモノト速断スルヲ得ス然レモ當業者ハ其原因ヲ尋ネテ市況ノ恢復ヲ圖ルコトヲ怠ル可ラス

鈕釦、鈕釦モ漢口ノ部ニ述ヘタル如ク獨逸製品ノ輸入漸々増加シタルヲ以テ之レニ對スルノ計畫無カル可ラス

鏡、鏡ハ個數ニ於テ著シク増加シタルモ輸入價格ノ増加ヲ見サルハ小形鏡製品ノ輸入増加シタルモノナリ

燐寸、燐寸ハ本邦製品ト當港製品トノ競争ヲ受ケ歐洲製品ノ輸入減シツ、アレトモ本邦製品モ亦將來當港ニ於ケル製造所ノ發達スルニ至ラハ其影響ヲ蒙リ不利甚ナカラサル可シ該製造所ハ一千九百一年中洪水ノ爲メ損害ヲ蒙リタルニモ拘ハラズ製品七萬五千哥ノ輸出ヲ爲セリ

雜貨、石鹼ノ輸入金額漸々増加シツ、アレトモ傘、時計、玻璃器、「ラムプ」類ハ市況振ハス然レトモ石油ノ輸入増加アルヲ以テ考フレハ「ランプ」類ハ將來益々市場ヲ擴張ス可キニ由リ製作法ニ注意ヲ要ス其他當市場ノ店頭ニ陳列スル日本品ハ玩具、化粧石鹼、香水、靴足袋、紙傘、團扇等種々アレトモ何レモ品質粗惡ニシテ歐米製ニ比ス可キモノナク將來有望ノ商品タル「ランプ」ノ如キモ近來獨逸製品ノ爲メ壓倒セラレントスル傾向アリ殊ニ店頭用掛「ランプ」ノ如キハ殆ント凡テ獨逸品ヲ使用シ居レリ

一、九江港ノ重要輸出品、本港ノ重要輸出品左ノ如シ

品名	千八百九十九年	千九百一年	千九百一年	
豆類	担	一七、七五八	二八、四三七	五、〇三五
陶磁器	粗 担	三六、八五五	一八、八九三	三、一五三
	精 担	二、〇〇〇	一〇、五三四	一、〇五六二
生 卵	個	三、五八〇	三、六三〇	二、三三〇

麻 精 担 一七、三三三

麻 粗 担 一〇、四

牛 皮 担 七〇、一五六

紙 担 一七、五八〇

胡 麻 担 一、六六六

茶 類 担 三、九六七

豆類、豆類ハ大豆ヲ首トシテ豌豆及蠶豆等ナリ

陶磁器、陶磁器ハ清國第二ノ盛業地トシテ知ラレタル景德鎮製ニテ千九百一年ハ團匪事件ノ影響ヲ受ケ輸出額ヲ減シ翌千九百一年ハ洪水ノ爲メ窯爐ニ損傷ヲ與ヘ爲メ製造額ヲ減シタリ

苧麻、麻ハ湖南省産ト同一種類即苧麻ニシテ麻布ハ之レヲ原料トシテ織リタルモノナリ

茶類、茶類ハ主トシテ綠茶ニシテ其他紅茶、粉茶、磚茶、骨茶、片茶、幹茶等ナリ此中磚茶、片茶及幹茶ノ三種ハ當地ニ設置セル露國人所管ノ製茶會社ニテ製造シタルモノニシテ片茶ハ磚茶ノ如ク良質ノ紅茶ヲ壓搾シテ一小片ニ爲シタルモノニシテ幹茶ハ中心ニ竹ヲ入レ長サ二呎乃至直徑二三吋ノ棒形ニ茶葉ヲ壓搾シタルモノニテ外形ヲ恰モ木ノ幹ノ如ク形クレルニ由リ新ク名ケタルモノナリ需要地ハ磚茶ト共ニ凡テ露國向キナリ

紙、紙ハ廣信府ノ主産物ナリ

藍、江西省ニ産セル藍ハ南清ニ産スルモノニ比シ染色シタル後光澤好ク且褪色ノ憂甚ナシト云フ

第三、南京

一、南京府ノ貨物集積ノ模様、當港ハ鎮江府ト蕪湖トノ中間ニ位シ鎮江ヲ去ルコト大凡四十五哩又蕪湖ヲ去ルコト凡六

十哩ナリ安徽省ノ東部ニ當レル揚子江兩岸ニ於ケル貨物ノ集散ハ蘇湖ヲ中心トナシ同省南部ノ產物ハ概テ錢塘江ヲ經テ杭州方面ニ出テ又同省北部ノ產物ハ既ニ述ヘタルカ如ク淮河ノ本流及支流ニ由リ洪澤湖ヲ經テ大運河ニ出テ鎮江府ニ集マリ又同府ヨリ分配シ江蘇省內揚子江以南大運河ニ沿ヒタル地方モ亦概テ同府及蘇州府ノ貨物集散區域ニ屬スルヲ以テ甯府ニ輸入スル貨物ハ單ニ市内及其附近村落ノ需要ニ供スルニ止マリ輸出品モ亦一小區域ノ生産及製造品タルニ過キサリシカ團匪事件ニ際シ北清ノ市場一般不穩ニシテ貿易途絶セシカハ河南及山西省等ニ産スル獸皮類ヲ陸地當地ニ運輸シ來リ遂ニ毛皮類ノ輸出ヲ増加セリト云フ但此事タルヤ一時ノ現象タルニ過キスシテ北清市況ノ恢復ト共ニ舊態ニ復ス可キヤ論ヲ俟タサルナリ然レトモ英清企業組合又ハ北京企業組合カ敷設權ヲ得ツ、アリ又ハ得タリ等ノ曠アル開封府(河南省ノ首府)及浦口(南京ノ對岸)間ノ鐵道布設完成ノ曉ニ至レハ陝西、山西兩省及黄河ノ流域ニ沿ヒタル生産及製造品ハ一面漢口ニ出ツルト共ニ該鐵道ニ籍リ當地ニ集中スルニ至ル可シ如何トナレハ開封府ヨリ鐵道ニ由リ漢口ニ貨物ヲ出スト浦口ニ貨物ヲ出ストハ里程ニ於テ漢口ノ方稍近シト雖モ之レヲ輸出スルニハ當港ノ方遙カ優勝ノ地位ニ在リ如何トナレハ漢口ハ河口ヨリ六百哩ノ上流ニ在ルノミナラス冬期減水ノ時ハ淺底ノ船艀ニ非サレハ膠沙ノ憂アリ加之水流ノ變遷ヨリ起ル航路ノ變移常ナキヲ以テ航行ニ不便ナリ由テ同港ヨリノ輸出貨物ハ將來鐵道ヲ經テ廣東ニ出ツルニ至ル可シト雖モ之レ又數百哩ノ長途ヲ輸送セサル可クナルニ由リ之レヲ浦口ヨリ直ニ船艀ニ搭載スルノ便利ニ如カサルナリ況ンヤ河口ヨリ當港ニ至ルマテハ水深クシテ大船ノ航行ニ適スルコトハ千九百年十一月即チ最減水ノ時ニ於テ吃水二十七呎ヲ有スル獨國軍艦「フリードリヒ、ウイールヘルム」號カ當港ニ遊來シタルヲ以テ之レヲ證スルニ足ル可シ故ニ鐵路全通ノ日ニ至ラハ開封府以北ノ輸出貨物ハ漢口ニ出ツルヨリ寧口當地ニ來ルモノ多キヲ加フルニ至ル可シ又英國經營ノ上海當地間ノ鐵道ハ近キ將來ニ於テ布設セラレ可キニ由リ既成ノ曉ニ至ラハ當地ノ商況ニ一大鼓舞ヲ與フルヤ殆ト疑フ容ル可クサルナリ

一、南京府輸入重要品、當港ノ輸入重要品ニシテ我國ノ製造物ト關係アルモノ左ノ如ク

品名	千八百九十九年	千九百年	千九百一年
生金	四七五〇	四七五〇	六三三三
天竺布	一、一〇〇	三三〇	二、〇〇四
雲縐布	六、〇〇〇	四、〇〇〇	六、〇〇〇
「シーナング」	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇
綿緞	八〇	...	一、一〇
綿緞	三、八〇	...	一、〇〇
手巾	三、三〇	...	一、〇〇
浴巾	三、三〇	...	一、〇〇
日本綿布	六、〇〇〇	...	一、〇〇〇
織糸	六、〇〇〇	...	一、〇〇〇
鈕釦	一〇〇	...	一、〇〇〇
珍柄	一〇〇	...	一、〇〇〇

掛時計個	三三三	八三三	一〇七三
玻璃器兩	二六六	六〇九	六四四
「ラ」ン「ア」兩	BOX	四六四	一五八
燐寸哥	五〇〇	五〇〇	一五〇
石鹼兩	三〇六	七〇六	三三三
綿編蝠傘本	九〇〇	一七〇〇	二〇〇〇

雲齋布、絨緞、鈕釦、前表ニ據レハ米國製雲齋布ノ増加、絨緞ノ減少、珍柄鈕釦ノ増加、日本製燐寸及蝠編傘ノ増加ハ他港ノ例ト一致シ居レトモ「シーチング」ノ輸入ハ變調ヲ呈シテ英國製品ノ輸入著ク増加シツ、アリ其原因ニ付キ當港稅關長ニ質問シタルニ該稅關長ハ之レヲ清國人ノ保守的氣質ノ反應ニシテ先人ノ商標主トナリテ市場ヲ擴張セシニ由ルナラント云ヘリ或ハ然ラソカ平

紙捲煙、紙捲煙ハ葉捲煙草ト共ニ稅關統計ニ掲載シアルヲ以テ茲ニ摘示セサリシモ本邦製紙捲煙草ハ近來勢力ヲ失ヒ之レニ代ルニ「アトラス」(地球印)「キングファイニッシャー」(翡翠印)等非常ニ跋扈シツ、アリ兩品共米國煙草會社製造ト記載シアルドモ品質粗惡ニシテ一種ノ臭氣ヲ有シ往々一本ノ二分ニ若クハ三分ニ吸煙シタル後ニ黒ク變シテ火ノ消ユレヲ以テ見レハ或ハ清國ノ或ル地方ニテ製造シタルモノニ非サルヤノ疑アリ翡翠印ハ表面ノ彩色方村井製孔雀印ト同一ニシテ只孔雀ノ代リニ翡翠印ヲ付シ村井會社ノ代リニ他會社ノ名稱ヲ記入シアレトモ商標ニ長ク注意セサレハ村井印ニ見慣レタルモノスラ往々紛ヲシテ翡翠印ヲ買フ程外形極肖セリ又右二種ノ小賣價格ハ孔雀印及「ピンヘッド」ト同一ナルニモ拘ハラズ小賣人カ獎メテ右二種ヲ賣捌カントスルヲ以テ見レハ原價多少安價ナルナラント推察セラル當業者ハ觀察員ヲ出シテ尙ホ詳細ニ調査スルニ非サレハ將來本品ノ貿易上ニ一大打撃ヲ受ケルヤ圖ル可ラス

一、重要輸出品、當地ヨリ輸出品ノ重要ナルモノ左ノ如シ

品名

牛 皮 担	千八百九十九年	千九百年	千九百一年
胡 麻 担	一、〇九九	一、七八一	四、七六六
胡 麻 担	一、四八四	一、〇二一	四、七五五
肩 生 糸 担	一七四	三〇八	二
絹 織 物 兩	四二二	一七二	一九四
	一、二二六、九六六	一、〇九四、一六九	一、三三三、七三二

當港ノ輸出品中第一位ヲ占ムルハ絹織物ニシテ其中絹繻子ヲ最多シトス其他平絹、天鵝絨等アリ又近來佛國製ニ擬シテ長毛天鵝絨ヲ輸出スレトモ地質稍厚ク且光澤劣リ毛ノ長短整一チ欠ク等品質佛國製ニ及ハサレトモ素人ニハ往々佛國製ト誤認スルモノ多ク價格廉ナルヲ以テ本品ノ輸出年々増加ノ傾アリト云フ

第四、蘇州府及杭州府

一、蘇杭州ニ輸入スル貨物、該兩府ハ何レモ上海港ヨリノ貨物集散區域内ニ屬スルヲ以テ當地方ニ輸入スル貨物ハ上海港ニテ輸入稅ヲ支拂ヒタル後民船ニ搭積シ厘金局ノ検査ヲ經テ搬入スルモノト輸入ノ當時納付シタル稅金ノ拂戻ヲ得テ貨物ノ仕向地(蘇州又ハ杭州)ニ到着シタル後關稅ヲ納付スルモノトノ二種アリ此二種ノ内第二ノモノハ稅關ノ報告書ニ記載アルニ由リ其輸入額ヲ知ルコトヲ得レトモ第一ノモノハ厘金局ニ統計ナキヲ以テ搬入ノ額ヲ知ルコトヲ得ズ

一、厘金稅納付ノ方法、抑厘金納付ノ方法タルヤ種々アリテ(甲)通過ノ度毎ニ一定ノ稅率ニ從ヒ厘金稅ヲ納付スルモノアリ(乙)一定ノ稅率ハアレトモ厘金局員ニ賄賂ヲ納レ其報酬トシテ通過貨物ノ總額ヨリ或ル數額ノ稅ヲ免シ殘額ニ對シテ一定ノ稅率ヲ適用スルモノアリ(丙)表面上厘金稅率ヲ一定スルモ賄賂ノ多寡ニ由リテ厘金局員勝手ニ之レヲ變更シテ適用スルコトアリ(丁)豪商ハ一ヶ年ノ厘金見附額ヲ協定シ是レヲ前納シテ豫メ期限ヲ定メテ免許ヲ受ケ置クトキハ該免許商ノ運輸スル貨物ハ期限内ニ限リ其數量ニ制限ナク厘金稅ヲ免除スルコトアリ故ニ厘金局ニテ統計ヲ爲サントスルモ

元ヨリ不可能ノコトニ屬スルヲ以テ右兩府ニ輸入スル貨物ノ額ハ殆ント知ルコトヲ得サルナリ

一、蘇州府ニテ千九百二年中購買力減少ノ原因、蘇州稅關長ノ語ル所ニ由レハ昨一千九百二年ハ北清事件ニ附帶スル償金ノ分賦ヲ受テテ家屋稅ヲ引上ケタルト耕作物ノ不作ナリト謂フ、收穫好良ナラザリシ爲メ一般ニ購買力ヲ減シタル結果トシテ輸入品ハ例年ニ比シ減少シタルヲ以テ參考ニ供スルニ足ル可シ

二、日本貨物、日本貨物ノ市中ニ散見スルモノハ綿糸、日本綿布、手布、浴巾、メリヤス、類、石鹼、鏡、香水、玩具、玻璃器掛時計、蠟燭、小刀及其他ノ雜貨類ニシテ到ル所獨逸製ノ雜貨ト共ニ陳列シアルニ我製品ハ其品質粗惡ニシテ直ニ獨逸製品ト判別スルコトヲ得可シ故ニ日本雜貨ハ貧民間ニハ賣行アルモ金満家ハ獨逸品ヲ賞翫スルニ至レリト云フ斯ノ如キ現象ハ將來本邦製品ノ貿易ニ如何ナル影響ヲ及ホス可キヤ特ニ商工業者ノ注意ヲ要ス可キ點ナリ若シ此現象ノ有無ニ關シ疑ヲ抱クモノアラハ一躍シテ清國市場ヲ觀察ス可シ所謂一見ハ百聞ニ如カサルノ利ヲ收ムルコトヲ得

一、蘇州府内外ノ機業、楊子江以南ニ當レル江蘇省一帶ノ地及浙江省八十八省中最富メル地方ト稱セラレ北京ニ於ケル貴顯紳士ノ衣服地等ハ凡テ該地方ヨリ供給スルノミナラス四百餘州ニ分配シ且外國ニ輸出スル絹糸、絹布等モ亦概テ此地方ニテ生産若クハ製造スルモノニテ蘇州城内ニストラ絹布ノ製造ニ供スル織機一萬有餘臺ヲ有スト云フ假リニ一蘇州スル布帛ノ製造額一ヶ年一千圓ト假定スルトキハ全製造額ハ一十萬圓以上ニ達ス可シ其他機業地トシテ無錫、常州、湖州松江及嘉興等ノ市府アリ杭州ニハ近來蠶業傳習所ヲ設テ我國ノ技師ヲ聘用シ成績頗ル好良ナルニ由リ知縣有志ノ輩ノ蠶業ノ改良ヲ熱心ニ稱ヘツ、アト云ヘハ將來品質ノ改良ト共ニ產額モ益々増殖スルニ至リ收入ノ増加ト共ニ購買力ヲ昂進シ衣食住ヨリ嗜好ノ程度等ニ至ルマテ進歩ヲ爲ス可キニ由リ此地方ニ本邦品ノ市場ヲ擴張スルコトヲ怠ル可ラス

一、蘇州ノ工場、蘇州ニハ紡績所一ヶ所所織絲所二ヶ所アリテ紡績所ハ二萬五千錠ヲ有シ原料ハ其周圍ニ豐富ナルニモ拘ハラズ遂ニ閉鎖スルニ至レリ開ク所ニ由レハ官廳ノ干渉甚シク役員ハ不能ノ者多クシテ各私利ヲ謀リ賄賂公行ノ姿ニテ工場ノ管理ニ慣レタルモノナキヲ以テ年々損失ヲ來シタルノ結果ナリト云フ若シ此種ノ事業ニ慣レタルモノアリテ之ヲ

引受クルニ至ラハ有利ノ事業ナラントノ說アリ但シ職工ノ賃錢ハ清國ノ他地方ニ比シ稍々高シト云フ線系所ノ内一ヶ所ハ支那人ノ管理ニ屬シ鍋數六百個ヲ備フルモ普通一十個ヲ使用シ居レリト云フ他ノ一ハ伊國人ノ管理ニ屬シ鍋數一百個ヲ有シ常ニ線系ニ從事シ相當ノ利益ヲ收メ居レリト云フ將來機業ノ發達スルニ至ラハ數ヶ所ヲ増設スルモ亦不足ヲ訴フルニ至ル可シ本邦人ノ此地方ニ爲ス可キノ事業モ亦多端ナル哉

一、杭州府ノ工場、杭州府ニハ紡績所一ヶ所及線系所一ヶ所アリ兩工場共ニ清國人ノ管理ニ屬シ紡績所ハ一萬五千錠ヲ有シ原料ハ主トシテ紹興府附近ニ産スル綿ヲ使用スレハ纖維短カク且強クシテ細糸ヲ製スルニ適セス由テ該工場ニテ製スル糸ハ十番乃至十六番ニテ此内十四番ヲ最多シト云フ原料綿ハ線綿及實綿ノ兩種ヲ買入レ實綿ハ建物ノ下層ニ大阪製ノ織機數十臺ヲ据エ付テ本邦ノ職工之レヲ監督シ線綿ト爲シテ使用セリ線系場ハ鍋數二百個ヲ有セリ又同府ノ附近ニハ紹興府下蕭山ニ紡績所一ヶ所及合義和線系所アリ鍋數二百個ヲ有シ塘棲ニモ亦大給線系所アリト云フ

一、杭州府ノ首要ナル輸出品、杭州府ノ主要ナル輸出品ハ豆類、眞鍮器、茶漬、薪、蠶腿、麻、扇、紙、酒、鉄、絹糸、絹布及茶等ナリ豆類、茶及麻等ハ皆當府附近ニ産シ酒ハ紹興府ノ特産タル紹興酒一名老利酒又ハ單ニ老酒ト稱スルモノナリ茶ハ錢塘江、流域一帶ノ地ニ産スレトモ主タル産地ハ嚴州及平水等ニ産スルモノハ當府ノ開港前ハ寧波府ヲ經テ輸出セシモ當府ノ方運輸上便利ナルニ由リ漸々當港ヨリ輸出スルニ至レリ又上海市場ニ出ツル木材ハ鴨綠江産、福建産、湖南産、貴州産等アレトモ錢塘江ノ上流安徽省ノ境ヨリ出ツルモノモ亦其一部ヲ占メタリ該木材ハ杉ノ類ニテ一般ニ小形ノモノ多シ屬ハ當地ノ名産ニテ年々數十萬圓ノ輸出ヲ爲セリ從來我國ヨリ清國ニ輸出セル扇ハ純然タル日本扇ニ非ス支那扇ニ擬シタルモノアリ歐州製品ニ擬シタルモノアリ依テ一種異様ノ意匠顯ハレ所謂獨的ノモノナリシカ昨年京都扇子會社ヨリハ技術家ヲ特派シ觀察シタル結果大ニ覺ル所アリ將來製法及意匠等ヲ變更シテ清國市場ニ適合スル物品ヲ製作スル計畫ナリト云フ蠶絲ノ扇ノミナランヤ若シ我國ノ工業家カ自ラ清國市場ヲ觀察スルニ至ラハ又同一ノ改良及變更ヲ各製造品ニ行ヒ大ニ我國ノ貿易ヲ振興スルニ至ル可シ

一、蘇州府ノ輸出品、蘇州府ノ輸出品ハ茶、絹糸及絹布ノ外著シキ物品ナシ絹布ハ縐子、紋縐子、羽二重、紗綾、紋縮緬等ニテ無地縮緬ハ主モ湖州ノ製造ニ係リ其他天鷲絨及絹「リボン」等ノ工業モ亦漸々發達シツ、アリ清國ニテ流行スル織機ノ長所ハ縐ヲ前方ニ推進シ緯糸ヲ通セハ箆ハ一定ノカラ以テ元トノ位置ニ落テ來ルヲ以テ手ニテ箆打チテ爲スト異ナリテ織物ノ地合ニ糸張チ生スルコトナシト云フ又天鷲絨織ヲ爲スニ當リ浮ケ糸ノ整理方單純ニシテ參考ト爲スニ足ルモ浮ケ糸ニ織リ込ム金屬線ニ薄チ設ケサレチ以テ毛ヲ切リタルトキ捕ヒ惡ク且紋織ノ場合ニ「シヤカード」機ヲ用イスレテ紋引キ人ヲ使用スル等ハ未ダ機業ノ發達セサルヲ證明スルニ足ル又同府ニテ縐子ノ横糸ニ織リ込ム絹糸ハ棟ヲスシテ生糸ヲ石製ノ碓ニ置キ木槌ニテ打チテ柔軟ナラシムスルトキハ練リタルト略ホ同一ノ手際リト外見トチ呈シ練リ減リチ避クルノ効アリト云フ

大藏省鑑定官補坂口武之助

清國輸入本邦貨物ノ販路并清國釐金事情

第一、北清、長江沿岸及南清へ本邦製綿布及綿糸輸入ノ比例

(イ)生金巾及「シーチング」		北清地方		二〇、二二〇	計數ニ對スル比例	五一%
		長江沿岸		一七、三六〇	四三%	
		南清地方		二、二六〇	六%	
		計		三九、七四〇	一〇〇%	
(ロ)雲齋布		北清地方		九、二五五	計數ニ對スル比例	九六%
		長江沿岸		四四	一%	
		南清地方		三三二	三%	
		計		九、六二一	一〇〇%	
(ハ)天竺布		北清地方		一九六、四〇七	計數ニ對スル比例	八一%
		長江沿岸		四四、四八二	一八%	
		南清地方		三二五	一%	
		計		二四一、二〇四	一〇〇%	
(ニ)日本綿布		計		二四一、二〇四	一〇〇%	

北清地方	一一、七六五 <sup>反</sup>	計數ニ對スル比例 七%
長江沿岸	五八、七九四	三四%
南清地方	一〇〇、六八八	五九%
計	一七一、二四七	一〇〇%
(*)日本綿縮		
北清地方	二六、二二四 <sup>反</sup>	計數ニ對スル比例 四五%
長江沿岸	一六、八二〇	二八%
南清地方	一六、四四三	二七%
計	五九、四七七	一〇〇%
綿布總計		
北清地方	二六三、七六一 <sup>反</sup>	計數ニ對スル比例 五一%
長江沿岸	一三七、五〇〇	二六%
南清地方	二二〇、〇二八	二二%
計	五二一、二八九	一〇〇%
(ハ)綿織糸		
北清地方	三三〇、六七九 <sup>組</sup>	計數ニ對スル比例 四五%
長江沿岸	三八四、〇四九	五二%
南清地方	二〇、九八三	三%
計	七三五、七一	一〇〇%

右統計ハ一千八百九十九年清國稅關編纂ノ統計表ニ由ル此ノ如ク三年前ノ統計表ヲ標準トシタルハ昨一千九百一年ノ統計表ハ未ダ調製ニ至ラス一昨九百年ハ拳匪事件ノ爲メ北清ノ貿易ニ一變調ヲ來シタルニ由リ同年ノ貿易表ハ標準ト爲スニ足ラス由テ其前年即九十九年ノ年表ヲ採用セリ

北清地方トハ牛莊、天津、芝罘、膠州ノ四港ヲ稱シ長江沿岸ハ即揚子江ニ沿ヒタル開港場ニシテ重慶、宜昌、沙市、岳州、漢口、九江、蕪湖、南京、鎮江及上海ノ十港ニ輸入シタル額ヲ統計シタルモノニテ南清地方トハ杭州、寧波、温州、以南海ノ開港場ニ輸入シタル總額ナリ

右統計表ヲ通覽スレトキハ日本産ノ綿布ノ二分ノ一ハ北清地方ニ輸入シ綿織糸ハ全額ノ四割五分ハ北清ニ輸入シタルモノニテ我國ノ綿糸及綿布ハ北清貿易ト一大關係アルヲ知ルニ足ル可シ

第二、清國ニ於ケル輸入貨物分配ノ方面  
清國十八省中鐵道ノ便アルハ只一少部分ニ過キスシテ大部分ハ河流ニ由リテ貨物ヲ集散ス殊ニ南清ニ於テ然リトス北清ハ之レニ反シテ馬背ニ由リテ貨物ノ集散ヲ爲スコト多シト云フ又雲南省ヨリ西藏附近ハ隊商ノ方法ニテ今尙ホ貨物ヲ運搬スト云フ

北清ニ於テ牛莊ニ輸入スル貨物ハ遼河ニ由リ奉天府一帯ヨリ遼州ニ供給シ天津ハ所謂北京ノ咽喉ニシテ同地方ニ需要ノ物品ハ概ネ天津ヨリ供給シ又鐵道ニ由リ保定府ニ分配シ河流或ハ古來ノ道路ニ由リ正定府ヲ經テ山西省ノ東部地方迄供給ヲ補助スト云フ芝罘、山東角一帯ノ地ニ供給ヲ爲スノミニシテ其區域狹隘ナリ其他長江沿岸ヨリ南清地方ニ於ケル貨物集散ノ模様ヲ略記スレハ左ノ如シ

一、江蘇省、甯省ニハ上海、鎮江、南京及蘇州ノ四開港場ヲ有シ外國ヨリ輸入ノ貨物ハ最初上海ニ蒐集シ之レヲ長江沿岸ノ開港場ニ轉輸ス又杭蘇兩州ヨリ寧波地方ニモ之レヲ分配スト云フ甯省ノ南部ハ蘇州ヨリ運河ニ由リテ貨物ヲ分配シ鎮江ニテ輸入手數ヲ爲シタル貨物ノ一部ハ通州ニ逆送シ來リ同地方ニ分配スルモノアレトモ多クハ對岸ノ揚州ヨリ大運河

ニ由リ當省淮安府及邳州附近ヨリ遠ク山東省ノ西部濟寧府地方ニ對シテ供給ヲ爲スト云フ  
 南船北馬ノ諺ニ於ケルカ如ク清國ノ南部ハ河流ニ由リテ貨物ヲ運輸シ當省及山東省ノ西部ハ大運河ニ由リテ貨物ヲ集散  
 スルヲ以テ該運河ニ沿ヒテ厘金局ヲ設置スルコト夥シク大凡十一二哩毎ニ一ヶ所ノ厘金局アリト云フ故ニ厘金ノ收入額  
 モ亦十八省中當省其首位ニ在リト云フ

一、安徽省、當省ニハ蕪湖ノ開港場アリ同開港ニテ輸入手續ヲ爲シタル貨物ハ通過免狀ヲ付シ若クハ付セズモ揚子江  
 ノ支流ニ由リ當省及江蘇省ノ西南部江西省ノ東北部ニ分配スト云フ

一、江西省、當省ニハ揚子江ニ沿ヒ九江ト稱スル開港場アリテ當省ヨリ輸入スル貨物ハ鄱陽湖ヲ横キリテ南昌府附近及  
 贛江ヲ遡リテ贛州地方ニ分配シ又ハ境ヲ越ヘテ福建省ノ西部地方ニ供給ヲ爲シ其他一部ハ安徽省ノ西南部及湖北省ノ東  
 部地方ニ分配スト云フ

一、湖南及湖北省、湖北省ニハ漢口、沙市及宜昌ノ三開港場アリ湖南省ニハ岳州ノ開港場アリ就中漢口ハ當省ヲ初メトシ  
 テ湖南、河南、陝西ノ四省及揚子江上流地方ノ貨物集散地トシテ其名著シク殊ニ當省ハ十八省中綿布工業ノ最盛ナル所  
 ニシテ沙市布及黃麻布ハ雲南、貴州、廣東、廣西ノ地方ニ至ルマテ販路ヲ擴張セルヲ以テ綿織糸ノ消費尙夥多ナリ

右開港場ヲ經テ輸入スル貨物ハ漢口ヲ遡リ當省ノ北部襄陽鄖陽地方ヨリ陝西省興安府ヲ經テ西安府地方ニ至リ又漢口ノ  
 支流ニ由リ河南山西ノ遠キニ至ル迄供給ヲ爲シ西ハ揚子江ヲ遡リ四川省ノ一部ニ分配シ南ハ湖南省岳州ニ輸入スル貨物  
 ト共ニ洞庭湖ヲ横キリテ湘江及沅江ノ流ニ沿ヒ湖南全州ニ分配シ其余ハ境ヲ越ヘテ貴州省ノ東部ニ供給ヲ爲スト云フ

一、四川省、當省ニ輸入スル貨物ハ揚子江ニ由リ重慶府ニ於テ輸入手續ヲ爲シ同府ヨリ省内ニ分配スルモノニシテ湖北  
 省宜昌ヨリ重慶府迄凡ソ四百哩間ノ運賃ハ英人「ベル」氏ノ計算ニ由レハ一噸英貨六十八志三片ナリト云フ  
 重慶府ニ輸入シタル貨物ノ一部ハ萬縣ニ逆送シ來リ同縣ヨリ綏定府及曉州方面ニ分配シ

一部分ハ揚子江ノ支流ヲ遡リ合州ニ至リ渠河、嘉陵江及涪江ヲ遡リテ綏定府、順慶府、保寧府、潼川府及龍安府等ヨリ遠

ク陝西、甘肅兩省ノ境ニ向テ供給シ

又他ノ一部ハ揚子江ノ上流ニ沿ヒタル瀘州及叙州ニ送リ其支流岷江ヲ遡リテ嘉定府雅州方面ニ分配シ又越巂、寧遠及會  
 理府ニ供給ヲ爲スト云フ但シ會理府近傍ハ近年蒙自ヨリ輸入シタル貨物ヲ雲南府及東川府等ヲ經テ雲南省ヨリ供給スル  
 コトアリト云フ

一、貴州省、當省ニ貨物ヲ輸入スルニハ二路アリ一ハ湖南ヲ經由シ他ハ廣西省ヲ經過スルモノトス

湖南省ヲ經テ輸入スルモノハ最初揚子江ヲ遡リテ漢口ニ至リ當港ニテ輸入手續ヲ爲シ三連單即チ通過免狀ヲ付シ洞庭湖  
 ヲ經テ湘江ヲ遡リ湖潭及衡州ヲ經テ貴州ノ境ニ至リ或ハ洞庭湖ヨリ沅江ヲ遡リ常德府、辰州、黔陽等ヲ經テ貴州ノ境ニ達  
 ス而シテ一度境上ヲ越ユレハ當省ノ厘金局員ハ通過免狀ヲ認メス強テ厘金ヲ徵收スト云フ此路ニ由リ來リタル貨物ハ天  
 柱府又ハ鎮遠府ニ蒐集シ小舟ニ由リ都勻府ニ分配シ又ハ馬背ニ由リテ貴陽其他ノ都府ニ分配スト云フ

廣西省ヲ經テ來ル貨物ハ梧州府ニテ輸入手續ヲ爲シ西江ヲ遡リ武宜ニ出テ其支流ニ由リ柳州ヲ經テ貴州ニ至リ或ハ武宜  
 ヲリ木流ニ沿ヒ興義府方向ニ出ツルモノト北海ニテ輸入手續ヲ爲シ陸路南寧府ニ出テ潯江ヲ遡リ百色ヲ經テ興義府ニ出  
 テ同府ヨリ陸路鎮寧、安順、貴陽等ノ都府ニ貨物ヲ分配ス

由テ考フルニ將來我國ノ貨物ニシテ當省ニ輸入スルモノハ湖南省ヲ通過スル方便利ナラン

一、雲南省、當省ニ輸入スル貨物ハ(一)揚子江ヲ遡リ四川省重慶府ヲ經テ Lwo-wuhan ヲリ當省ニ入り照通府及東川府ヲ  
 經テ雲南府方面ニ來ルモノト(二)北海ヨリ廣西省南寧府ヲ經テ梧州ヨリ南寧府ニ出テ西江ノ支流ヲ遡リ百色ニ達シ夫  
 レヨリ小舟又ハ陸路ニ由リ廣南、歸朝方面ヨリ當省ニ輸入スト雖モ西江ニ於ケル厘金稅重キヲ以テ近年此路ニ由ルモノ  
 少ナシ又(三)東京ヨリ紅河ヲ遡リ蒙自ニ出テ通過免狀ヲ付シテ各都府ニ分配スルモノアリ此通路ニ由ルモノハ東京ニ

テ通過稅ヲ課セラル、モ蒙自ニテ厘金ヲ免カレ通過免狀ヲ有効ニ認ムルヲ以テ近來此通路ヨリ來ル貨物多キヲ加ルニ至  
 レリ其他(四)「メーコン」河ヲ遡リ思茅ヲ經テ來ルモノト(五)英領緬甸ヨリ其境上「ハモ」市ヲ通過シテ騰越ヨリ輸入ス

ルモノアレトモ此道路ニ由ルトキハ騰越ヨリ雲南府迄馬背ニ由リ三十日内外ノ日數ヲ費シテ貨物ヲ運搬スルノ不便アリト云フ我國ヨリ當省ニ輸入スル貨物ハ四川省ヲ通過スルヲ便利ナリトス

一、廣東省、當省ニ輸入スル貨物ハ省ノ東部ハ汕頭ニテ輸入手數ヲ爲シ打江ニ由リ潮州府、嘉應府及興寧府等ニ分配ス興寧府ハ機業地トシテ有名ナル所ナリ又西部ハ北海ニテ輸入手數ヲ爲シ廉州ニ運輸陸路其附近及廣西省南寧府方面ニ向テ供給ヲ爲シ省ノ中央部ハ廣東ニテ輸入手數ヲ爲シ東江ニ由リ惠州河源地方ニ分配シ又北江ニ由リ三水ヲ經テ韶州府ニ至リ西部ハ西江及其分派ニ由リ開平、羅定地方ヨリ西河ニ濱スル各都市ニ貨物ヲ分配ス西河ニ由リ廣西省ニ向フモノハ多クハ梧州ニテ輸入手數ヲ爲スト云フ

廣東府ヲ去ルコト十五哩ノ所ニ Datang ト稱スル一小市街アリ染色業ノ最盛ナル地ニテ廣東人ノ好ヲ着用スル黑色ノ布帛ハ凡テ同市ニテ染ムルモノナルニ由リ同市ニ輸送スル布帛ハ年々夥多ニシテ外國布帛ハ廣東ヨリ轉輸シ興寧地方ニテ織リタルモノハ北江ニ由リ三水ヲ經テ來リ又沙市土布ハ江西省鄱陽湖ヨリ贛江ヲ遊リ贛州ヲ經テ陸路國境ヲ越ヘ北江ノ上流ニ出テ流テ下テ廣東ニ來ルト云フ此路ハ古來ノ商業通路ナリ

一、廣西省、當省ニ輸入スル外國貨物ハ梧州ニテ輸入手數ヲ了シ西江及其支流ニ由リ平樂、桂林、象州、柳州、永寧、潯州、南寧、百色等全國ニ分配シ又西江ノ上流ニ由リ或ハ永寧及百色地方ヨリ馬背ニ由リ遠ク貴州省ニ貨物ヲ供給ス

今參考ノ爲メ各開港場ヨリ貨物分配ノ方向ヲ圖解スヘシ(卷末揭載圖參照)

第三、各省釐金ノ收入額

各省釐金收入額表

省名	最大額	最少額
直隸省	三〇〇、三三八	一三九、七七〇
江蘇省	二、二八一、一八一	一、七六六、六三三

安徽省	三三五、一〇三	三二六、一一二
江西省	一、三三三、七二二	八七二、三二八
山東省	九四、六二三	六七、〇七二
山西省	一九五、四九〇	一八一、七四〇
河南省	八九、一二七	七〇、九〇四
陝西省	三八六、五四七	三〇九、六一〇
甘肅省	四一三、三八八	三八〇、二四七
福建省	二、一八九、一四三	一、四八九、六七一
浙江省	二、一一七、〇二四	一、九九〇、九七六
湖北省	一、六九六、八八〇	一、四七六、二四〇
湖南省	一、三三〇、〇〇一	一、一六二、四五六
四川省	五三九、五一六	四九〇、五九〇
廣東省	一、六〇三、九三〇	一、二八九、八一七
廣西省	五〇七、九七九	四五九、九九〇
雲南省	二七三、六八七	二一四、三三九
貴州省	一一二、六一八	一一二、六一八
計	一五、七〇〇、三三三	一一、八〇一、一〇三
平均	一四、二五〇、七一八兩(庫平銀ナラン)	

右ハ光緒會計表ヨリ拔萃シタルモノニテ該會計表ハ日清戰役以前ノ編纂ニ係レリ然ルニ日清戰役ニ當リ中央政府ハ各省



ニ御用金ノ調達ヲ命ジ其結果厘金ノ稅率ヲ引上ケタリト云フ其後清國ノ財政ハ日ニ非ニシテ加ルニ零匪事件アリ爲メニ  
 財政ノ欠ヲ補フカ爲メ厘金ヲ増課シ各府ノ消費稅(落地稅又ハ府稅ト稱ス)ヲ引上ケタルコト疑ナシト雖モ恐クハ全收入  
 額ヲ詳密ニ知ル者無カラシ然レトモ厘金ノ總收入額ヲ二千萬兩内外トシ之レニ各都府ノ消費稅ヲ加ヘテ二千五百萬兩  
 内外ト見レハ或ハ大差ナカラン乎

日清戰役後急遽ニ厘金ヲ引上タル結果爾來厘金ヲ支拂ヒタル清商等ハ一致シテ通過免狀(三運單)ノ保護ヲ得テ厘金ヲ免  
 レンコトヲ圖リ厘金局員ハ之レカ爲メ周章狼狽シテ或地方ニテハ選カニ厘金ノ稅率ヲ半額ニ減シ且恐喝的ノ公布ヲ發シ  
 テ之レカ支拂ヲ促シタル例アリ故ニ例ヘ日清戰役後增加シタリト雖モ到底前收入額ノ二倍ニ及ホスコトハ難カル可レ況  
 シヤ内地通過稅ノ統計ヲ見レハ年々増加ノ傾アルニ由リ若シ厘金ヲ重課スレハ通過免狀ヲ得ル者ノ數ヲ増シ其收入ヲ減  
 スルニ至ルヤ疑フ可ラサルナリ

今回英清通商條約ニ記載ノ輸入稅一割二分五厘及輸出稅七分五厘迄引上ケ厘金稅廢止ノ件ハ何レノ點ヨリ打算シタルモ  
 ノナルヤ詳細ニ知ルコトヲ得サルモ昨年ノ貿易額ヲ標準トシ英清條約ノ規定ニ由リ關稅ヲ計算スルトキハ左ノ結果ヲ生  
 スヘシ

一千九百一年	二六八、三〇〇、〇〇〇兩
輸入品總價額	三三三、五三七、五〇〇兩
此一割二分五厘稅	一六九、六五〇、〇〇〇兩
輸出品總價額	一二七、三三三、七五〇兩
此七分五厘稅	四六、二六二、二五〇兩
合計稅額	二五、五〇〇、〇〇〇兩
同年關稅收入額	二五、五〇〇、〇〇〇兩

殘額

庫平銀ニテ

右庫平銀二千一百十餘萬兩ハ厘金廢止ノ曉ニ關稅ヲ增加ス可キ額ニ付現今清國ニ於ケル厘金稅及消費稅等ノ收入金額ヲ  
 二千一百十餘萬兩ニ見積リタルニ非サルナキ乎

第四、各省ニ於ケル厘金稅率

我國ヨリ清國ヘ輸出スル物品中毎年壹品ニテ壹百萬圓ヲ超過スルモノハ綿織糸、昆布、石炭、紙捲煙、燐寸ノ五品ニシテ  
 其他重要輸出品トシテハ生金巾「シーチンク」、天竺布、雲齊布、フアンネル、綿綸、瓦斯糸織等ノ如キ綿布類及「フアン  
 クット」、手巾、浴巾、靴足袋等ノ如キ綿製品、銅、人參、椎茸、海產物類及工藝品トシテハ鈕釦、洋傘、洋燈、玻璃器、線綿器時  
 計、紙類ノ如キ考究ヲ要ス可キ物品數多アリト雖モ此等ニ對スル各省厘金ノ稅率并ニ落地稅額等ヲ詳細ニ調査シタルモ  
 ノナク獨リ一千八百九十六年ノ秋ヨリ翌九十七年ノ春ニ渡リ長江沿岸ヨリ四川雲南廣東、廣西ノ各省ヲ踏査シテ厘金ノ  
 調査ヲ爲シタル英國領事「バーン」氏及英國「ブラッグバイン」商業會議所ノ派遣員「ベル」及「ネヴィル」兩氏ノ報告書アルノ  
 ミ由テ該報告書ヨリ我國生産品ニ關スル事項ヲ拔萃シテ參考ニ供ス蓋シ綿糸及金巾類ニ關スル厘金賦課ノ模様ハ之レニ  
 由テ大要ヲ窺フニ足ラン

一、江蘇省

一、上海、常港外國居留地ニテ販賣スル布帛ニ對シテハ條約ノ結果トシテ厘金ヲ徵收スルヲ許サスト雖モ事實ハ之レニ  
 反シテ厘金局ハ陰ニ綿布組合ヲ強迫シテ該組合員ノ販賣スル輸入布帛毎壹萬兩ニ對シ壹千七拾兩ノ厘金ヲ賦  
 課スト云フ  
 右組合ハ清國人ニテ組織シ組合員ハ組合費用ヲ分擔スルモノトシ其分擔額ヲ業務ノ大小ニ應ジテ四等ニ分テリ即左ノ如  
 シ

第壹等 貳百兩

第貳等 百貳拾兩

第參等 六拾兩

第四等 參拾兩

組合ハ毎年四名ノ委員ト書記トヲ撰任シ厘金局ニ納付シタル金額ヲ徵收スル爲メ各店ノ賣上帳簿ヲ検査シ賣上高壹相ニ對シ〇七五〇兩ノ割合ニテ賦課金ヲ爲スト云フ

一捆ヲ五十反トシテ計算スレハ一反ノ賦金ハ〇〇一五兩ニテ一反二兩ノ生金巾ニ對シテハ從價〇七五〇兩ニ相稱セリ

又組合ハ蘇州ニ送ル布帛類ニ對シ毎年一萬二千兩ヲ厘金局ニ納付シ組合員ハ該金額ヲ納付人ニ賦課スト云フ賦課稅表左ノ如シ

生及晒金巾	每反	〇五八三兩
天竺布(三十六吋モノ)	同	〇四九三兩
同 (三十二吋モノ)	同	〇四〇四兩
更紗	同	〇五三九兩
手巾	每打	〇二二四兩
浴巾	同	〇一八〇兩
緋金巾	每反	〇四〇四兩
綿織糸	每捆	〇八九八兩

前記ノ如ク厘金局ニ對シテ組合ヨリ一定ノ額ヲ支拂フト雖モ支那船ニテ厘金局ノ前ヲ通過スルトキハ必ス賄賂トシテ局員ニ少額ノ金錢ヲ呈セサル可ラス若シ之レヲ呈セスシテ通過セントスレハ直ニ局員ノ怒ニ觸レ長ク停船ヲ命セラレハ危險アレハナリ

一、蘇州、同地ニハ落地稅(消費稅ニ同シ)ノ設ケアリテ綿布一捆ニ付〇〇八〇兩ヲ徵收セラル

一、鎮江、當港ト大運河ニ沿ヒ凡ソ一百三十哩北方ノ淮安府トノ間ニ二十二ヶ所ノ厘金局アリト又當港ト山東省濟寧府トノ間ニハ厘金局ト常關トヲ合シテ三十六ヶ所アリト云フ而シテ厘金稅率ハ生金巾一反ニ付七十文ナルニ由リ當港ヨリ淮安府迄ノ間ニ支拂フ厘金ノ通計八百四十文ノ多キニ至リ淮安府ニハ又落地稅ノ設ケアリテ生金巾一反ニ對シ〇〇三兩ヲ課セラルト云フ

一、南京、當港ニテハ生金巾一反ニ付〇〇四〇兩ノ落地稅アリト云フ

一、安徽省

一、蕪湖、當港ニハ厘金稅及落地稅ナシト云フ

一、江西省

一、九江、當港ヨリ南方百十里ヲ去ル南昌府ニ至ル間ニ三ヶ所ノ厘金局アリテ生金巾一反ニ對シ一ヶ所毎ニ三十文ヲ徵收スト云フ

一、湖北省

一、漢口、當港ノ舊市街中ニテ販賣スル貨物ニ對シ落地稅ヲ課スト云フ其表左ノ如シ

晒金巾、生金巾及「シーチング」	每反	四十五文
天竺布及更紗	同	三十三文
雲縐布	同	六十七文
緋金巾	同	四十文
手巾	每打	十三文
綿織糸	每捆	八百九十文

當港ヨリ漢水ニ沿フテ北方ニ當レル老河口ト稱スル市街ニモ落地稅アリテ生金巾ニ對シ每反五十文ヲ徵收スト云フ

一、漢陽及武昌、當地ニモ落地税ノ設ケアリ生金巾一反ニ付四十文雲齋布一反ニ付六十文ヲ徵收ス云フ

一、陝西省

一、西安府、當府ニモ落地税ノ設ケアリ生金巾一反ニ付一百文ヲ課スト云フ

一、浙江省

一、杭州府、當府ニ於テハ厘金及落地税ヲ賦課スルコト開港以前ニ同シ厘金ヲ課スル主タル物品ハ左ノ如シ

生金巾「シーチング」、雲齋布及天竺布 每反 〇〇五五兩

晒金巾 同 〇〇六七兩

綿織糸ニ對シテハ厘金税ノ規定ナキモ上海ヲ發シ當府ニ向フ時第一ニ通過スル厘金局ニテ一捆ニ付英貨四十一片ニ等シキ厘金ヲ課スト云フ

一、寧波、當港ニ於テ綿布ニ課スル落地税左ノ如シ

生金巾及雲齋布 每反 七十文

雲齋布(三十二吋及三十六吋ノモノ) 同 四十文

形付及綿「フツンネル」 同 百〇二文

一、直隸省

北清地方ハ一般ニ厘金局ノ設ケ少ナキノミナラス税額モ亦低ク牛莊、天津及芝罘等ヨリ内地ニ貨物ヲ送付スル場合ニ支拂フ厘金ノ累計ハ高キモ從價二分五厘ヲ超過スルコト無キヲ以テ通過免狀ヲ受ケンヨリモ寧ロ各厘金局ニテ厘金ヲ支拂フ方却テ便利ニシテ貨物ノ押留若クハ停船ヲ受クルノ恐レナキヲ以テ通過免狀ヲ受クルコトナシト云フ

一、天津、當港ニテ綿布ニ對シ賦課スル厘金及落地税額左ノ如シ

生金巾「シーチングス」、雲齋布及晒金巾 每反 厘金 三十四文 落地税 十八文 計 五十二文

天竺布 同 十七文 十文 二十七文

「シーチング」 同 三十一文 二十文 五十一文

一、北京、當府ニ輸入スル貨物ハ凡テ天津ヨリ送付シ當府ニ到着シタル時落地税ヲ課スルモノトス綿布ニ對スル落地税額左ノ如シ

生及晒金巾「シーチングス」、雲齋布 每反 〇二〇〇兩

天竺布 同 〇一六〇兩

緋金巾及染綾金巾 同 〇三二〇兩

形付「モスリン」 同 〇〇六〇兩

更紗 同 〇一四〇兩

綿「フツンネル」 同 一〇〇〇兩

手巾 每打 〇〇四八兩

一、四川省

當省ハ四千萬乃至七千萬ノ人口ヲ有シ綿ヲ産出セサルカ故ニ綿布ノ需要殊ニ夥シク夏ハ輸入ノ綿布ヲ用ヒ冬ハ重モニ紗市土布ヲ着スト云フ

一、重慶府、當府ヨリ内地ニ運搬スル各布帛ニ對シ每反二十五文ノ厘金ト四百封度入ノ綿糸ニ對シ每捆〇八〇〇ノ厘金ヲ徵收スト云フ

一、夔州、當地ハ山ヲ越ヘテ湖北省樊城ニ通スル道路ニ位スルヲ以テ道路ニ厘金局ヲ置キ一人持ノ貨物(凡ソ八十封度)

ニ對シ厘金二百文ヲ徵收スト云フ

一、合州、當州ニテハ外國布帛毎一斤ニ對シ厘金二文ヲ賦課スト云フ或ハ生金巾八封度四分ノ一ノモノ二十反一捆若クハ十二封度モノ十二反入一捆ニ對シ〇一五〇兩綿織糸四百封度入一捆ニ對シ〇八〇〇兩ノ厘金ヲ徵收シタリシカ近來綿糸ニ對スル厘金ハ〇六〇〇ニ下ケタリトノ説アリ

一、遂寧府、當府ニハ厘金局ノ設ケナカリシモノ近來設置ノ計畫アリト云フ

一、瀘川、當府ノ附近 Chao-Chia-hu ニ厘金局ノ設ケアリ生金巾百二十斤ニ付二百五十文形付及毛布同二百五十文綿織糸同五百文ヲ徵收セラルト云フ

又當府ニ輸入スル貨物ニ對シテハ厘金稅及落地稅ヲ課ス綿糸及綿布ニ對スル稅率左ノ如シ

	落地稅	厘金	計
綠綿	每百六十封度	二百四十文	四百八十文
生金巾	每反	〇〇六〇	〇一〇〇
更紗	同	〇〇六〇	〇〇九〇
雲霧布	同	〇〇六〇	〇一二〇
綿織糸	每十封度	四十文	八十文
一、重慶府ヨリ嘉定府ニ至ル、生金巾及綿糸ヲ右兩市間ニ運搬スル間ニ支拂フ厘金額左ノ如シ		厘金	二十五文
重慶ニテ		同	四十文
瀘州ニテ		同	ナシ
叙州ニテ		同	三十文
嘉定府着		同	

計 厘金九十五文(從價ニテ凡三三%)

重慶ニテ

綿織糸四百封度入一捆ニ付

厘金

一千一百文

瀘州ニテ

同

同

一千六百文

叙州ニテ

同

同

ナシ

嘉定府着

同

同

一千四百文(四百八十文)

計 四千四百四十文(從價凡四%)

一、嘉定府ヨリ寧遠府及會理府ニ至ル、

雅州ニテ

生金巾一反ニ付

厘金

〇一〇〇兩

Lo-ku

同

同

百六十文

Lo-ku

同

同

百六十文

越嶲州ニテ

同

同

ナシ

寧遠府及會理府着

同

同

ナシ

計 厘金凡四百貳拾文

雅州ニテ

綿織糸一斤ニ付

厘金

九文

Lo-ku

同

同

三十文

越嶲州ニテ

同

同

十三文

寧遠府及會理府着

同

同

ナシ

計 厘金五拾二文

右二品ハ寧遠府及會理府ニ着シタルトキハ厘金ノ累計壹割以上ニ當ルヲ以テ近來親自ヨリ通過免狀ヲ付シ雲南省ヲ經テ此等ノ品ヲ輸入スト云フ

一、貴州省

香港ヨリ北海、廣西省南寧府及百色鎮ヲ經テ當省ニ輸入スル貨物ハ廣西省ト當省ノ國境ニ位スル Po-Chueh ト稱スル所ニテ厘金ヲ徵收ス其額左ノ如シ

金巾類 每反 厘金 〇・一二〇兩  
 綿織糸 四百封度入壹捆ニ付 同 四八〇〇兩

Pa-Liang (位置不明多分廣西省ノ境ニテ百色鎮ニ近キ所ナラン) ニテモ當省ニ輸入スル貨物ニ對シ厘金ヲ徵收スト云フ其額左ノ如シ

生金巾及天竺布 每反 厘金 〇〇六〇兩  
 綿織糸 四百封度入壹捆ニ付 同 七二五〇兩

湖南省ヨリ沅江ニ由リ同省黔陽府ヲ經テ當省ニ輸入スル貨物ニ對シ省境ノ Tao-Chia-Chi ト稱スル所ニテ厘金ヲ徵收ス其率左ノ如シ

生金巾 每反 〇〇八〇兩  
 更紗 同 〇一六〇兩  
 綿織糸 四百封度入每捆 六二〇〇兩

一、興義府、當府ノ府稅(消費稅)ハ左ノ如シ  
 綿織糸 四百封度入每捆 一一〇〇兩

一、鎮寧府、當府ノ府稅ノ率左ノ如シ  
 天竺布及金巾 每反 〇〇二〇兩  
 綿織糸 四百封度入每捆 〇五〇〇兩

一、安順府、當府ニテ賦課スル府稅ノ率左ノ如シ  
 生金巾及天竺布 每十斤 〇〇二〇兩

綿織糸 四百封度入每捆 〇五〇〇兩  
 一、鎮遠府、當府ニテ賦課スル府稅ノ率左ノ如シ  
 金巾 每反 〇〇三〇兩  
 更紗 同 〇〇六〇兩

綿織糸 四百封度入每捆 〇四〇〇兩  
 一、貴陽府、當府ニ於ケル府稅ノ率左ノ如シ  
 金巾 每反 〇〇三〇兩  
 更紗 同 〇〇六〇兩

綿織糸 四百封度入每捆 〇三〇〇兩  
 一、永寧府、當府ニ於ケル府稅ノ率左ノ如シ  
 天竺布及金巾 每反 〇〇一〇兩  
 綿織糸 四百封度入每捆 〇四〇〇兩

一、自香港至安順府厘金及府稅額左ノ如シ  
 香港ヨリ北海ニ送リ同港ヨリ南寧府ヲ經テ百色迄厘金ナシ  
 Hung-Tan (百色ノ北二日行程) 生金巾每壹捆 路稅 〇〇二兩  
 Pai-Tsang 同 厘金 〇〇六〇兩  
 Po-Chueh 同 厘金 〇一二〇兩

興義府	同	府稅	不明
鎮寧府	同	同	〇〇二〇兩
安順府若	同	同	〇〇二〇兩
計 厘金及府稅〇二三兩(凡從價稅一%)			
Hang-Tian	綿織糸四百封度每一捆	路稅	〇五〇〇兩
Pai-Tsang	同	厘金	七二五〇兩
Po-Chuah	同	同	四八〇〇兩
興義府	同	府稅	一一〇〇兩
鎮寧府	同	同	〇五〇〇兩
安順府若	同	同	〇五〇〇兩
計 一四六五〇兩(凡從價稅一六%)			
一、自漢口至安順府厘金及府稅、漢口ヨリ洞庭湖ヲ經テ湘江ヲ遡リ衡州ヲ通過シテ來ルモノハニヶ所ニテ厘金ヲ支拂ヒ六ヶ所ニテ府稅ヲ支拂フト云フ但迂回スレハニヶ所ノ府稅ヲ避クルコトヲ得			
漢口ヨリ沅江ヲ遡リ黔陽ヲ經テ來ルモノハ			
Tsao-Chia-Chi	生金巾每一反	厘金	〇〇八〇兩
鎮遠府	同	府稅	〇〇三〇兩
貴陽府	同	同	〇〇三〇兩
安順府若	同	同	〇〇二〇兩
計 〇一六〇兩(凡從價稅八%)			

Tsao-Chia-Chi ニテ 綿織糸四百封度入一捆毎ニ

鎮遠府	同	厘金	六二〇〇兩
貴陽府	同	府稅	〇〇四〇兩
安順府若	同	同	〇三〇〇兩
計 七四〇〇兩(凡從價稅八%)			

一、廣東省

當省ニ輸入スル貨物ハニヶ所ニテ厘金ヲ支拂ヒ厘金領收證ヲ添付シタルモノハ國內到ル所厘金ヲ課セラル、無シ但原包裝ヲ變更シ厘金領收證ト符合セサルトキハ再ニヶ所ニテ厘金ヲ支拂ハサル可ラズ厘金稅ノ外當省ニハ港稅ナルモノアリテ貨物ノ或ル都府ニ入港スルトキハ入港稅ヲ支拂ヒ若シ他ニ運輸スルトキハ出港稅ヲ支拂フ可キ規定アリ其他或ル都府ハ府稅ヲ設ケタル所アリト云フ然レ港稅ト府稅トハ同一都府ニ而立スルニ非スシテ港稅ヲ設ケタル所ニハ府稅ナキモノト思ハル

厘金局ヲ設ケタル場所左ノ如シ

廣東ノ入口ニテ	Cup-Shui-Mun 其他一ヶ所	計	二ヶ所
東河口ニ於テ	She-Lung and Paisha	計	二ヶ所
西江口ニ於テ	三水及 Ho-Lee	計	二ヶ所
西江ノ分派ニ於テ	Sau-Huli and Da-Chow	計	二ヶ所
北江口ニ於テ	Lupao and Ho-Si-Wai	計	二ヶ所
港稅ヲ設ケタル所左ノ如シ	Ful-Shan, Cheng-Chuan, Kiang-Mang	其他不明	
廣東			

廣東府ニテ實施ノ厘金稅率表左ノ如シ

綿織系	每百斤	〇四〇〇兩	規定ノ稅率
各種ノ金巾	每反	〇〇七〇兩	〇七五〇兩
有紋「ラスチング」及「 綿」アローケード	同	〇四〇〇兩	〇一二五之兩
緋金巾	同	〇一〇〇兩	〇四二四兩
更紗(三十碼以下)	同	〇一二五之兩	
同 (三十碼以上)	同	〇二五一兩	

此ノ如ク名義上ノ稅率ト實行上ノ稅率トノ二種アリト云フ

廣東ヨリ拾五哩ヲ去ル Fat-Sun 迄生金巾一反ヲ輸送スルニ要スル厘金及其他ノ稅額ハ輸入稅ヲ除キ凡ソ〇三九六兩ヲ要スト云フ

一、廣 西 省

營省ハ廣西省ト異ナリ貨物ノ厘金局ヲ通過スル毎ニ厘金ヲ徵收ス例セハ梧州ト柳州間ニハ三ヶ所ノ厘金局アリテ柳州ニ運輸スル貨物ハ一ヶ所毎ニ厘金ヲ徵收スト云フ又梧州ト西江ノ上流ニ位スル平南トノ間ニ Men-Chang ト稱スル所アリテ軍事費ヲ各貨物ニ賦課シ其附近ノ「Pien」ト稱スル所ニテハ落地稅ヲ課スト云フ

梧州ニハ厘金局アリテ厘金ヲ徵收スルノミナラス府稅モ亦徵收スト云フ其上流ニ位スル潯州ニモ府稅ノ設ケアリ又西江ノ支流ニ位スル藤鎮ヨリ容縣ニ通スル所ニモ厘金局アリト云フ

梧州ヨリ桂林府ニ輸入スル貨物ハ途中ニテ所ニテ厘金ヲ支拂ヒ一ヶ所ニテ府稅ヲ賦課セラルト云フ

廣西省ノ厘金表左ノ如シ

晒金巾	每壹百尺(三十九碼)	厘金	〇四四〇兩
-----	------------	----	-------

同	每五十尺(十九碼半)	同	〇三三〇兩
---	------------	---	-------

生金巾	每反	同	〇一二〇兩
		落地稅	〇〇六〇兩
		輸出厘金	〇〇六〇兩

綿織系	四百封度入每一捆	厘金	〇五〇〇兩
		落地稅	〇九〇〇兩
		輸出厘金	〇九〇〇兩

實際適用スル稅率ハ此表ト多少ノ差アラントノ説アリ

廣西省西江ニ於テハ厘金稅ヲ課スルコト一般ニ重キモ綿織系ニ對シテハ特約アリテ四百封度入一捆ニ對シ二兩半ヨリ多額ノ厘金ヲ課セスト云フ但該稅額ハ從價稅四%ヲ標準トシタルモノナリト云フ

柳州ニ輸入スル貨物ハ西江ノ厘金重キヲ以テ北海ヨリ陸路運搬スルモ多シ此路ニ由ル時ハ一駄(凡一百封度)ニ對シ三百文ノ運賃ト廉州ニテ府稅ヲ徵收セラルノミニテ其他ノ厘金ヲ免ル、コトヲ得ルト云フ

北海ニテ輸入手數ヲ了シタル後一反十二封度ノ生金巾ヲ廉州、潯林及貴縣ヲ經テ潯州ニ輸送スルニハ廉州ノ府稅途中ノ厘金及潯州ノ府稅ヲ累計シテ〇三〇〇弗ヲ要スト云フ

廣東ヨリ梧州ニ綿布ヲ送ル厘金其他ノ稅金左ノ如シ

生金巾	每反	〇四〇〇弗(凡從價二三%)
晒金巾	同	〇六〇〇弗

右ハ厘金局員ト特約シ實際支拂フ所ノ金額ナリト稱ス若シ稅表ニ由リ正當ニ厘金ヲ課セラル、時ハ左ノ如キ巨額ニ達ス可シ

廣東厘金	生金巾每一反	〇・二五〇兩
廣東 Entry-Kualoa to Hoppo	同	〇〇九二兩
三水厘金	同	〇・一四〇兩
Hou Li 厘金	同	〇〇七〇兩
梧州落地稅	同	〇〇七〇兩

計 〇四九七之兩即約半兩(從價凡二五%)

一千八百九十七年梧州厘金局ノ布告左ノ如シ

- (一) 通過免狀ヲ具備セサル外國貨物及內國貨物ハ外國船ヨリ荷舟ニ移シ關稅ヲ納付シタル後直ニ厘金局ニ於テ厘金ヲ納付ス可シ犯ス者ハ處罰ス
  - (二) 輸出內國貨物ニシテ通過免狀ヲ具備セサルモノハ外國船ニ船積前厘金局ニ厘金ヲ納付ス可シ犯ス者ハ處罰ス
  - (三) 密商又ハ厘金ノ遁脱ヲ監視スル爲メ外國稅關ノ近傍ニ監視者ヲ派遣シ荷舟内ノ貨物カ果シテ厘金納付済ノ證ヲ具備スルヤ否ヤヲ検査セシム可シ
  - (四) 厘金未納ノ貨物ヲ發見シタル時ハ之レヲ沒收シ其記號ニ由リ關係人ヲ發見シ之レヲ處罰ス可シ
  - (五) 貨主自ラ厘金局ニ出頭納稅シ難キトキハ荷舟ノ船長ヲシテ代納セシム可シ
  - (六) 漁艇ニ曳カレタル荷舟ハ厘金局ノ前ニテ停船シ直ニ厘金ヲ納付ス可シ
- 同年六月二十六日再布告アリタリ左ノ如シ
- (一) 外國船ニテ輸入シタル外國貨物ハ外國人ノ手ニ在ル間ハ關稅納付後ト雖モ厘金ヲ徵收セス
  - (二) 港灣内ニテ支那商ニ賣渡サレタル外國貨物及支那人ノ輸入ニ係ル外國貨物モ前項同様厘金ヲ徵收セス但開港以前ニ輸入シタル貨物ハ此限ニ非ス

- (三) 梧州及其附近ニテハ厘金ヲ納付セスシテ外國貨物ノ賣買ヲ爲スコトヲ得又外國人ハ店舗及倉庫ヲ設ケ或ハ支那人ヨリ賃借シ若クハ內國船ヲ雇ヒ之レニ貨物ヲ貯藏スルコトヲ得而シテ倉庫又ハ船内ノ貨物ハ自由ニ卸賣小賣又ハ他ノ貨物ト交易ヲ爲スコトヲ得
  - 外國人ノ賃借シタル家屋及船舶ニハ外國商店ノ名稱ヲ支那文字ニテ記シ且雇用サレタル支那人ハ善意ノ使用人ト看做ス但支那人ハ僞テ外國ノ國籍ヲ犯スコトヲ許サス
  - (四) 梧州ニ於テモ追テ他ノ開港場ニ於ケル如ク貨物ヲ支那人ノ手ニ賣渡シタル後厘金ヲ納付スルニ及ハサル區域ヲ定ム可キモ目下其區域ヲ限ルハ困難ナルニ由リ當分前記ノ規定ニ由ルヲ要ス
  - (五) 支那人ハ輸入貨物ニ輸入稅ノ半額ヲ支拂ヒ通過免狀ヲ得テ内地ニ貨物ヲ運搬スルコトヲ得該貨物ハ途中如何ナル稅モ免ル可シ但シ途中ニテ通過免狀ト貨物ヲ分離スル時ハ該貨物ハ中央厘金局ノ告示ニ基キ處分セラル可シ
- 一、雲南省
- 當省ニ輸入スル貨物ハ一度厘金ヲ支拂ヒ其領收證ヲ添付スルトキハ省内ニテ再厘金ヲ課セラル、コトナシ但落地稅(府稅即消費稅)ハ此限ニ非ス
- 楊子江ヲ遡リ四川省重慶府ヲ經其上流ニ沿フテ當省ニ入ル貨物ハ國境ノ Lao-Va-Tan ト稱スル所ニテ厘金ヲ徵收ス該厘金局ハ深谷ニ架シタル釣橋ノ畔ニ設立シ此處ヲ通過セサレハ省内ニ入ルコトヲ得スト云フ其厘金表左ノ如シ
- |           |    |        |
|-----------|----|--------|
| 金巾雲齋布及天竺布 | 每反 | 〇・一五〇兩 |
| 緋金巾       | 同  | 〇〇五〇兩  |
| 「フアンネル」   | 同  | 一〇〇〇兩  |
| 綿織糸       | 每擔 | 二五〇〇兩  |
| 線綿        | 同  | 〇六〇〇兩  |



蝙蝠傘	每百本	二〇〇〇兩
懷中時計及掛時計	每個	〇二〇〇兩
置時計	同	〇五〇〇兩
曲靖府ニテ賦課スル府税左ノ如シ		
輸入布帛	每反	〇〇三〇兩
綿織糸	每擔	〇四〇〇兩
沙市土布	每卅九反	〇三〇〇兩
雲南府ニテ賦課スル府税左ノ如シ		
輸入布帛	每擔	一二〇〇兩
綿織糸	同	〇四〇〇兩
當府ニ輸入スル貨物ハ廣東省北海ニテ輸入手數ヲ爲シ南寧百色ヲ經テ來リシカ厘金ノ重荷ニ堪ヘズ蒙自ノ開港以來當府ニ輸入スル貨物ノ十分ノ九ハ同地ヨリ通過免狀ヲ付シテ來ルヲ以テ凡テノ厘金ヲ免ルモノ利アリ		
東京ヲ經テ雲南ニ輸入スル貨物ノ負擔スル税額左ノ如シ		
生金巾	每反	東京通過税 〇二六一兩
綿織糸(細糸)	每擔	〇七五六兩
同 (太糸)	同	〇六一五兩
東京ヲ經テ輸入スル貨物ハ他ノ港灣ヨリ輸入スル税率ノ十分ノ七ヲ支拂フ條約ナルニ由リ生金巾一反ノ輸入税ヲ〇〇八		
〇ト假定スレハ東京ヲ經テ來ルモノハ輸入税〇〇五六ヲ支拂ヒ之レニ通過税トシテ港灣ヨリ輸入スル税率ノ半額即〇		
諸費トシテ從價五厘ヲ加 ニテ從價稅ヲ算出スレハ 一一% 三之%		

〇四〇ヲ加フレハ〇〇九六トナリ港灣ヨリ輸入スルモノヨリ税額稍々低キモ之レニ東京ノ通過税ヲ加フルトキハ港灣ヨリ輸入スルモノ約三倍ニ相當セリ

關越ヨリ輸入スル貨物ハ厘金ヲ徵收セラレタル后雲南府ニ達スル迄ニ五ヶ所ニテ府税ヲ徵收セラルト云フ

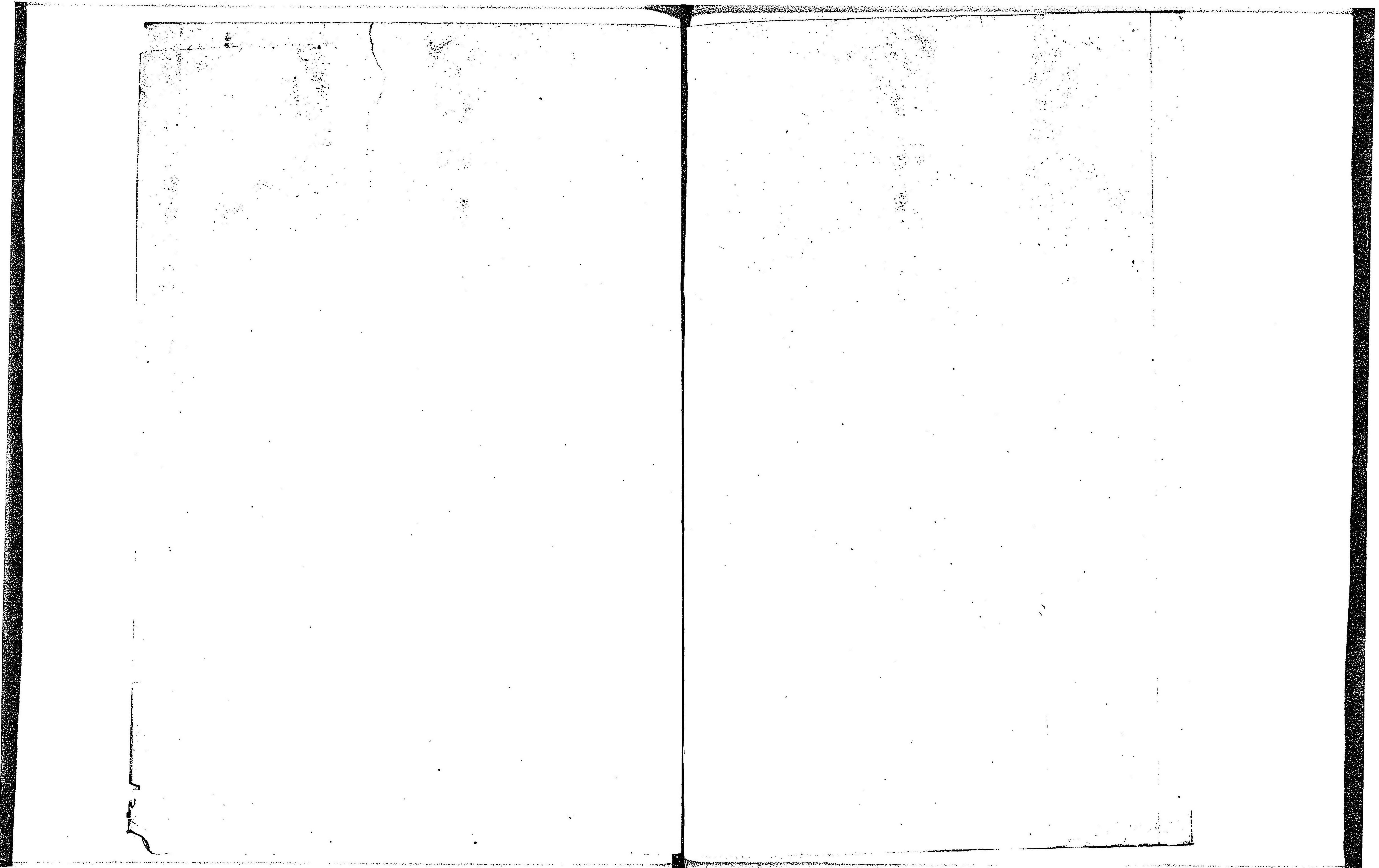
楚雄府ニテ賦課スル府税ノ率左ノ如シ

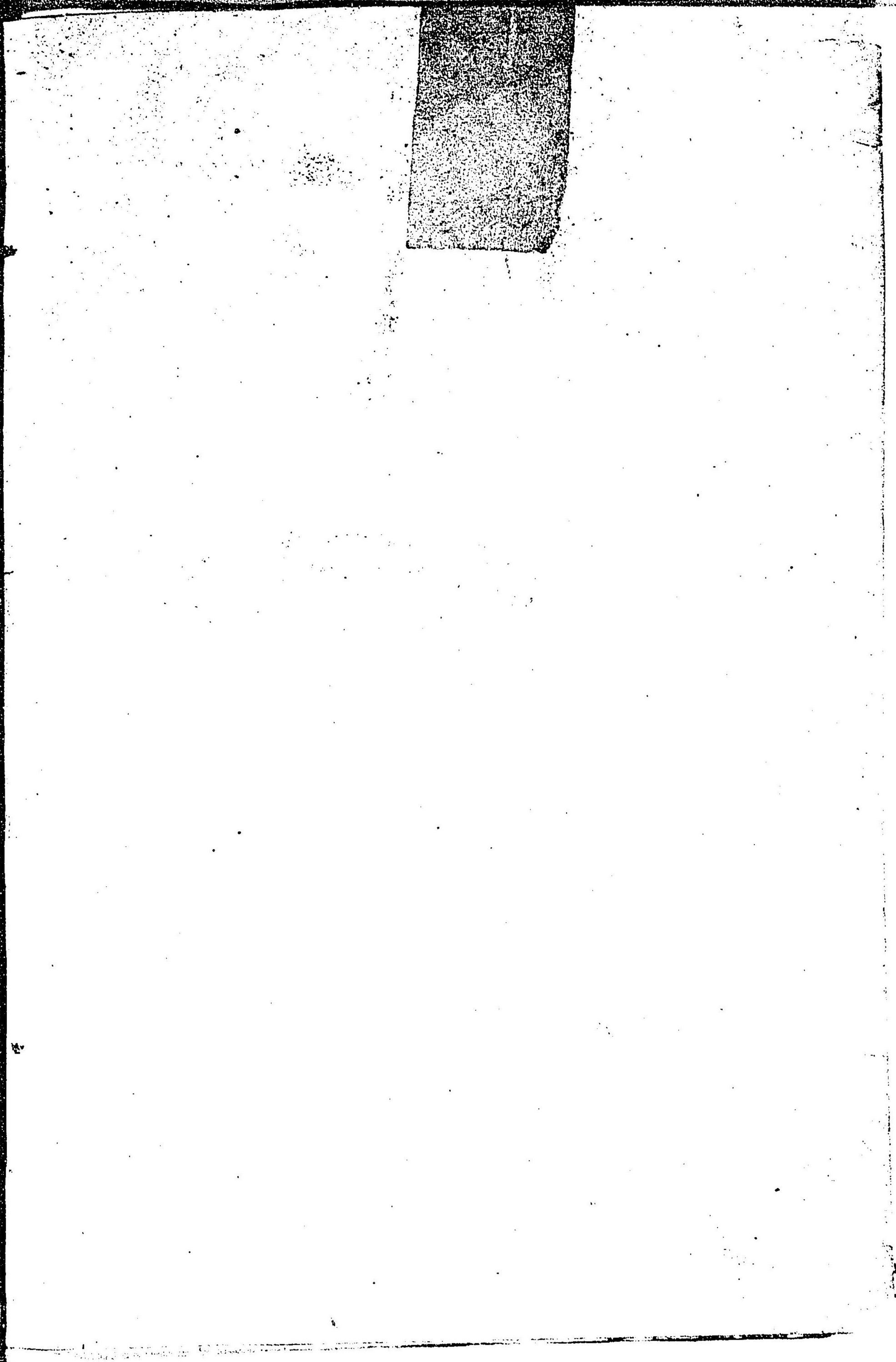
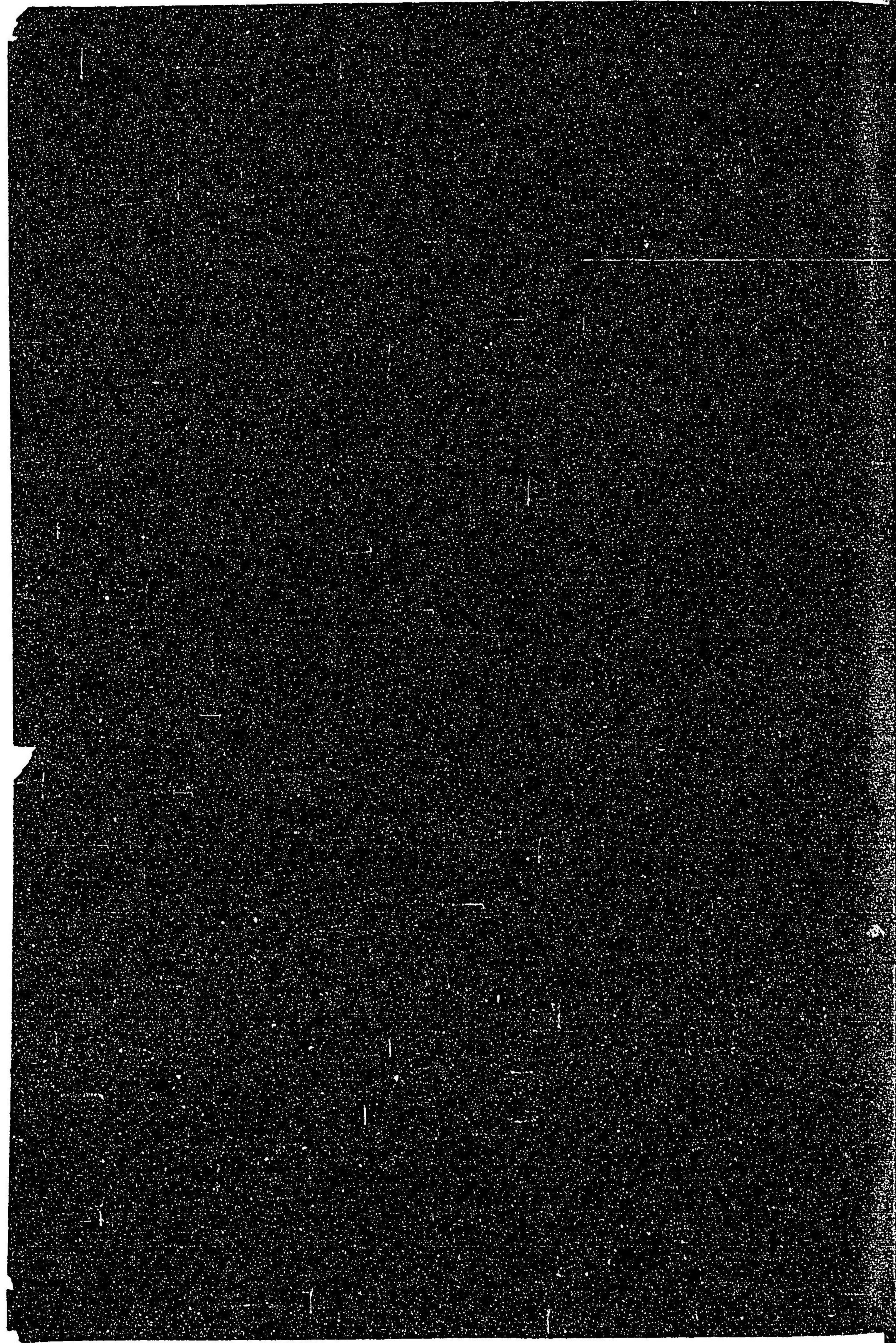
生金巾	每反	〇〇三〇兩
綿織糸	每擔	〇四〇〇兩

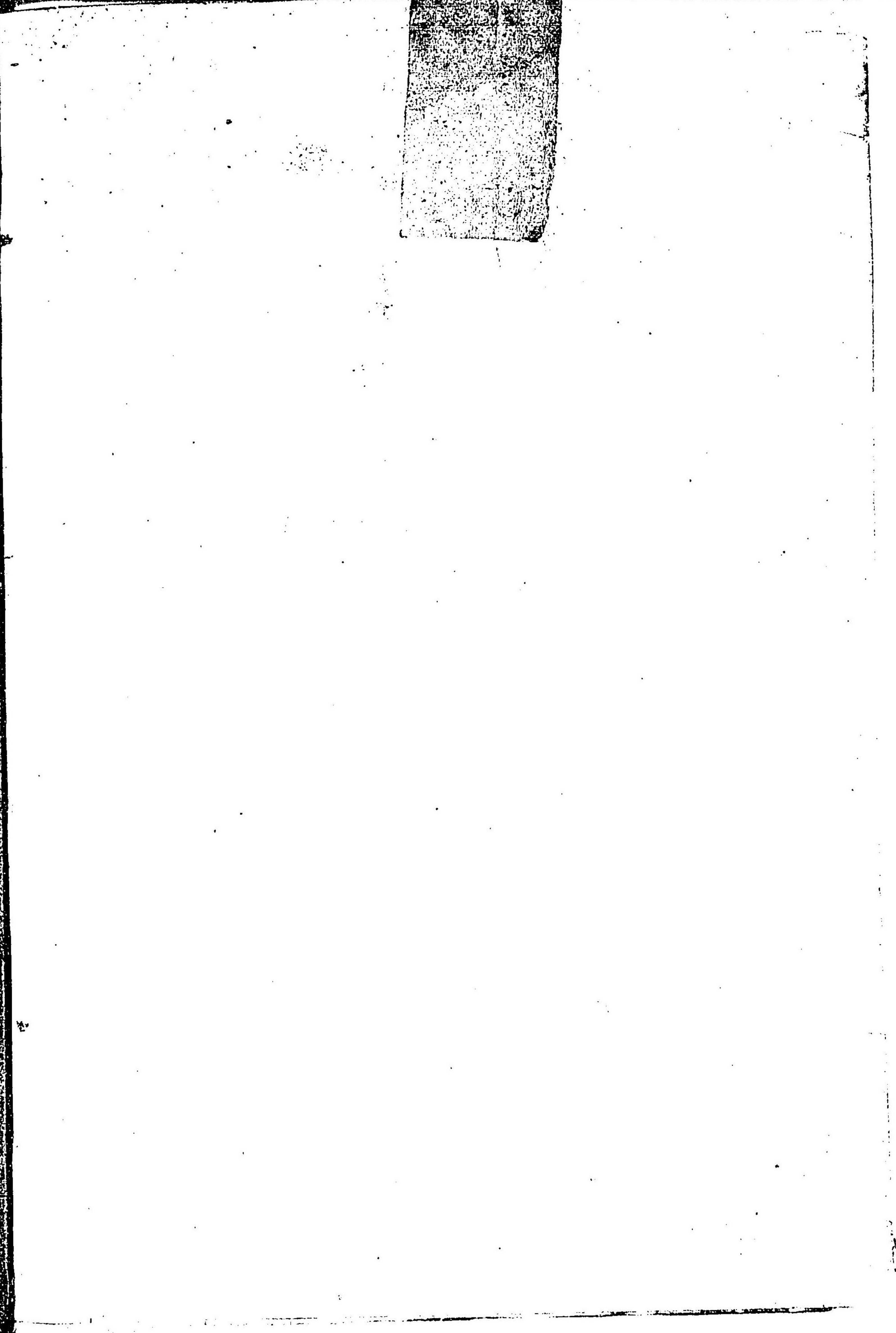
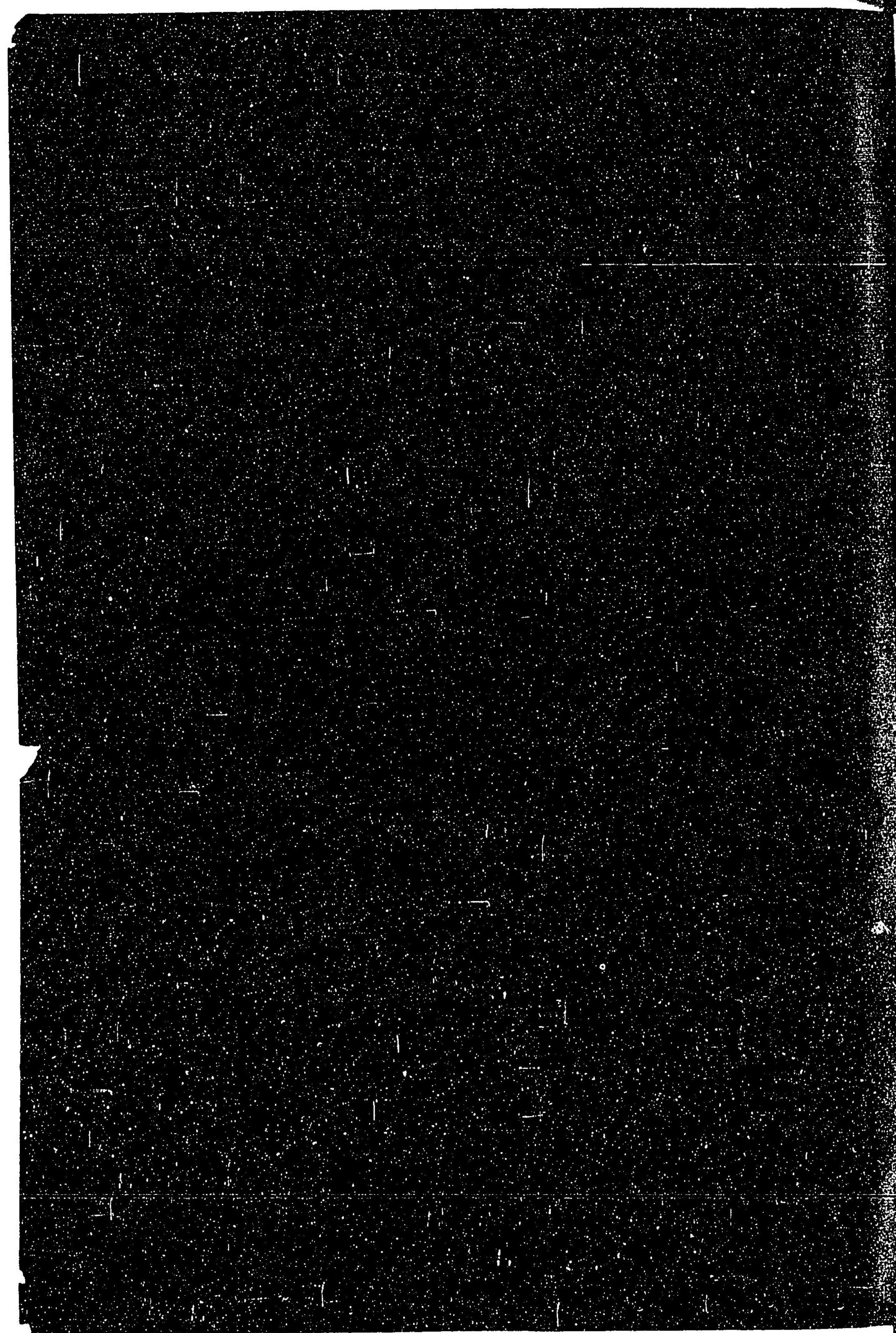
大藏省鑑定官補 坂口武之助 報告

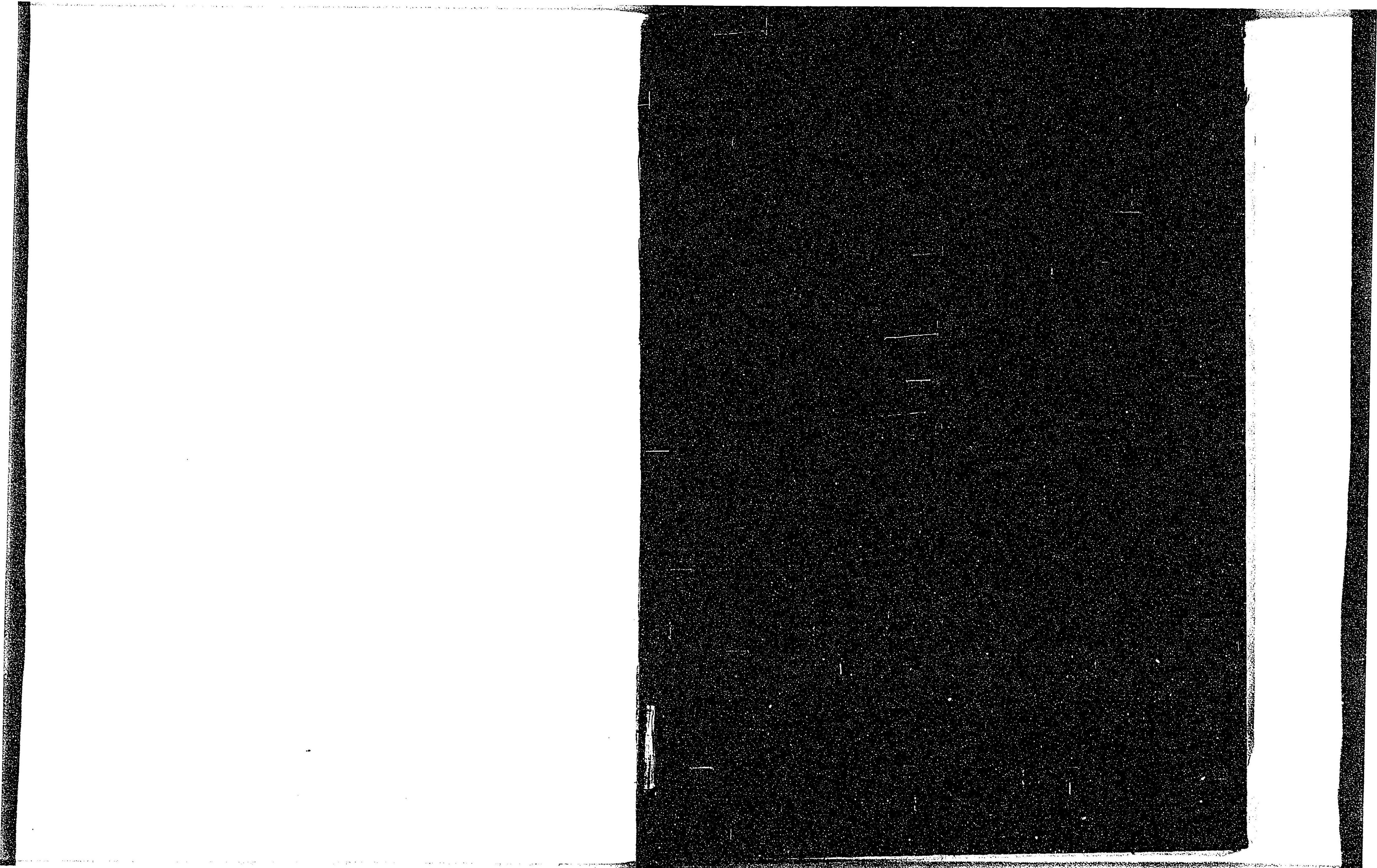












83  
242

(M)

026669-000-7

83-242

北清地方巡回，長江沿岸視察復命書

外務省通商局／編

M36

ADD-0359





